

No. 1

' 23彦青発第16号

2022. 12. 26

公益社団法人 彦根青年会議所
2023年度 理事会構成メンバー各位

公益社団法人 彦根青年会議所
2023年度理事長候補者 橋本 幾



2023年度第1回理事会のご案内

拝啓 歳末の候、貴殿におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、公益社団法人彦根青年会議所2023年度第1回理事会を下記の要項にて開催いたします。時節柄ご多用のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時 2023年 1月 5日 (木) 19:00~23:00
場 所 文教スタヂオ 5F

- 議事日程
1. 開会
 1. 点鐘
 1. J C 宣言文朗読並びに綱領唱和
 1. 出席調査
 1. 議長選出
 1. 定足数の確認
 1. オブザーバーの承認
 1. 議事録作成人の指名
 1. 理事長候補者報告
 1. 専務理事候補者会務報告
 1. 副理事長候補者報告
 1. 資料の確認

1. 審議事項

- 1号議案 2023年度理事候補者会議における決議事項承認の件
2号議案 公益社団法人彦根青年会議所2023年度理事長
(代表理事) 選定の件
3号議案 公益社団法人彦根青年会議所2023年度
副理事長・専務理事選定の件
4号議案 公益社団法人彦根青年会議所2023年度
委員長・特別委員長・会計任命の件
5号議案 公益社団法人彦根青年会議所2023年度
事務局長・事務局次長・事務局員任命の件
6号議案 公益社団法人彦根青年会議所2023年度
副委員長及び委員任命の件
7号議案 2023年度会員会費徴収の件
8号議案 創立70周年記念式典開催日決定の件

1. 依頼事項

1. 監事講評

1. 閉会・点鐘

配布資料

- No. 1 2023年度第1回理事会のご案内
No. 2 第一回理事候補者会議議事録
No. 3 第二回理事候補者会議議事録
No. 4 第三回理事候補者会議議事録
No. 5 2023年度理事候補者会議における決議事項承認
No. 6 公益社団法人彦根青年会議所2023年度理事長
(代表理事) 選定
No. 7 公益社団法人彦根青年会議所2023年度
副理事長・専務理事選定
No. 8 公益社団法人彦根青年会議所2023年度
委員長・特別委員長・会計任命
No. 9 公益社団法人彦根青年会議所2023年度
事務局長・事務局次長・事務局員任命
No. 10 公益社団法人彦根青年会議所2023年度
副委員長及び委員任命
No. 11 2023年度会員会費徴収
No. 12 創立70周年記念式典開催日決定

以上

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 第1回理事候補者会議議事録

理事長予定者 橋本 一幾



議事録作成人 事務局



日時 2022年 11月 9日(水) 18:00 ~ 26:05

場所 文教スタジオ5F

出席状況

出席：○ 遅刻：△ 途中退席：▽ 欠席：×

理事	橋本 一幾	○	大野 勝輝	○	澤井 雄一	○	飛松 龍	○
	西川 隼世	○	夏原 大輝	○	青木 克実	○	北川 凌	○
	北村 忠征	○	園 一生	○	車 宝超	×	中西 雄也	○
	夏原 慶	△	藤井 肇	○	上田 一八	○		
	出席理事 以上 14名							
監事	木田 乃輔	○	宮川 佳典	△			出席監事 以上 2名	
直前理事長	横津 優騎	×						
委員長	澤田 晃仁	○	丸山 義樹	○	西村 直人	○		
会計	西村 健太郎	×						
セクレタリー	北川 凌	重	清水 翔太	▽			出席非理事 以上 5名	

1. 開会宣言・点鐘 事務局長候補者 上田 一八 君 ・ 理事長予定者 橋本 一幾 君

1. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 組織の輪確立委員会 丸山 義樹 君

1. 出席調査 事務局長候補者 上田 一八 君

1. 議長選出 定款第47条により、理事長予定者が 澤井 雄一 君を指名した。

1. 定足数の確認 理事定数15名、出席理事数13名、定足数10名
定款第48条の規定により本理事会は成立した。

1. オブザーバーの承認 なし

1. 議事録作成人の指名 議事録作成人 事務局
議事録署名人 橋本 一幾 君 木田 乃輔 君 宮川 佳典 君

1. 理事長報告

橋本 理事長候補者

皆様、こんばんは。いつもなら19時開始ですがいつもより早い時間の18時にお集まりいただきありがとうございます。理事長報告としては例年では一ヵ月以内であったことを報告させていただくのですが、1つだけ言いたいことがあります。この前始めて滋賀ブロック協議会の会員会議所に行きました。青木委員長が他の委員長に負けないぐらいの華麗な答弁をされていまして、凄く立派だと僕は思いました。その中で滋賀ブロック協議会の会員会議所に行くと議案の上程後すぐに理事長連がたくさん意見を言って、それに対して青木委員長や他の委員長がすぐに答えていました。去年でいいますと効果効率というような理事会は素晴らしいなと思って聞いていました。彦根は彦根のやり方があるのでそれはそれでよいと思うのですがただメンバーの時間をいただいて理事会を開催していますので、そこは臨機応変に対応してもらえると良いなと思いました。資料発送も一週間前ですので意見は事前に考えられると思いますので無駄な時間を出来るだけなくしていきたいと感じました。本日の12号議案に関しまして、拡大の議案が上程されます。来年15名拡大すると言いつけていますので、まず執行部が拡大しないと皆さんが拡大についてこないのは解っています。私が拡大委員長をした時は11人でしたが、それをメンバー全員で行えば11人が15人にできるとしております。常設の3委員会に関しましては3名ずつの拡大をお願いしています。執行部で6名、合わせて15名の拡大を掲げております。1月度新年交流例会で15名並んでもらえるか分かりませんが、その様な気持ちで拡大に取り組んでいただきたいと思います。2018年の第一回候補者会議で私が委員長を行った時の事ですが、緊張してうまく話せなかったです。自分の想いを理事にわかっていただくために話していただきたいと思います。言葉なので気持ちは伝わりにくいこともありますが、自分の想いを精一杯話すことと理事にも想いは伝わるといいますので、委員長3君の皆さんは自分の想いを一生懸命伝えていただきたいと思います。そして北村理事は理事会での発言や質問にすごくなれていらっしゃると思いますので、より良くなるよう意見をよろ

しくお願いします。中西理事、青木理事、園理事にはいつも通りの理事会の発言をよろしくお願いします。藤井理事、北川理事、上田理事は間違っただけを言わないと思います。自分の考えは間違っていないと思いますし、間違っていたらいけないというわけでもないので、恥ずかしがらずに疑問に思ったことを発言していただきたいと思いますのでよろしくお願いします。では本日の第1回候補者会議が皆さんにとって有意義な時間になりますことと、2023年度が良いスタートを切れますことを祈念いたしまして挨拶と代えさせていただきます。

1. 会務報告

夏原 専務理事候補者

皆様、改めましてこんばんは。まず18時と早い時間から多くのメンバーの皆様が集まっていたいただきまして誠にありがとうございます。会務報告につきましてはメールで送らせていただいておりますのでご確認よろしくお願い致します。本日多くの議案が上程されますので長丁場になるかと思いますがよろしくお願いします。

(出席確認) 上田 事務局長候補者

出席 夏原 慶 君

出席理事数 14名

1. 副理事長報告

大野 副理事長候補者

皆様改めましてこんばんは。地域共創委員会の副理事長をさせていただきます大野です。1年間どうぞよろしくお願い致します。また、西村委員長、精一杯方針を仕上げて参りました。理事の皆様、忌憚のないご意見よろしくお願い致します。それと私から新年交流例会の議案も上程させていただきますのでこちらのほうも忌憚のないご意見よろしくお願い致します。

飛松 副理事長候補者

総務広報委員会の副理事長の飛松です。本日は総務広報委員会は方針と別に3議案上程させていただきます。その中でも月報は例年の紙面を廃止して新たなチャレンジとゆうことで上程させていただきます。厳しい意見もあるかと思いますが、是非とも建設的なご意見でよ

ろしくお願い致します

西川 副理事長候補者

組織の輪確立委員会の担当副理事長の西川と申します。本日は丸山委員長の方針を上程させていただきます。そして執行部より会員拡大、拡大王に俺はなる。を上程させていただきますのでどうぞよろしくお願い致します。

澤井 理事長候補者

副理事長兼70周年特別実行委員長を務めさせていただきます。一年間よろしくお願い致します。そして本日委員会方針、70周年合同部会開催の件を上程させていただきますのでよろしくお願い致します

1. 資料の確認

上田 事務局長候補者

資料に関しましては事前にメールにて配信しております。なお予算書の不備があったため本日15時に資料の差し替えを行っております。ご確認のほどよろしくお願い致します。つづいて本日配布しております資料の確認を行います。本日配布の資料は仮入会会員承認、ロゴマークデザイン図以上になります。

(出席確認) 上田 事務局長候補者

出席 宮川 佳典 君 出席理事数 14名

1. 報告事項

夏原 専務理事候補者

本日お送りしている資料の中で配布資料の審議事項以外の資料について簡単にご報告させていただきます。No. 12の資金調達及び設備投資の見込みについてですが、こちらはどちらも検討していませんので0としてあげさせていただきます。続きましてNo. 14の公益社団法人彦根青年会議所2023年度組織図案に関しましては御覧の通りでございます。続きましてNo. 15公益社団法人彦根青年会議所理事法動議リストNo. 16公益社団法人彦根青年会議所理事会における申し合わせ事項一覧No. 17公益社団法人彦根青年会議所委員会事業会計勘定科目一覧表につきましては前年度から

変更はございませんのでご確認よろしくお願い致します。No. 18 公益社団法人彦根青年会議所2023年度出向者名簿につきましては滋賀ブロック協議会の出向に関しましてJC連携推進委員会の委員長として青木克実君に出向していただいております。そして各委員会メンバーの出向に関しましては御覧の通りです。以上となります。

○事前資料

配布資料

- No. 1 2023年度第1回理事候補者会議のご案内
- No. 2 事業計画 2023年度理事候補者会議及び理事会開催
- No. 3 事業計画 2023年度事業計画(案)承認
- No. 4 事業計画 2023年度職務分掌(案)承認
- No. 5 事業計画 2023年度収支予算書(案)承認
- No. 6 事業計画 2023年度LOMスローガン承認及び掲出物作製
- No. 7 事業計画 会員拡大～拡大王に俺はなる!～開催
- No. 8 事業計画 創立70周年ロゴマーク承認
- No. 9 事業計画 彦根青年会議所公式WEBサイト開設・運営及びSNS運営
- No. 10 事業計画 月報配信
- No. 11 事業計画 1月度(新年交流)例会
～初志貫徹!新たな時代の魁に!～開催
- No. 12 事業計画 70周年合同部会開催
- No. 13 資金調達及び設備投資の見込みについて
- No. 14 公益社団法人彦根青年会議所2023年度組織図(案)
- No. 15 公益社団法人彦根青年会議所議事法動議リスト
- No. 16 公益社団法人彦根青年会議所理事会における申し合わせ事項一覧

№. 17 公益社団法人彦根青年会議所委員会事業
会計勘定科目一覧表

№. 18 公益社団法人彦根青年会議所2023年度
出向者名簿

○当日配布資料

- ・№. 12 仮入会会員承認
- ・ロゴマークデザイン図

1. 動議提案

西川 副理事長候補者

本日仮入会会員承認の件を動議として上程させていただきます。

(セカンド) 飛松 副理事長候補者

議長

1君のセカンドがございましたので、第12号議案として審議事項に追加いたします。

1. 審議事項

1号議案 2023年度理事候補者会議及び理事会開催の件

(補足説明) 夏原 専務理事候補者

よろしくお願いたします。2023年理事会運営について説明させていただきます。本年度も文教スタジオ様5階を理事会会場として使用させていただきます。理事会構成メンバー数は年間オブザーバーであるセクレタリー含め23名。年当初に理事会構成費として1万円ずつ徴収させていただきます。これは原則として本年度理事会の会場費として使用させていただきます。臨時開催の可能性、また2023年度開催される会議の会場費として使用される可能性も加味しておりますのでご了承下さい。残金はすべて本会計に繰り入れさせていただきます。また本日第一回理事候補者会議におきましては食事をご用意しておりますが、基本的に食事はこの第一回理事候補者会議のみでございます。理事会の設営は事務局が担当させていただきます。以上よろしくお願いたし

ます。

(質問) 木田 監事候補者

WEB開催をされるということですが、WEBで開催される場合どのように開催されるのか、何を使って開催されるのか決めていることがあれば教えてください。

(応答) 夏原 専務理事候補者

基本的には現地開催ではあるのですが本年度同様に状況を加味してWEB開催も視野にいれて開催させていただこうと考えております。何を使うかというのに関しましては、ZOOMにてWEB開催しようと考えております。

(質問) 木田 監事候補者

ZOOMを使われるということですが、その費用等はどこから捻出されてどのように処理されるのか教えてください。

(応答) 夏原 専務理事候補者

ZOOMに関しましては例年同様の形で彦根青年会議所にて登録しているものがありますので、そちらのアカウントを使用させていただいて開催したいと現状は考えております。WEB開催の可能性も置いてはいるのですが基本的に2023年度においては現地開催を極力させていただき流れてさせていただきたいと考えております。

(意見) 木田 監事候補者

理事会は何があっても必ず開催をしなければいけないものですからWEB開催は視野にいれていただいて、ツールをどの様に使うのか何を使うのか、来年のルールはどうするのかといったところをしっかりと、委員長を含めて理事の皆さんに御提示をいただくようお願いしたいと思います

(決定) 全会一致をもって承認

2号議案 事業計画 2023年度理事候補者会議及び理事 会開催

(補足説明) 橋本 理事長候補者

公益社団法人彦根青年会議所定款第3章第22条第2項の規定に基づき、12月通常総会上程議案である2023年度事業計画(案)について承認を得るために、本議案を提案いたします。この議案に関しましては来年一年間の一番重要な議案となりますので皆さんご審議の程よろしく申し上げます。

(補足説明) 澤田 総務広報委員長候補者

総務広報委員会方針一読

2023年度総務広報委員会方針の主なポイントは2つあります。1つは、組織や広報のあり方の見直しです。例えば彦根青年会議所が古くから続けている新聞新年号、月報発行、公式WEBサイトの運営などの広報活動については、その伝統を守りつつも時代の変遷とともに、その手法については従来から少しずつ工夫と改良が加えられてきました。理事長方針のなかに「常に新しい情報を取り入れ、本当に必要で効果的な情報ツールをしっかり検証していくべき」という一文があるように、メンバー数の減少にともなう予算の縮小や、SDGsの観点からも紙媒体を無くし、その代替案として、より効果的な情報ツールによる情報発信のために予算を取るといようなことを考えています。このように、従来から見直されてきた組織や広報のあり方について、もう一歩踏み込んだアプローチをしていきたいと考えています。もう1つは、会員拡大です。彦根青年会議所が地域に無くてはならない存在になるような活動を展開し続けるためには、より多くのメンバーが集い、強い絆で結ばれ共に成長していく必要があると考えます。しかしながら、2024年度に多くのメンバーが卒業を迎えることで、会員拡大をしなければメンバー数が著しく減少してしまうことが見えています。そこで、委員会方針に会員拡大の要素も入れることにより、全メンバーに対して橋本理事長が最重要課題と認識されている会員拡大の意識を高めてもらう意図があります。また、「効果的な情報ツール」という表現を入れることにより、目的によって適切な情報ツ

ルを使って、会員拡大につながる情報発信をしていくという意図があります。

(質問) 園 理事候補者

上段の「活気に満ちた組織として運動を展開していくためには」と書いてあるのですが総務広報委員会が思う活気に満ちた組織とはどういった組織のことを指すのか教えてください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

活気に満ちた組織というのは人数の事もあるのですが、人数以上に総会への参加、例会への参加、事業への参加等出来るだけ多くのメンバーが参加いただいて組織の帰属意識を高められるような状態が活気に満ちた組織だと考えます。

(質問) 園 理事候補者

例会に参加とか事業に参加とかは確かにそうだと思いますが総務委員会でそういった活動や運動を促すようなこともするのですか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

総務委員会の担いとしては主に総会の場で一番大事なことを決めるのが総会の場だと思いますし総会につきましては全員に連絡はもちろんのところですけども少しでも多くの方に参加いただいて組織の方向性をめていく重要な所に参加いただくような活動はしていきたいと考えております。

(質問) 北村 理事候補者

今ほど参加とおっしゃられていたのですが、橋本理事長が方針の中で掲げられているのは「多くのメンバーが積極的に参画したくなるような組織を構築していく」と書いてあります。参加と参画では違うと思うのでそのような取り組みが必ず必要だと思うのですが、参画してもらえるような取り組みはあるのでしょうか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

参加といいましたが参画ですね。積極的に参画をして

いただくという意味では総務の担いもそうなのですから、今回総務広報委員会となっておりますので、新しいツールも使いまして、動画とかも取り入れたいと思います。そういったところで地域の方々含めメンバーにもそういった情報を発信することによって、ただの参加ではなくて、積極的に参画していただけるような流れに持っていったら良いと考えております。

(質問) 北村 理事候補者

それは例えばFacebookやInstagramを見ていただいてメンバーももちろんそうですし、地域の方々に参加してもらえるような工夫をすることでしょうか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

その発信の所を強めていき、今までになかったチャレンジとしては動画でそういったところを周知し、特に事業とかですと事前の動画でただ参加するだけでなく、自分たちが作っていくような意識も高められるようなものを作って行きたいと考えております。

(意見) 北村 理事候補者

メンバー専用のFacebookページでいいねとかも押されているのですが、結構固定されていまして大体14名ぐらいで押す人も一緒の人なので、その辺の見ていただく工夫も必要だと思います。参加してない人をどの様にして参画してもらえるかを考えていただいて、1年間取り組んでいただきたいと思います。

(質問) 園 理事候補者

今、情報ツールの話があって聞きたいことがありました。様々な情報ツールの中から効果的なツールを用いてと書いてあるのですが、様々な情報ツールとは何なのか。と、効果的なツールとは何ですか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

現在Facebook、Instagram、を使用しています。2022年度上田委員長がLINEの公式アカウントを取っていただきまして、TwitterやTikTokを追加しようと考えています。効果的なツールを用いて

ということですが、それぞれのSNS情報発信ツールにおいて、閲覧される年齢の層が違うと思ひましてFacebookだと年齢が30代以上、40代以上と万遍なく広がっているのですが、Instagramだと20代、30代女性とかTikTokだと10代、20代前半ぐらいです。Twitterであると幅広く見られているので拡散性があります。SNSによってそれぞれの特徴がありますのでその中で効果的なツールとは、情報の発信の内容とかによっても変わってくると思ひます。そのツールの中でどれが一番刺さるかというのは、検証してからとなるのですが、様々な層の方に届けられるようなツールを用いてやっていきたいと思ひております。場合によってどれが一番というのは変わってくると思ひますのでそれぞれを使い分けていきたいと思ひます。

(意見) 園 理事候補者

ということはほとんどのツールを使うということですね。この書き方だと一個だけを選び使用するように思ひましたので、このような質問をさせていただきました。

(質問) 青木 理事候補者

二段目の「伝統を受け継ぎつつ」と、あるのですが委員長の思う伝統とは何ですか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

伝統とは多々ありますが、彦根青年会議所が昔から受け継いでいるハンドブックにも記載されている定款も、変わりつつ受け継がれているものの1つです。あとは活動を伝統という形とは無いのですが、彦根青年会議所が理事会の設営等のマニュアルがあるものや、無いものについても彦根青年会議所の伝統だと思います。まず、自分自身が知るところからですが、そういったところを総会の空き時間などで伝えていけたら良いと思ひます。形のあるものではないですが、運営の仕方等が伝統なのかと思ひます。

(質問) 青木 理事候補者

伝統については理解しました。上段の部分を見ていると総務としての役割に偏っているように思ひますが、

広報的な背景はどこを指しておられますか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

広報の部分としては全体的に書かれているのですが、特に時代の流れに柔軟に対応出来るというところです。組織運営を見ると総務のような形にはなるのですが、広報として先程補足説明させていただいたように、紙媒体の月報を無くす等の意味をこのようなところに汲んでいるというところと、メンバー一人ひとりが我々の運動に自信と誇りを持ちのところに關して、我々はこのような運動・活動を、地域の方やメンバーに発信したりすることで、地域の方々に彦根青年会議がどのような組織なのか知ってもらうことで帰属意識を持ってもらうところに繋がっていますので、そのようなところに広報の部分は含ませています。

(質問) 青木 理事候補者

理解しました。今おっしゃられた運動と帰属意識を持つての活動と書かれているのですが、運動と活動の違いは何ですか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

運動とは彦根青年会議所が組織としての方向性に運動することで、活動とは運動の元でそれぞれ個々が活動することだと思っています。

(意見) 青木 理事候補者

僕も同じ意味で捉えています。運動は対外的なもの活動は対内的なもののように捉えております。総務広報なので対内も対外も運動・活動もされる委員会ですので、積極的に対内だけでなく対外にも発信されることをお願いしたいと思います。

(質問) 北川 理事候補者

方針の4段目に、「組織の在り方を今一度見直しより効果効率的な組織運営を目指す中で」とありますが、総務広報委員会で考えられている見直すべきところは何かありますか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

見直すとは何か変えるイメージもあると思うのですが、「見」「直す」ということで私たちが彦根青年会議所として普段活動しているのですが中々ハンドブックに書かれている内容や彦根青年会議所が昔から培っているものの情報を組織内で共有されていないと思います。そういうところを共有出来るように次年度例会で8月に組織の在り方について考える例会を企画しています。総会の投票集計時間の中で少しずつでも共有したいと考えております。

(質問) 藤井 理事候補者

下段3行目の「地域の方々に我々の組織の魅力を伝え」と先程おっしゃられたSNS等のツールを使用して組織の魅力を伝えられると思うのですが、その後の理解と共感を得ると書かれています。なかなか文章や動画では理解と共感を得るのは難しいと思うのですが、澤田委員長が理解と共感を得る為に考えていることはありますか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

理解と共感をしてもらうのは難しいと思うのですが、今回は発信を行うツールを増やしていますので、多くの人の目に触れ注意を引くのが大事だと思います。今回ショートムービーや動画にチャレンジし、1つの動画を色々なSNSにて発信を行うことで、目に触れる機会を増やそうと思っています。例えば写生大会の様な事業ですと地域の魅力や愛郷心を育むことが出来、そのような場所ですと活動していることが多くの人目に入りますので分母を増やして、一人でも多くの共感していただける人を少しでも増やしていければと思います。

(質問) 中西 理事候補者

帰属意識をもって活動に邁進出来る組織と上段にも書かれているのですが、下段の「活動に取り組む環境を整える」とも書かれているのですが、どの様に環境を整えようと考えておられますか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

帰属意識とは組織に属し誇りを持つてることだと思います。

まずは総務の担いにはなりますが総会に出来るだけ多くのメンバーに参加いただき、それに加え我々の活動出来るだけ多くの方々に知っていただけるように発信を行います。自分たちの活動や自分たちの組織に誇りを持って貰えるように地域の方々に彦根青年会議所が地域に貢献されているなど知ってもらうことで帰属意識を高める。それが環境を整えることだと思っております。

(質問) 中西 理事候補者

帰属意識を持つことの説明は良くわかったのですが活動に取り組む環境に対し周りに理解があること以外に例会等に参加してもらえそうな取り組みやまた、ほかの取り組みを行うことで環境を整えることは考えられていますか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

今具体的には考えてはいませんが、そういったことを考えられるように活動していきたいと考えます。

(質問) 中西 理事候補者

多くのSNSのツールが使われると聞いているのですがFacebookやInstagram共に運用に手間が掛かると思っています。委員長の負担が多く掛かると思いますが委員会メンバーで役割分担等は考えられていますか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

分担等を決めていませんが発信する内容については分担を行う予定です。発信につきましては同じ内容をそれぞれのSNSに発信を行いますのでそこまで負担にならないと考えております。動画については仮入会会員の岡本君が動画クリエイターですので、その様な動画の作成をお願いしたいと思っております。その他につきましては今後の委員会での割り振りを考えたいと思っております。

(意見) 中西 理事候補者

例年総務広報委員長は忙しくされているイメージがありまして、メンバーの帰属意識を高めるのも委員会の役割だと思っておりますので、委員会メンバーにしっかりと協力いただいて一年間活動していただけると良いと思っております。

(質問) 園 理事候補者

「永続的に魅力溢れる運動を展開出来る組織づくりを目指します」と書いてありますが、永続的に魅力溢れる運動というところで委員長の思うものは何ですか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

会員拡大にも関しまして永続的に活動していくにはメンバーがいなければ永続的に活動出来ないと考えます。一定数のメンバーを確保しつつ、永続的に活動出来る組織という意味で永続的という言葉を使わせていただいています。

(質問) 園 理事候補者

最終的に総務広報委員会では拡大を行い運動展開出来る組織を目指すということですか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

拡大は1つのテーマでありますので総務、広報を含めて拡大に取り組むのは大きなポイントではあります。総務の担いとしては総会や大事なことを決める場の設営を行い、皆さんに組織の在り方等を考えていただくことも大事ですので両輪でやっていきたいと考えます。

(質問) 園 理事候補者

事業計画の会員拡大のところで内容で仲間の輪を広げる活動と書いておられるのですが、どの様な活動をしようと思っておられますか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

内容につきましては委員会と共通の仲間の輪を広げる活動とはなっていますが、総務広報委員会としては広報が会員拡大に繋げられる1つの委員会になるので、広報の部分を使用して仲間の輪を広げていきたいと考えております。

(質問) 園 理事候補者

解りました。褒章申請の上の空白は必要ないと思いますので訂正お願いします。それと、3月度例会組織の魅

力を伝える手法を学ぶ例会では組織の魅力より手法を学ぶことでしょうか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

総務広報委員会だけでSNS等を行ってもなかなか拡散力が無いと思いますので、できるだけ早い段階の3月の例会で、例えば総務広報委員会で作った投稿をシェアする等、メンバーの方から魅力を伝える手法を学ぶ例会を考えております。

(質問) 北村 理事候補者

8月度例会の組織の在り方について考える例会とりますが方針のどの部分ぐらいにあたりますか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

下段の一行目の所の「組織の在り方を今一度見直し」の所です。歴の浅いメンバーも多いので組織の在り方というところをもう一度再認識するべきと考えています。

(質問) 北村 理事候補者

僕は歴も深いのでそういったところを知っていなければならないのですが、例えばすべてを把握しているメンバーの方がその例会に参加した時や、歴の浅いメンバーが参加して最終的にどうなってほしいかのイメージはありますか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

歴が長い方ですべてを把握している方はもしかしたらいるかもしれないのですが、灯台下暗し的に知らないこともあると思いますので、再確認をするというところと歴の浅いメンバーにレクチャーをしていただくことで学びになると考えます。

(質問) 北村 理事候補者

その例会に参加して結果どうなりますか。知らないことを学び今一度見直して確認は出来ると思うのですが、それでどの様になるのですか。

(応答) 澤田 務広報委員長候補者

結果的には彦根青年会議所の在り方を学んだうえで、今後の活動に活かして欲しいと考えます。組織として活動について学ぶことで参画の仕方等変わってくると思いますので、無駄にはならないと考えます。

(質問) 北村 理事候補者

僕も総務広報委員会の委員長でしたので、すごく良く分ります。方針を見ていると自分の方針とよく似ていると思いますので、今年一年で澤田委員長の色を出してほしいと思いました。あと方針の中で「役割と責任を理解し」と書いてあるのですが、来年の僕の役割と責任とは何ですか。メンバーの一人ひとりが役割と責任を理解していないといけないということですよ。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

役割と責任を理解し活動に取り組む環境を整えると記載していますので、役割や責任を理解出来るように環境を整えていこうと思います。

(質問) 北村 理事候補者

役割と責任を理解していないとダメだと思うのですが、どこかでメンバー一人ひとりが役割と責任を理解する場がないといけないと思います。委員長はどう思われますか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

今後委員会で役割と責任といったことを理解できるような場を考えていきたいと思います。

(意見) 北村 理事候補者

8月度例会の内容を見ているところらへんなのかと思います、メンバー一人ひとりが役割と責任を理解出来るような例会にしていきたいと思います。

(質問) 中西 理事候補者

3月度例会がメンバー向けですが次年度では公式訪問はないのでしょうか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

次年度では公式訪問はないとお聞きしていますので3月はメンバー向けの例会をしようと考えています。

(応答) 夏原 専務理事候補者

次年度の公式訪問に関してまだ確実な情報ではないですが、公式訪問というかたちではないですが、滋賀ブロック協議会から各LOMに対して、本会のお話を伝えるような取り組みの予定はされています。

(質問) 中西 理事候補者

もしかしたらあるという可能性もあるのですか。その場合は事業計画の変更の可能性もあるのですか。

(応答) 夏原 専務理事候補者

例会という形ではさせていただかない予定で考えております。

議長判断により休憩

休憩時間 30分 19:00~19:30

(補足説明) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

組織の輪確立委員会方針一読

地域のために自ら行動を起こせる人間として、積極的に活動を続けるためには、メンバー一人ひとりが目的を持って活動し、強い意志で切磋琢磨し彦根青年会議所での貴重な時間を共有する中でお互いを大切に思い、かけがえのない友情を育む必要があると考えます。組織の輪確立委員会では意識の向上を図り、メンバー同士での魅力を磨き上げ、困難に負けず目標に向かい、活動を通して心の底から語り合う機会を創出し、仲間への感謝の気持ちや思いやりを持つことにより、生涯の宝となる仲間の強い絆で結ばれると考えます。

(質問) 夏原 理事候補者

下段に「会員拡大で意識向上を図り」と書かれているのですが事業計画の中のどこで取り組みをされるのです

か。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

事業計画には書いていないのですが、懇親会やそういった場で少し会員拡大について話をする等、多くの会員拡大をされた人にどの様にされたのか話を聞きたいと思っております。

(質問) 夏原 理事候補者

来年コロナの状況にもよりますが懇親会等開かれなかった場合はどの様にお考えですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

そのような場合は例会の時間を少しお借りして行いたいと思っております。

(意見) 夏原 理事候補者

各委員長としっかりと連携を取り、頑張ってください。

(質問) 藤井 理事候補者

方針を見ていると四文字熟語が沢山使われているのですが何か想いはありますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

四文字熟語は言葉の意味が凝縮されていますので簡潔に想いが伝わると思いました。

(質問) 藤井 理事候補者

下段の一行目の相互研鑽の意味を教えてください。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

意味としてはお互いに能力を磨き上げると意味があるのですが、私の解釈としましてはメンバー同士で想いをぶつけ合うことで互いに成長していけるとゆう意味で使用しています。

(質問) 藤井 理事候補者

お互いが研鑽していくということで事業計画の何処に当てはまるかはありますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

会員研修で行いたいと思っております。

(質問) 藤井 理事候補者

会員研修でされるということですが内容等は決まっていますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

具体的にはまだですが話すことについて焦点を当てて、そういった会員研修を開きたいと考えています。

(意見) 藤井 理事候補者

メンバー同士が話して資質の向上は良いことだと思いますので、良い会員研修になる様に頑張ってください。

(質問) 上田 理事候補者

組織の輪確立委員会ということで輪を作る委員会だと考えますが、丸山委員長の想う輪を作るために必要なことはどのようなことですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

下段に書いている「メンバーが相互研鑽を通して資質の向上を行うとともに、不撓不屈の精神で団結し目標に向かい」というところで5月度例会、「互いへの感謝や思いやりをもつことにより」というところで12月度例会と考えていましてそれらを全部達成することで組織の輪は確立出来ると思っています。

(質問) 上田 理事候補者

12月にならないと輪は出来ないということでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

輪としましては彦根青年会議所が輪と考えていますので、一年間を終えて現状より更に強固な輪にするという意味で考えております。

(質問) 上田 理事候補者

そのために必要な手法はどのようなものがありますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

会員研修や5月度例会等の目標に向かい団結し達成することで意識の共有をし、12月度例会に1年間の想いを聞きあうことによって強固な輪になると考えます。

(意見) 上田 理事候補者

委員会名にあるように組織の輪を作るということで強い輪を作っていただきたいと思います。

(質問) 中西 理事候補者

組織の輪を確立するというのですが具体的にどのようなものですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

メンバー一人ひとりが思いやりや強い信頼関係で結ばれている組織だと考えます。

(質問) 中西 理事候補者

絆と輪の違いはあるのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

絆の意味は人と人が一つとなる強い想いを絆という言葉で表しています。組織の輪は思いやりや助け合ったりすることで生まれる信頼関係の輪だと考えます。

(質問) 中西 理事候補者

組織の輪は丸山委員長の中では絆よりもより互いの思いやりがある絆より強いものという認識でよろしかったですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

その通りでございます。

(質問) 中西 理事候補者

「メンバー一人ひとりが確固たる信念をもち」と書かれていますが、メンバー一人ひとりが確固たる信念を持ってもらうために何かされる取り組みはありますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

例会や会員研修にただ参加するのではなく目的やどのような学びがあるのか考えて参加していただきたく、PR等で事前にある程度内容を理解していただいて目的や学び等を考えたうえで参加していただきたいと考えます。

(質問) 中西 理事候補者

メンバーがJC活動するための信念をもち例会等に参加する認識でよろしかったですか。それともJC活動以外の信念もあるのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

地域のリーダーとして活動をする為には対内例会の学びも必要だと考えております。

(質問) 中西 理事候補者

例会に参加するだけでは確固たる信念を持っていないと思うのですがメンバー一人ひとりに持ってもらうために何か例会等を通したりして何かするのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

特に考えておりません。

(質問) 中西 理事候補者

例会に参加する意義を伝えるだけでは地域のリーダーになる為の信念等を持つには足りないと思うのですがどのように考えておられますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

彦根青年会議所に属していることで高い意識を持っていると思うのですが地域のリーダーとして活動していくために自分に足りないもの等、例会を通して目的と意義を見つけていただけたらと考えます。

(意見) 中西 理事候補者

メンバーの皆さん自主的に活動されていると思うのですが、確固たる信念があると言われるとそうでもない気もありますので一年間の活動で確固たる信念を持てるように促すような取り組みをしていただけたらと思

います。

(質問) 藤井 理事候補者

組織の輪とは全メンバーが仲間と強い絆で結ばれた組織づくりと思うのですが、現状参加されていないメンバーに対して来ていただくような取り組みは考えておられますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

早めの電話等で参加していただけるように考えております。

(質問) 藤井 理事候補者

早めの電話で来てもらえるのであれば今でも来てもらえる様な状況はあったと思うのですが、全メンバーが集まるほうが一致団結出来ると思うので、そのために特に考えていることがあれば教えてください。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

何度も電話をして来ていただけるようお願いしたいと考えます。

(質問) 夏原 理事候補者

9月度例で滋賀ブロック大会に参加して開催する例会だと思うのですがこれに参加してどの様に活動の理解を深めるのですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

滋賀ブロック協議会がどのような活動をしているのか歴の浅いメンバーは知らないと思いますので参加していただいて活動を知ることによって理解が深められると思います。

(質問) 夏原 理事候補者

その内容は方針のどのあたりになりますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

活動を通して本音で語りあえる機会を創出しの部分です。

(質問) 夏原 理事候補者

滋賀ブロック大会に参加してメンバー同士が本音で語り合える機会を何か別でやられるイメージですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

L OMランチやご飯を食べる場で普段会話しないメンバーとも会話する機会があると思いますので、このような場だと歴の浅いメンバーが歴の深いメンバーとも会話出来る機会があると思いますので、そのようなイメージです。

(意見) 夏原 理事候補者

理解しました。会員大会等メンバーを募るのが大事ですので電話等でしっかりとメンバー集めて頑張っていたきたいと思います。

(質問) 中西 理事候補者

方針の下端に、「メンバーが相互研鑽を通して資質の向上を行うとともに」と書かれていますが相互研鑽をする取り組みとはどの辺りになりますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

2月に行う会員研修で考えております。

(質問) 中西 理事候補者

上段にも切磋琢磨するとともにとも書かれていますが相互研鑽や切磋琢磨する取り組みは2月以外にも考えておられますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

2月だけで考えております。

(意見) 中西 理事候補者

地域のリーダーとして活動する為に信念を持つことや切磋琢磨することは目的を達成する為に大事だと思いますので、2月ではメンバーの資質が向上出来るような取り組みにしていきたいです。

(質問) 上田 理事候補者

資質の向上の資質とはどのようなものですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

会員研修の人間力のことと考えます。

(質問) 上田 理事候補者

人間力とはどのようなものですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

言葉の意味としては自立した一人の人間として生きていくための総合的な力という意味ですが、今回使わせていただいているのは、J A Y C E Eとして話す力のことと考えます。

(質問) 上田 理事候補者

相互研鑽をして話す力を作ることを目指すということではよろしかったでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

相互研鑽をして話す力の向上と考えます。

(質問) 中西 理事候補者

下端の二行目に団結し目標に向かいとあるのですが団結して向かう目標とは何ですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

生涯の宝となる仲間と強い絆で結ばれた組織をつくる過点ですが、目標を定めそこにメンバーが向かうことで意識を共有し達成感やくやしさを等の気持ちの共有と考えます。

(質問) 中西 理事候補者

目標は何ですか。通過点かもしれませんが目標がないと目指せないと思うのですが。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

5月度例会で目標を定めることをメンバーと考えたいと思っております。

(質問) 中西 理事候補者

絆をより深めるのが目標なのか、資質の向上なのか、委員会方針として団結して目標と書かれていますのでもう少し具体的なものはないのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

この文の目標は5月度例会の目標であり全体の目標ではありません。

(質問) 中西 理事候補者

委員会として目標があってそれをやる為の5月度例会だと思しますので委員会として何かあると思うのですがいかがでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

メンバーの想いや気持ちの一つにしてみたいことと思っております。その為に力を合わせられるような場を設営することでみんなの想いを一つにすると考えます。

(意見) 中西 理事候補者

メンバーの想いを一つにするという目標で理解しました。

(質問) 北川 理事候補者

メンバー一人ひとりが確固たる信念を持ちと書かれています丸山委員長はどのような信念をお持ちですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長候補者

仲間と強い絆で結ばれた組織を目指す信念を持っております。

(意見) 北川 理事候補者

生涯の宝となる仲間と強い絆で結ばれた組織づくり、この信念を持ちしっかりと一年活動してください。

(補足説明) 西村 地域共創委員長候補者

地域共創委員会方針一読

このまちに暮らす人びとがコロナ禍により生活環境が変化し、市民同士の交流の機会も減り、様々な不安やス

トレスを感じながらの生活から3年が経ち、ようやくWithコロナという新しい生活スタイルとなっている現代だからこそ、地域の人びとと広く関わりを持ち、今まで以上に市民を引き込んだ活動をするのが活気あるまちづくりに繋がると考えます。地域共創委員会ではこのまちに古くから根付く伝統や文化、豊富な歴史財産が数多くありますが、普段生活していく中で当たり前になっています。ですがそれはここにしかないひこねオリジナルであり、ここに注目してメンバーとともにまずは私たちがひこねオリジナルについて理解を深め、自分たちの住むまちの魅力や価値を市民や次世代を担う子供達に向け、発見や魅力をより多くの方々に発信することで、興味を仰ぎひこねオリジナルに触れ合う場を持つことで自分たちの暮らす地域に誇りを持ち、愛郷心を育むとともに、関心を高め、市民一体となり地域を活気づけ、魅力のあるひこねを伝えて行きたいと思っております。

(質問) 夏原 理事候補者

方針や補足説明にひこねオリジナルがよく出ていましたが、委員長の思うひこねオリジナルとは何ですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

私が思うひこねオリジナルとは市民が誇りを持てる魅力あるひこね特有の地域資源だと考えます。

(質問) 夏原 理事候補者

2月度例会、写生大会、11月度例会のひこねオリジナル探求・体感・伝播このひこねオリジナルは同じものと考えてよいでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

同じものではないですが魅力ある地域資源という部分では同じものです。

(質問) 夏原 理事候補者

探求・体感・伝播の流れを見ると私の中では2月例会でインプットをして、写生大会・11月度例会で何かアウトプットする様なイメージなのですが、写生大会でアウトプットするようなことはありますか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

アウトプットする様な例会ですが内容は現在未定です。

(意見) 夏原 理事候補者

内容についてはこれからじっくり考えていただけたら良いと思いますので、メンバーや市民が体感できるような事業、伝播出来るような内容にしていただけるように頑張ってください。

(質問) 青木 理事候補者

「活気に溢れた明るいまちの未来」と書かれていますが、活気に溢れたまちと明るいまち意味は同じかと思うのですが何が違うのでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

明るいまちとは地域の関心やまちを想う心を持った市民が暮らすまちと考えます。

(質問) 青木 理事候補者

明るいまちについては理解しました。活気に溢れているまちとはどのような状態ですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

活気に溢れているまちとは人々が沢山集まり住み暮らすまちと考えます。

(意見・質問) 青木 理事候補者

想いはあると思うのですが、限られた文字の中で表現をするので似たような言葉は使わずにもっと委員長の想いを表現出来る言葉のほうが良かったのではないかと思います。ただその様な想いを持っているなら良いとも思いまいした。あと、多くの人が集まり彦根の魅力を理解している人が多くいる状態の未来を作っていきたいと思うのですが、それを叶えるには地域資源の触合いと関心や誇りを高めて愛郷心を育むとゆうことでこの未来は叶えられますか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

その様に考えております。

(質問) 青木 理事候補者

それをする為に事業をされると思うのですが何故2月度例会はメンバーだけで考えておられますか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

まず、私たちがひこねオリジナルについて詳しく理解しなければ発信出来ないと思い、2月度例会はひこねオリジナルについて理解を深める場にしたいと考えました。

(質問) 青木 理事候補者

方針下段に「地域資源の探求と魅力の再認識」と書かれていて、2月度例会で探求ということで探求と再認識とは別の意味と考えますが探求と再認識どの様な違いですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

ものを探しに行くことを探求としまして魅力というものも新しいものを探す探求でもなく、魅力を再認識して魅力を探すと考えていますので両方探すというわけではないです。

(質問) 青木 理事候補者

ものを探さないということであればそれは探求とは言わないと思うのですが、今いるメンバーで新しいものを探すことを探求かと思えます。知らないものを知るのではそれは再認識とも違うと思うのですが、探求と再認識では相容れないものと考えます。探求と再認識を使用した意味を教えてください。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

例えばですが国宝・彦根城は皆さんも知っていると思うのですが国宝・彦根城の良い所は知らない方もおられると思いますので国宝・彦根城の知らないことを探求し、尚且つ魅力を再認識すると考えております。

(意見) 青木 理事候補者

既存の地域資源を深く探っていくと理解しました。ただ、今おっしゃっていた国宝・彦根城等は今いるメンバーはある程度のイメージはあると思いますので、2月度

例会のイメージはありませんが、せっかくなので国宝・彦根城にとらわれず新しいものを探すのも良いのかとも思いました。

(質問) 北村 理事候補者

関係諸団体や多くの人びとを巻き込みと書いてありますが、多くの人びとを巻き込むとはどのような意味でしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

多くの人びとにひこねオリジナルを伝播したいと考えていて、多くの人びとを巻き込むことで沢山のの人に伝播出来ると思います。

(質問) 北村 理事候補者

事業に参加してもらうことが巻き込むということですか。参加だけでは巻き込んでないというイメージがあるのですが、どの様に巻き込んでいくのかということを説明して欲しいと思います。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

具体的には決まっています。

(質問) 北村 理事候補者

例えば例会の中に対外の方に参加していただいて、その例会の中で対外の方に地域資源を伝播するのは手法の様に思います。例会の中で手法をとるのではなく対外の人を巻き込んでのイメージがあると思うのですがいかがでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

多くの人びととは個人的にまちおこしを考えている方、事業に協力して下さる方々と共に活動したいと考えます。

(質問) 北村 理事候補者

今おっしゃられたのは関係諸団体だと思うのですが多くの人びとは巻き込んでいかないのですか。

議長判断により休憩

休憩時間 5分 20:45~20:50

議長

退席 清水翔太 君 出席理事数 14名

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

多くの人びととは関係諸団体以外の協力関係を持てる個人やメンバーを指しており、例えば一緒に活動を行う子どもちや個人的にまちおこしを行っている人で、事業に協力をしてもらえる方を指しています。

(質問) 北村 理事候補者

一般市民や参加していただく方々ではないのですね。そしてその方々を巻き込み「次代を見据えた活動」と書いてありますが「次代を見据えた活動」どのような活動でしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

多くの人びとにひこねオリジナルを伝播することで愛郷心を育む活動を行えると考えます。

(質問) 北村 理事候補者

関係諸団体やまちづくりをされている諸団体を巻き込んでその方々に愛郷心を育むということですか。それが次代を見据えた活動という認識で良かったでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

関係諸団体と共に市民に次代を見据えた活動をしていただきたいと考えます

(質問) 北村 理事候補者

次代を見据えるとはどのような意味ですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

今いる子どもたちやこれから社会に出る学生などのことを考えています。その子たちに愛郷心を育むことで次代を見据えられると考えております。

(質問) 園 理事候補者

ひこねの地域資源を探求しと、書いていますがひこねの地域資源とは何ですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

例えばですが国宝・彦根城や豊郷小学校旧校舎群や他にも多々あります。

(質問) 園 理事候補者

ひこねの魅力ある地域資源とは何ですか。

(応答) 西村 地域共創委員長

ひこねにある魅力あるようなものを魅力ある地域資源だと考えます。そういった地域資源に自分自身が魅力を持てれば魅力ある地域資源になると考えます。

(質問) 園 理事候補者

上段ではひこねの魅力ある地域資源とのふれあいを通じてと書かれていますので、委員長の中では考えられていると思いますのと、下段ではひこねの地域資源を探求しと書いています。地域資源、地域資源とでてきているので僕の中では違う単語だと思っていたのですが、もし一緒なのであれば分けて書くのは少し違うと考えます。ひこねオリジナルに関しまして先程の質問でも魅力ある地域資源です。ということは全部が地域資源であればひこねオリジナルと言わなくてもいいのではと思います。ひこねオリジナルは特に決まっていはいないと思いますが委員長・委員会が想うひこねオリジナルとはこれだというものを掲げないと地域資源は沢山あるのでもっと細かく書いても良いのかと僕は思いました。歴史文化や地域の人も地域資源ですし子どもたちも地域資源と沢山あるので今のままだと大まかすぎて委員会の方向性が見えないと思いました。この委員会の最終目指すべき場所は何ですか。活気と魅力に満ち溢れたまちの共創を目指すとはどのような意味ですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

関係諸団体や多くの人びとを巻き込み活動し伝播出来たときに共創出来ると考えます。

(質問) 青木 理事候補者

事業計画の11月度例会でひこねオリジナルを伝播する例会とあるのですがメンバーと市民でひこねオリジナルを伝播されるイメージですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

その通りです。

(質問) 青木 理事候補者

メンバーと市民が一緒になってひこねオリジナルを伝播されるということですが、方針には志の高い仲間とひこねオリジナルを伝播すると書かれています。志の高い仲間とはメンバーだと思うので、メンバーだけで伝播されると考えるのですがどのようなイメージを持っているのかももう少し詳しくお願いします。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

わたしたちが伝播出来る場を設け、その場で市民とともに伝播しようと考えます。

(意見) 青木 理事候補者

メンバーが場を用意して携わっている人に伝播してもらおうということでメンバーは設営するだけなのか疑問点がありますが、この中に先程の質問での多くの人々を巻き込みとかもかかってくるのかなと思いますのでしっかりと計画していただきたいと思います。せっかくのひこねオリジナルなので西村委員長の想うようなひこねオリジナルを作っていって下さい。

(質問) 北村 理事候補者

地域共創委員会が一年間を通して活動されて、どのような成果が得られれば活気と魅力に満ち溢れたまちの共創が出来たと思いますか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

地域への関心や誇りが高く愛郷心を育てている人が増えれば活気と魅力に満ち溢れたまちの共創が出来ているのではないかと思います。

(質問) 北村 理事候補者

愛郷心を育まれた人とはどのような状態の人のことを言いますか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

このまちに住み続けたいこのまちを愛するような人だと考えます。

(意見) 北村 理事候補者

対象者となるのは全ての人びとだと思いますので一年間の活動を通してそういう状態になってもらえる様に全力で活動していただきたいと思います。

(質問) 青木 理事候補者

事業計画で写生大会とありますが例年のような規模での開催で考えられていますか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

その予定で考えております。

(質問) 青木 理事候補者

写生大会での付帯事業は考えられていますか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

付帯事業も行おうと思っております。

(意見) 青木 理事候補者

一年の主軸事業だと思いますので、関係諸団体や多くの人々を巻き込むことでもっと大きな付帯事業も出来ると思いますので11月例会にも繋げられる様な取り組みをしていただきたいと思います。

(補足説明) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

70周年実行特別委員会方針一読

2023年度彦根青年会議所は創立70周年を迎えるという節目の年です。この年を迎えることができたのも、先輩諸氏が築き上げてこられたからだと思います。これまでの積み重ねてこられた歴史を再認識し、先輩諸氏に敬意を表し、これから先も続いていく彦根青年会議所へ

と繋げて行きたいと考えています。

(質問) 園 理事候補者

「先輩諸氏の精神やプライドを再認識する」というところについてわかる範囲で教えてください。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

先輩諸氏のその年の事業を行った想い、魂や誇りなどを理解したいと考えます。

(質問) 園 理事候補者

事業を行った想いであつたりを見直したりするのが4月度例会ということですか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

4月度例会でも行いたいと思いますし、周年紙でも過去の事業風景を載せますので、そこでも再認識していただければと考えます。

(質問) 園 理事候補者

「創立70年を迎えたことに感謝を表す中で」とありますが誰に感謝を表すのでしょうか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

先輩諸氏に感謝を表したいと考えております。

(質問) 園 理事候補者

ということはひこねの地域の方々には感謝は表さなくても良いということですか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

失礼いたしました。勿論地域の人たちにも感謝を伝えたいと思っております。

(質問) 園 理事候補者

「唯一無二のひこねへの新たな一步を」と書かれていますが委員長の思う「唯一無二のひこね」とはどういったものでしょうか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

「唯一無二のひこねへ」ということで僕たちが運動をおこし、挑戦して進化をすることで未来のあるひこねを目指したいと思っています。

(質問) 北村 理事候補者

彦根青年会議所が70周年を迎えるにあたってまちの方々に感謝すると、先輩に対し感謝するといったところで、なぜ両者に感謝しないといけないのか教えてください。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

70年という歴史を先輩たちが築き上げてこられたからこそ70年目を迎えることが出来たと考えます。そして先輩たちが行ってきた事業、そこに参加していただいた市民のお陰でもあると思いますので市民にも感謝しなければいけないと考えます。

(質問) 北村 理事候補者

先輩諸兄に関しましておっしゃる通りと考えます。まちの方への感謝ですが事業に参加していただいた方のみに対しての感謝という認識で良かったでしょうか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

我々の活動も市民の方々や組織の協力があって活動出来ると思いますので、市民にも感謝したいと考えます

(意見) 北村 理事候補者

我々が活動や仕事を当り前のように出来るのもこのまちが活気に満ちて、豊かなまちだからこそだと思いますので、そういったところを意識して70周年に向け頑張ってください。

(質問) 木田 監事候補者

事業計画の創立70周年に関する諸事業の開催とありますが具体的にどの様なことをするのかイメージがあれば教えてください。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

式典や祝賀会などと考えます。

(質問) 木田 監事候補者

その他にイメージするものはありますか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

ロゴマークについても考えます。

(意見) 木田 監事候補者

澤井委員長が周年について一番理解していないと他のメンバーは分らないと思いますので、しっかり70周年について理解し、把握してメンバーに伝えるのが大事だと思います。ですので今からしっかりイメージを持って準備していただきたいと思います。頑張ってください。

(補足説明) 藤井 財政規則特別委員長候補者

財政規則特別委員会方針一読

70周年という歴史の中で、先輩諸氏が築いてこられた市民や諸団体との信頼関係を守り、より強固にする必要があると考えます。そのため、公益社団法人として厳格かつ的確な財務運営と組織全体への法令順守を行って行きたいと考えます。財政規則特別委員会では、事業会計をしっかりと把握し、しっかりと審査指導していきたいと考えます。また6月度例会でコンプライアンスを学んでいただくことにより、彦根青年会議所活動及び社業に活かしていただくとともに、地域からの信頼にこたえられる青年会議所活動が行えると考えます。

(意見) 北村 理事候補者

西村委員長、一年間を通して委員会方針がずっとついてまわります。事業を開催するたびに次代を見据えた活動という質問が来るかもしれません。方針を自分のものにしっかりとしていきたいと思います。

(質問) 園 理事候補者

澤井委員長に聞きたいのですが、事業計画で「内容」「対象」「時期」、「内容」「時期」「対象」とバラバラなので直してほしいです。あと70周年記念誌に対し対象はないのか教えてください。

(資料訂正) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

審議資料 2023年度 基本方針及び事業計画 (案)

20ページ 70周年実行特別委員会事業計画 (案)

創立70周年に関する諸事業の開催

(誤) 内容・対象・時期

(正) 内容・時期・対象

20ページ 70周年実行特別委員会事業計画 (案)

彦根青年会議所創立70周年記念誌の作成

(追記) 対象:メンバー及び市民

(質問) 宮川 監事候補者

理事長の事業計画と地域共創委員会の事業計画において1月度例会(新年交流例会)、10月度例会(家族例会)、11月度(事業例会)と記載ありますが後ほど上がってくる10号議案には1月度(新年交流)例会という表記になっています。表記が違いますのでどちらかに統一された方が良いと思います。

(資料訂正) 夏原 専務理事候補者

審議資料 2023年度 基本方針及び事業計画 (案)

14ページ 理事長方針及び事業計画 (案)

事業計画

(誤) 1月度例会(新年交流例会)

(正) 1月度(新年交流)例会

14ページ 理事長方針及び事業計画 (案)

事業計画

(誤) 10月度例会(家族例会)

(正) 10月度(家族)例会

19ページ 地域共創委員会方針及び事業計画

事業計画

(誤) 11月度(事業例会)

(正) 11月度(事業)例会

17ページ 組織の輪確立委員会方針及び事業計画

事業計画

(誤) 12月度例会

(正) 12月度(卒業)例会

(質問) 木田 監事候補者

常設委員会や理事長所信の事業計画にもあるのですが会員拡大の記載をされていますが、記載をした意図を教えてください。

(応答) 夏原 専務理事候補者

2023年度は橋本理事長予定者の強い思いもありまして拡大に力を入れたいと考えています。拡大について各委員会にて担いであるとしっかり認識していただけるようにこの様な形にさせていただきました。

(質問) 木田 監事候補者

15名拡大されるという橋本理事長予定者の熱い思いで記載されたのかなと思いますが、理事長所信の事業計画では会員拡大活動の推進とあります。その他は仲間の輪を広げる活動と書いていますがこの違いは何ですか。何故理事長所信の事業計画では仲間の輪を広げる活動はないのですか。

(応答) 夏原 専務理事候補者

今回拡大を各委員会に担っているのですが、執行部としてはしっかり皆さんが拡大活動に取り組んでいただけるような活動をさせていただきたいと考えております。仲間の輪を考えないわけではないのですが、執行部が背中を見せるという意味で推進していく、ということで事業計画には記載しておりません。

(質問) 木田 監事候補者

特別委員会にこの様な記載がないのはなぜですか。

(応答) 夏原 専務理事候補者

特別委員会は他の委員会に属していますので特別委員会の事業計画には盛り込んでいません。

(質問) 木田 監事候補者

事業計画に書かれていますので各委員会活動されると思います。または計画議案という形で上がってくることもあるのかという想像もありますが、各委員会で取り組

みをされて理事会に計画議案をあげる予定はありますか。

(応答) 夏原 専務理事候補者

現在は各委員会での拡大の取り組みを上程することはありませんが仮入会会員の上程は各員会での上程はしてもらおうとは思っております。特殊な動きを持つ計画議案は各委員会での上程は考えておりません。各委員会の担いでの拡大活動に尽力していただきたいと考えます。

(質問) 木田 監事候補者

各委員会が拡大に成功した時は各委員会で責任を持って仮入会会員の議案の上程を行うという認識でよろしかったでしょうか。入会の議案の上程だけでよろしかったですか。

(応答) 夏原 専務理事候補者

入会の上程と仮入会研修に関しましても各委員会でしていただきたいと考えます。

(質問) 木田 監事候補者

総務広報委員会の澤田委員長が一人拡大したら、総務広報委員会で仮入会会員の議案を上程し、その後仮入会会員の研修をする。その後、正会員議案の上程、新入会員の研修も総務広報委員会ですという認識でよろしかったですか。

(応答) 夏原 専務理事候補者

「各委員会で責任を持って見てね」というような投げやりなものではなく、各研修には執行部も入らせていただこうと考えております。

(意見) 木田 監事候補者

そのような取り組みを各委員会に落とし込みをされているのか、各委員会任せにならないようにしっかりと仮入会研修では何をしなければいけないのか、例えば組織の輪確立委員会に仮入会された時、仮入会会員研修でやらなければならないことプラス各委員会の取り組みがあれば委員会としてもしっかりと責任を持って出来ると思います。そのあたりをどの様にしていくのかしっかりと

詰めていただきたいと思います。

(決定) 全会一致をもって承認

議長判断により休憩

休憩時間 5分 21:40~21:45

3号議案 2023年度職務分掌(案)承認の件

(資料訂正) 夏原 専務理事候補者

審議資料 2023年度職務分掌(案)3ページ

70周年実行特別委員会

(削除) 会員の拡大に関すること

財政規則特別委員会

(削除) 会員の拡大に関すること

事務局に記載している。

(削除) 会員の拡大に関すること

審議資料 2023年度職務分掌(案)3ページ

(誤) 組織の輪確立委員会

会員の拡大及び入退会に関すること

(正) 組織の輪確立委員会

会員の拡大に関すること

(補足説明) 夏原 専務理事候補者

2023年度の前年度との大きな変更点としましては総務委員会と広報委員会を合わせた総務広報委員会とさせていただきます。理事会は引き続き事務局が担当しますが事業報告書に関しまして2023年度は事務局にて担当させていただきます。会員拡大につきまして各特別委員会・事務局を除いた全委員会に担当していただきます。ご審議のほどよろしく申し上げます。

(質問) 木田 監事候補者

総務広報委員会に記載されている例会の出欠管理は具体的にどの様にされるのでしょうか。

(応答) 夏原 専務理事候補者

こちら出欠管理をしてアテンダンスとして警告・勧告を含め、管理をしていただくことになっております。

(意見) 木田 監事候補者

もともと事業計画に挙げて例会の皆出席をされた方には記念品を贈呈していました。私の解釈としまして例会にはメンバーは必ず出席する義務があると思います。事業計画を上げてまでの取り組みはなくても良いのかと思います、ここ数年もなかったです。ただ例会に欠席された方に対してのアテンダンスの案内をするということは必要だと思います。本来であれば会務報告の中にアテンダンスも記載されていました。アテンダンスについてメンバーは認知できていないと思いますので、そのようなことを今後どの様にされていくのか一度ご検討いただければと思います。非常に大事なことですのでしっかりと取り組んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。

(決定) 全会一致をもって承認

4号議案 2023年度収支予算書(案)承認の件

(補足説明) 夏原 専務理事候補者

2023年度収支予算書承認の件ですが来年度は70周年ということもあり収入の部分で積立金並びに寄付金を記入しております。また拡大人数を15名予定しております。支出に関しましても周年関連の支出が多くなっています。その他支出の部分に関しましては前年度又は60周年の時の情報を参考に予算立てをしております。本日冒頭でもありましたが予算の資料に不備がありましたので修正させていただいております。この後の事業のところでもそれぞれ修正が入りますが拡大人数15名と記入していますがその前は10名と誤って上程していました。その10名でこの後上程される事業も人数計算されていますので後ほど修正させていただくと思います。大変申し訳ございません。審議のほどよろしくお願いいたします。

(質問) 青木 理事候補者

その他の事業会計で7月度例会がありませんが記念式典や祝賀会に含められているということでしょうか。

(応答) 夏原 専務理事候補者

はい。そういうことになります。

(質問) 青木 理事候補者

あと11月度(事業)例会の予算が167万とあるのですがこれは事業例会として周年をされる為の予算ですか。

(応答) 夏原 専務理事候補者

事業としましては地域共創委員会の担いの秋事業という立ち位置ではありますが、周年の記念事業ともありますのでその分多めの予算を組んでいます。

(質問) 青木 理事候補者

わかりました。ありがとうございます。11月度(事業)例会では全振りで公益目的事業にしてよろしかったですか。その他に割り振らなくても良かったですか。

(応答) 夏原 専務理事候補者

一旦、写生大会等同様に内部的な事業というよりは公益目的として、具体的には言えませんが我々のことやひこねのことを知っていただく事業になりますので、100パーセント公益でも問題ないのかなと考えます。

(意見) 青木 理事候補者

わかりました。ありがとうございます。また8月に補正されるとは思いますので、またその時に詳しく調べてもらえれば良いかと思います。あと、公式WEBサイトのWEBは全角かと思います。

(質問) 園 理事候補者

予算書の見かたがよくわからないのですが、0書いているところや0書いてない所の違いはあるのですか。統一感がないとも思うのですが。

(応答) 夏原 専務理事候補者

予算書のフォーマットなのですが元々数式が入っていたりするものでありましてその関係で0が表記されたり、表記されていないなかったりという形となっております。

(質問) 園 理事候補者

だから統一感がないということでもいいのですか。参考資料-1の食事代の周年記念誌だけ0で他は空白となっているので気になりました。

(応答) 夏原 専務理事候補者

見られる方に疑問に思われたらそれは資料として直すべきところなのかと思いますので、またこちら再度補正等上げさせていただく時には空白の部分も書くべき所には入れさせていただこうかと考えております。

(決定) 全会一致をもって承認

5号議案 2023年度LOMスローガン承認及び掲出物作製の件

(資料訂正) 澤田 総務広報委員長候補者

審議資料 5号議案 2023年度LOMスローガン承認及び掲出物作製の件
5ページ 審議資料

(誤) 2023年度 スローガン

(正) 2023年度スローガン

(補足説明) 澤田 総務広報委員長候補者

2023年度の彦根青年会議所のLOMスローガンとして表現することでこれを掲出物として掲げることにより、対外向けには運動にかける熱い想いを地域や関係諸団体など、より多くの方々に知っていただく契機になると考えます。対内につきましてはスローガンとして掲げ、共に唱和することにより、メンバー間で運動にかける熱い想いを共有し、70周年を迎える機運を高め、組織の強固な絆を構築する一助になると考えます。また予算の方で例年11000円となっておりますが、昨今原材料価

格の高騰に影響を受けまして今年度1100円から14000円にと少し上がっております。審議のほうよろしくをお願いします。

(質問) 青木 理事候補者

審議資料のレイアウト図のイメージ図のグルグルとなっているところは何なのですか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

木の年輪をイメージしており、彦根青年会議所が70周年ということも考えまして彦根青年会議所が積み重ねてきた歴史を年輪でイメージしました。

(意見) 青木 理事候補者

わかりました。審議資料のレイアウト図の縦のイメージ図のJCIとマークがあると思うのですが、たぶんこの横にJAPANかHIKONEと入らないといけないと思うのですが、また確認していただきたいと思います。

(質問) 園 理事候補者

デザインについてですが2021年度は理事長の顔が載っていたのですが、今年は載せたりしなかったのは何故ですか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

顔ではなく70周年ということで、そのイメージを掲示し、70周年を説明出来るようにこの様なデザインになっております。

(質問) 園 理事候補

スローガンについて募集して選んだのは委員会メンバーだけですか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

募集はメンバーから募集させていただいて、応募いただいた中から選んだのは委員会メンバーにて委員会で選ばせていただきました。

(質問) 園 理事候補

このLOMスローガンは言葉を取って組み合わせていますか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

そうですね。初志貫徹というのは委員会で決めておりまして、スローガンにつきましては応募いただいたところから選ばせていただきました。

(質問) 園 理事候補

橋本理事長は唯一無二という言葉が好きなのに何故入っていないのかと思います。橋本理事長には聞かなかったのですか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

委員会で相談して決めさせていただきました。

(決定) 全会一致をもって承認

6号議案 会員拡大～拡大王に俺はなる！！～開催の件

(補足説明) 西川 副理事長候補者

彦根青年会議所が70周年を迎えるにあたり、最重要課題といたしまして拡大が挙がっております。そして本年度15名の拡大を目標に掲げております。本年度全委員会に拡大の担いが訪れますので、委員会で拡大活動を行っていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(質問) 中西 理事候補者

審議資料—3の内容は確定しておりますか。

(応答) 西川 副理事長候補者

審議資料となりますので本理事会でご審議いただいた後、発行と考えております。データとして皆様に保管していただき拡大活動の際に印刷したものを持って行っていただきたいと考えております。データを更新するのは可能ですが審議資料として上程させていただくので本理事会で可決され次第、発行したいと考えております。

(質問) 中西 理事候補者

データですので容易に打ち出しができ、予算も掛からないのでごく良い取り組みだと感じます。しかし資料の印刷に関しまして最初にご用意していただきたいと感じましたので、12日の説明会に間に合うのであれば、配布していただきたいと考えます。

(応答) 西川 副理事長候補者

印刷したものを配布することを考えましたが、折れ曲がったり、汚れたりした資料を対象者に渡すことはできないので、各自データを印刷して渡していただきたいと考えています。事務局にはデータを保管し、印刷環境を整えておきますので、印刷環境が無い方は事務局で印刷をしてから対象者へ渡していただければと考えています。

(資料訂正) 西川副理事長候補者

6ページ目 審議資料—3

(誤) 先駆け

(正) 魁

(質問) 園 理事候補者

チーム対抗でポイントを競うということですが、ポイントが一番高いチームに賞品などを贈呈することは考えられていますか。

(応答) 西川 副理事長候補者

丸山委員長候補者の方針にも書かれております生涯の宝となるような仲間に関しまして、入会者がメンバーとして、友として生涯の宝となるということに掛かっております。委員会毎に努めていただいて入会していただくということが新たな仲間ということになると考えております。

(質問) 園 理事候補者

12日に開催される事前説明会で「拡大リストを参考にし」とありますが、新しく2023年度の拡大リストを作成されるのでしょうかもしくは、2022年度の拡大リストを参考に説明会を行うのでしょうか。

(応答) 西川 副理事長候補者

新規に拡大リストを記載しておりません。今日までの拡大リストでは在籍するメンバーとの関連性が低いので2023年度の拡大リストを1年間通して作成したいと考えております。事前説明会で委員会毎にグループディスカッションをしていただく中で各委員会の拡大対象者をリストアップしていただいたものを拡大リストにしたいと考えております。

(質問) 園 理事候補者

20分間のグループディスカッションで拡大リスト作成するということがよろしいですか。

(応答) 西川 副理事長候補者

20分間のグループディスカッションで各委員会の特色を入れながらどのような拡大を行っていくのか、各委員会メンバーの拡大対象者をリストアップしていただき拡大リストを作成していただきたいと考えております。

(質問) 北村 理事候補者

拡大リストは委員会で作成したものを委員会内で共有するというのでしょうか。

(応答) 西川 副理事長候補者

所属委員会でリストアップしたものを報告までにいつ拡大活動をするのかなど計画して保存していただき、最終的に実際に活動したことを拡大リストとして委員長に報告していただきます。それを私が1年間を通してすべてまとめさせていただき、2023年度の拡大リストとさせていただきたいと考えております。

(質問) 宮川 監事

収支予算において会員拡大で2万円の予算が計上されておりますが本議案では予算が計上されておられません。別の事業で拡大をされるという認識でよろしいでしょうか。

(応答) 西川 副理事長候補者

急遽予算が計上されましたので新入会メンバーが多く

なった際の会員研修や入会式などの会場費に活用、メンバーの入会が伸び悩んだ際に活用したいと考えておりません。

(意見) 宮川 監事

予算を使用せず柔軟に、状況を鑑みて予算を使用するというのであれば問題はないと考えますので、有効に活用していただければと考えます。

(質問) 木田 監事

審議資料-3の彦根カタログに2023年度のLOMスローガンが使用されておりますので、1年間しか使用しないと考えておりますが、70周年のロゴも記載すべきだと思います。ロゴを記載しない理由があればお教えてください。

(応答) 西川 副理事長候補者

本議案作成時、70周年のロゴを私が拝見できておらず記載しておりませんが、メンバーが増加し、ロゴを記載するスペースが出来れば記載したいと考えます。

(意見) 木田 監事

70周年のメインイベントとなりますので、大々的に打ち出す必要がありますし、カタログだけでなくロゴマークを使用できる場所は使用するように検討していただきたいと考えます。

(質問) 木田 監事

参考資料-3の預金口座振替依頼書ですが現在のフォーマットと異なりますので確認をお願いします。

(応答) 西川 副理事長候補者

現在使用しているものを本来であればカタログ内に挿入すべきですが、信用金庫で利用できるものが参考資料にあるフォーマットとなります。

(質問) 木田 監事

滋賀銀行はどうされるのか教えていただきたい。

(応答) 西川 副理事長候補者

入会者には信用金庫を推奨しますが、どうしても滋賀銀行の利用をされる方には現状使用している紙を滋賀銀行に提出していただきます。

(決定) 全会一致をもって承認

7号議案 創立70周年ロゴマーク承認の件

(補足説明) 澤井 70周年実行特別委員長

70周年準備特別委員会と共に作成を進めまして、2022年11月度例会で発表させていただきました。このマークを70周年のロゴマークにしたいと考えています。また開催テーマであります「挑戦」「進化」「唯一無二のひこね」をイメージしまして、3色の組み合わせで唯一無二を表現しています。

(質問) 園 理事候補者

ロゴマーク承認で予算が計上されておりますが登録するということでしょうか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

ロゴマークを業者に依頼し作成していただいた代金となります。

(質問) 宮川 監事

予算総額がなしとなっておりますので修正をお願いします。行動計画書の事業名が60周年ロゴマーク承認となっておりますのでこちらも修正お願いいたします。

(資料訂正) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

1ページ目 事業計画概要推進方法 ③

(誤) なし

(正) 1, 1000円

3ページ目 行動計画書

(誤) 創立60周年ロゴマーク承認

(正) 創立70周年ロゴマーク承認

(質問) 木田 監事

前年度の引継ぎ事項に効果的な発信方法を検討していただきたいと記載されておりますが、効果的な発信方法とはどのようなものなのかお聞かせください。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

WEBサイトなどに使用していただきたいと考えております。

(意見) 木田 監事

ことあるごとに70周年のロゴマークを露出していただきたいと思っておりますので、澤井委員長の頭の中からロゴマークをはずさないようにお願いします。

(決定) 全会一致をもって承認

議長判断により休憩

休憩時間 5分 22:55~23:00

(延長動議) 夏原専務理事候補者

定刻の23時となりましたが24時までの延長をお願いいたします。

8号議案 彦根青年会議所公式WEBサイト開設・運営及びSNS運営の件

(補足説明) 澤田 総務広報委員長候補者

2023年度も彦根青年会議所公式WEBサイト開設・運営及びSNS運営の取組をしたいと考えております。新たに取り組むこととしては、Twitter、TikTokのアカウントを新たに取得して運用を開始するという点になります。予算について、現状のホームページを作成しているワードプレスプラグインのサポートが終了しているため、自由に編集できない状態になっています。その状態を改善するために今回、ホームページリニューアル費用の予算を計上しているため、例年より

も予算金額が大きくなっています。このリニューアル費用は本年のみかかるという認識をしております。

(質問) 中西 理事候補者

リニューアルは委員会メンバーでされるのでしょうか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

リニューアルにつきましては業者に依頼します。

(質問) 中西 理事候補者

WEBページで様々な情報を発信されることと思いますが2023年度、澤田委員長がWEBページで特に熱量を注がれる事柄を教えてください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

2023年度につきましては月報をWEBにて配信を考えております。また、70周年ということで他LOMの方や市民の方々が閲覧されたときに70周年に関しての特集記事を集め、閲覧できるようにすることを考えております。

(意見) 中西 理事候補者

見ていただく方により見ていただけるように更新頻度をあげることが必要になりますので委員会メンバーの協力を得て更新していただけるようにお願いします。

(質問) 園 理事候補者

TwitterやTikTokなどは検索をしないと彦根青年会議所がヒットしないと考えますが、興味をお持ちでない方々に彦根青年会議所を知っていただくための手法をお聞かせください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

2023年度に開設予定のTwitterとTikTokですが、Twitterの特徴としましては拡散性が挙げられます。リツイートという機能により多くの方々に伝達されます。TikTokではショートムービーのような動画を作製し写生大会などの事業前にPR動画とし

て配信を考えております。各SNSでリール動画が流れていると思いますがそういった形で目を引き拡散されやすいような工夫を考えております。

(質問) 園 理事候補者

拡散については理解できますが、検索せずとも彦根青年会議所が多くの方に知っていただけるような工夫を教えてください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

SNS広告を事業前などに配信を考えております、不特定多数の方々、彦根青年会議所の活動エリアの方々に見ていただいて興味を持った方がすぐにクリックできるような広告を考えております。

(意見) 園 理事候補者

TikTokや動画を目に止めてもらえるように、動画を視聴した方が彦根青年会議所は入会すれば楽しいところだと思わせることが会員拡大に繋がるといいますのでそのような内容を検討していただければと思います。

(意見) 青木 理事候補者

TikTok、Twitterは新たに開設されますのでフォロー、フォロワーがゼロから始まりますので最低限青年会議所関係をフォローしていただきたいと考えます。

(質問) 青木 理事候補者

Twitter、Facebook、Instagramはリンク式で同じ内容の投稿をされるのでしょうか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

投稿自体は一つの投稿で複数の媒体に投稿、TikTokは動画系の投稿となりますので切り離して考えております。

(質問) 青木 理事候補者

TikTokは動画撮影がございますので尽力していただきたいと思います。Twitter、Facebo

ok、Instagram をリンク式で投稿されると仰っておられましたが、各媒体投稿の仕方に特徴がありますので、各媒体に適応した投稿をされた方がよいと考えております。そのような工夫は考えておられますか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

各媒体に適応した投稿を考えております。文字のみの投稿ではなく画像を付けてリンクを貼り付けることを考えております。

(意見) 青木 理事候補者

Instagram であれば画像は必要ですが Twitter は文字のみでも良いので更新頻度が重要だと思います。閲覧数などのデータを調査しながら運営していただきたいと思います。

(質問) 中西 理事候補者

2022年度まで Twitter の運営について意見がございましたが、様々な理由により導入されませんでした。委員会メンバー、担当副理事長の方々は広報の委員長を経験されてきましたが2022年度まで導入されていないものを2023年度から導入するに至った経緯を教えてください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

Twitter を導入しない理由は炎上しやすいという特徴が考えられます。現在の Twitter はコメントの制限により炎上を防げます。実際に青年会議を調査すると Twitter アカウントを開設されており炎上もしていないことから Twitter の導入を考えております。また Twitter の利用者が20代から30代の利用者が多く、青年会議所の拡大対象に当てはまりますので導入を考えております。TikTok については10代から20代の若年層が多く、ダンス動画がメインでしたが、最近ではビジネス系が急激に増加しておりますので TikTok の導入も考えております。

(意見) 中西 理事候補者

私自身、Twitter、TikTok を使用してお

りませんのでメンバーへ周知していただければと思います。

(質問) 木田 監事

Facebook のメンバーページと LINE のメンバーグループの違いを教えてください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

Facebook の現在の運用につきまして委員会訪問の状況の周知、他 LOM に参加した際の写真や活動情報を共有するのに使用されています。LINE のメンバーグループでは日常や例会、事業の案内に使用されていると考えます。

(質問) 木田 監事

2023年度も同じ運用される認識でよろしいですか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

メンバーページについては2022年度と同じ運用を考えております。

(意見) 木田 監事

Facebook のメンバーページはあまり運用がされていない、「いいね」の数が少ないと思います。議案を上程して総務広報委員会で運営されるということですので報告の際にどのように運営できたのか、できなかったのか、継続する必要があるのか検証をして次年度に繋げていただきたいと思います。内容が多いので苦勞をされると見えますので、必要のないもので変更できるものは変えていただきたいと思います。

(決定) 全会一致をもって承認

9号議案 月報配信の件

(資料訂正) 澤田 総務広報委員長候補者

2ページ目 メール配信対象者内訳

(誤) 43名

(正) 48名

青年会議所関連

(誤) 393名

(正) 398名

3 ページ目 合計配信数

(誤) 449先

(正) 454先

補足説明 澤田 総務広報委員長候補者

2023年度も月報の配信を通じて、対外として彦根青年会議所の運動にかける想いや、活動内容とその意義を定期的に地域の方々や関係諸団体に対して情報を発信し、我々の運動に興味関心を持ち共感していただき、対内として組織内で情報共有をすることにより、メンバーの活動への参画意識を高めるとともに、メンバー間の結束力を高める一助になると考えます。新たな取り組みとしては、紙媒体の月報発行を無くしWEBサイト上に公開し、配信するという変更を行いたいと考えております。

(質問) 中西 理事候補者

青年会議所関連の方へメール配信されることは効率的で素晴らしいことだと感じましたが行政、関係諸団体等へは紙媒体ではないので見られる方が限定されると思いますが委員会で話し合いはされましたでしょうか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

紙媒体を廃止しますので回覧されていた場合は見る機会が減少すると考えられますがそれ以上にWEBにテキストベースで公開することによって検索にヒットしやすくなります。SNSで配信しより多くの方々に見られる機会が増加し、減少する部分もございますがそれ以上に増加すると考えます。SNS広告も活用し見られる工夫を考えておりますのでより多くの方へ見てもらうことができると委員会では考えております。

(意見) 中西 理事候補者

今日まで目に触れていた方が見られなくなりますので各団体へ意見を聞く機会がございましたらどのようにす

ればより多くの方々へ見ていただけるかの聞き取り調査をお願いします。

(質問) 青木 理事候補者

現状のメール登録されている人数を教えてください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

特別会員324名の内、紙媒体が109名、メール切り替えを依頼した中で10数名しかメール切り替えができておりません。

(意見) 青木 理事候補者

多くの方がなかなかメール配信への切り替えをしていただけないと思いますので、定期的にメールへの切り替えを促さなければメール配信の数が多くなりません。委員長のご尽力を期待しております。

(質問) 園 理事候補者

特別会員の方でメールアドレスを持っていない、紙媒体を希望される方への対応をお聞かせください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

基本的には切り替えをお願いしておりますが、紙媒体をご所望される方へは一時的にFAXを利用しておくらせていただきたいと思いますと考えております。

(質問) 園 理事候補者

FAXをお持ちでない方へはどのように対応されますか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

FAXもメールもお持ちでない場合は想定できておりませんがしっかり話させていただきたいと思います。特別会員の内約100名が切り替えを出来ておりませんので不測の事態が生じた場合は対話をもって対応したいと考えます。

(意見) 園 理事候補者

紙媒体を強く希望された場合を想定して20名程の送

料を予算に計上しておくなどの検討をお願いします。

(質問) 青木 理事候補者

月報のWEB化ですがWordで作成したものをPDF化したものという認識でよろしいですか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

参考資料4、5、6のようにトップページに月報のハイパーリンクを貼り付けし閲覧していただけるものを考えております。今日までの月報は紙面のような形をPDF化し、PDFを見ていただく形でしたが検索にヒットし難い点がございます。記事自体を参考資料-6のようにサムネイルの中に目次を作成し、目次の下に記事と写真を並べ目次をクリックすると目的のページを見られ、スクロールでも見られるような記事を考えております。

(意見) 青木 理事候補者

月報をWEB化する利点は多くあると思いますし、私自身、紙面では見づらさを感じることもございました。WEBであれば画像や動画を掲載しやすいと思いますので見る人が興味を引かれるような月報を期待したいと思います。

(質問) 北村 理事候補者

紙媒体の廃止について、特別会員の方、楽しみにされている方がおられますので気を付けていただきたい。特別会員の方へメール配信のご案内をして廃止すれば2024年度以降紙媒体で配信することができなくなると考えます。2023年度の報告において検証し2024年度に引き継ぐことが重要だと思いますが検証はどのように考えられておられるのかお聞かせください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

紙媒体で月報を配信しておりますがオンラインと違うのが紙媒体の閲覧数を把握し難い点がございます。ネットであればクリック数で把握できます。紙媒体を送らせていただいても捨てられていても不明な点がございます。楽しみにされている方がおられましたら2022年度送らせていただいているものでは、2023年度の月報から

紙媒体を廃止しメール配信へと変更することを送り続け2023年度の新年交流会でも配布を考えておりますが、心の底から楽しみにされている方であれば意見をいただくと考えます。現状そのような意見がございませんので楽しみにされている方がおられないのではないかと考えます。

(意見) 北村 理事候補者

廃止することに対して反対の意思を持っているわけではございませんのでしっかりと検証していただき紙媒体を希望されている方への対応も検証していただき2024年度に引き継いでいただき、より良くなれば良いと思います。廃止する以上、簡単には紙媒体へ変更できないと考えますので覚悟をもって取り組んでいただければと思います。

(質問) 園 理事候補者

月報は例会時や6日に発送してきたと思いますが1日にされている理由をお聞かせください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

例会時に配布することを目的として6日にされてきたと考えられますが、今後1日にWEBにて配信することで少しでも早く配信すること、1日はキリがいいことから1日に配信することを考えております。

(質問) 園 理事候補者

私たちの例会は6日です。1日は月の初めですが6日に月報を例会で受け取ることを楽しみにしているメンバーがおられるかもしれません。6日に例会が定められていますので6日もキリがいいのではないかと考えますがどのように考えられますかお聞かせください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

配信という意味でLINEのメンバーグループで配信が可能となっております。今日までは例会が開催されるので6日になっておりましたが、委員会で1日だとキリがいいという意見があり一般の方々にとっては6日である必要がないので1日に配信を考えております。

(質問) 園 理事候補者

1日に配信するのであれば例会に関する案内をメンバー向けに掲載してもよいと感じます。メンバーに対して例会内容を掲載することで出席を促す一助になると考えますが委員長はどのように考えられておられるのかお聞かせください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

1月号のみ1月上旬の配信となりますが1月以降は1日で考えております。2月例会の案内は2月1日に配信を考えております。

(意見) 園 理事候補者

各委員会が設営される事業の内容等を委員長と話し合い全メンバーに参加を促す意味が1日に配信することに意味があると認識しましたのでご尽力を願います。

(決定) 全会一致をもって承認

(延長動議) 夏原専務理事候補者

定刻の24時となりましたが12号議案審議終了までの延長をお願いいたします。

10号議案 1月度(新年交流)例会

～初志貫徹！新たな時代の魁に！～開催の件の件

(資料訂正) 大野 副理事長候補者

5番 事業計画 概要 推進方法 ①実施日時

誤) 1月6日13時00分～21時30分

正) 1月6日13時00分～21時28分

5番 事業計画 概要 推進方法 ⑤参加者動員計画

誤) 仮入会会員 10名

正) 仮入会会員 15名

誤) 特別会員 44名

正) 特別会員 39名

補足説明 大野 副理事長候補者

2023年度の新年交流例会では会食ありでの例会となります。感染対策として、机の上にアクリルボードを設置し、飛散防止対策を行います。また、オープニングゲストとして彦根を中心に県内で多くの機会に活躍されておられる滋賀県立大学吹奏楽部の方に演奏していただきます。そして、リハーサルを前日から行いメンバーの役割の精度と質を高めるための時間を確保することで、来賓・特別会員の皆様へよりおもてなしをする一助になると考えます。ご審議の程、よろしくお願いいたします。

(質問) 北村 理事候補者

事業の目的、対外のところで「2023年度彦根青年会議所創立70周年を迎える大切な年となります」と書かれていますがこの例会の中で、70周年というのを知らない方もおられると思いますので、70周年をPRする絶好の機会だと思います。70周年をPRする工夫というのが会場の吊り看板に70周年のロゴを掲示すると書かれていますが、その他にPRに活かせる部分というのは何かありますか。

(応答) 大野 副理事長候補者

委員会紹介の所信表明の組織発表の中でも十分に70周年についてPR出来るように考えています

(質問) 北村 理事候補者

それは例年通りです。70周年を迎える年の新年交流例会での工夫ではないと思います。ここにもう一つ工夫があっても良いと思います。60周年の新年交流例会では最後の最後に全員が登壇して、その中で5分間PRする時間を作っておられました。それだけで印象が全然違うと思います。そのような工夫があっても良いと思うのですがどうでしょうか。

(応答) 大野 副理事長候補者

この所信表明や理事長挨拶の時でも十分70周年についてはPR出来るかと思い、このようにして上程させていただいております。

(質問) 北村 理事候補者

それはもちろんのことです。理事長も熱い想いを話されると思います。しかしそれは例年通りですので内容が薄いです。絶好の機会ですので、何かないのでしょうか。

(応答) 大野 副理事長候補者

所信表明の時に70周年実行特別委員長が気合の入ったお話をさせていただいて最大限にPRしたいと考えております。また、吊り看板のロゴマークについても、吊り看板自体が大きなサイズでロゴマークも比較的大きいサイズで設置できるので十分にPR出来るのではないかと考えております。

(質問) 北村 理事候補者

ロゴマークを見た時点で70なんだというのは分かります。しかしPRやアピールではないと思います。何か他にも工夫できる部分があると思います。60周年の時も全員で登壇して5分間PRするものがありました。60周年の事業計画書をみられましたか。その結果それをしなかった理由というのは何かありますか。

(応答) 大野 副理事長候補者

2013年の事業計画は拝見させていただいたのですが、その時は特別委員会のPRは無かったと思います。各委員会からの所信表明があったのちに、最後に60周年の全メンバーでのPRがあったと思います。今回は70周年実行特別委員会の委員長としてPRをしていただいてあくまでも70周年実行特別委員会委員長というのは常設委員会とはかけ離れているうえ、全メンバー対象でもありますので、そこで充分PR出来るのではないのかと考えます。

(質問) 北村 理事候補者

この例会の中で一番力を入れている部分はどこですか？

(応答) 大野 副理事長候補者

第一位として理事長挨拶がございます。その他にも

所信表明等非常に大事な部分はたくさんありますので、これだけは大事というものは無いのですが、一番は理事長挨拶です。

(質問) 北村 理事候補者

それは例年通りの形なのですよ。2023年度は特別な年です、力を入れるべきですよ。そう思いながら答弁されていると思います。その割に工夫が少ないと思います。前面に70周年をアピールして行って良いと思います。60周年の計画書を見たのであれば、この例会でもやはり全員で登壇する形というのはあった方が良いと思います。どうでしょうか。

(応答) 大野 副理事長候補者

組織表明の順番ですが、今現在では最後が新入会紹介となっています。その順番を変えさせていただいて、70周年実行特別委員会を最終に持ってくる形にして、そして70周年実行特別委員長を主として全メンバーで所信表明をする流れでPRしたいと考えております。

(意見) 北村 理事候補者

順番は関係なくて、70周年を前面にアピールする工夫をすることで、効果が絶対に出てくるはずですよ。順番を最後に持ってくるのであれば、最後に持ってくる工夫に対して効果というものが絶対に出てくると思います。その辺りを一度考えて下さい。

(質問) 園 理事候補者

前日準備がないのはなぜですか。

(応答) 大野 副理事長候補者

当日13時から早めに集まっていたいただいて、準備することを考えています。

(質問) 園 理事候補者

アジェンダを見ると13時からリハーサルと書かれています。その辺りの記載をしていただかなければいけないと思います。あと、前日の理事会後にリハーサルと書かれているのは分かるのですが、会場が違うのにリハー

サルを行っても、しっかりとしたリハーサルが出来ないと思います。その辺りもしっかりしていただきたいです。この時90分リハーサルしても、会場が違うため装花や演台を移動させる等ができないと思います。その辺りマリアージュ様にお願いできないのかと感じました。それとも一つ、新入会紹介が3分ですが、15人入ったら、一人12秒だけです。何を紹介できますか。

(応答) 大野 副理事長候補者

過去の議案書を参考にさせていただきまして、大体一人当たり15秒程度の挨拶を考えています。それと一つ前のリハーサルの件なのですが、前日のリハーサルでは当日の流れというものもありますが主に所信表明、委員会紹介の時に各委員会、委員長が所信表明述べてから委員会一同が何かアクションをします。その辺りを決めていただいてスムーズに質の高い本番を迎えたいと思いますので、リハーサルを行わせていただきたいと思います。

(意見) 園 理事候補者

新入会員に一人15秒ほど話してもらおうと言っている時点で計算が合わないです。先ほど計算したら12秒でした。例年意気込みなども言っていると思いますので、15秒で話せるとは思えないです。本年度に関しては15人拡大すると理事長が掲げておられるので、30秒でも1分でも良いですが15人分の時間をしっかりと見ておかないといけないと思います。PRの時間も入れるとなると時間も変わってくると思いますので、その辺りももう少ししっかりと見ていただきたいと思います。リハーサルの件では委員長の意気込みや出入りは別会場でも出来ると思うので良いのですが、それ以外の部分をしっかりとっておかないと、本番の動きなどは例年前日に触りだけでも行っていると思います。スクリーンの位置であったり、出し方であったり。当日にしかできないと思うので、このあたりを本当にしっかりとっておかないと失敗しては失礼にあたると思いますので、副理事長として指揮を執っていただいて、皆さん協力してくれると思いますので、失礼のないようにしてください。

(質問) 青木 理事候補者

まず、目的と意義ですが、これが昨年度の1月交流例会の内容とほぼ全文、対内も対外も同じなのですが、どこに副理事長の想いが書かれているのでしょうか。

(応答) 大野 副理事長候補者

ほぼ全文そのままというわけではないかと思っています。ただ、どちらにしても来賓、特別会員、関係各所の皆様に対しての内容等、そういった部分に関しては目的が同じになってくるので、似たような文言が入ってくると思います。全体的に全文同じというわけではないかと思っています。

(質問) 青木 理事候補者

私が今確認したところ、ほぼほぼ全文同じです。私が書いたときはまだコロナウイルス感染症が収束の見通しもなくて、そもそも会食ということはやめようという判断を先にしていました。今と状況が全然違う中で書いた目的と意義でした。それがほぼほぼ全文同じまま、本年度の70周年も絡んでくる状況が違う中で行う新年交流例会の目的と意義が全く一緒だということは、私の中ではあり得ないことだと思います。これが通用するのであれば、すべての議案書が目的と意義を少しいじるだけで通ってしまうものになってしまいます。根本的な部分なのですが、これのどこに副理事長の想いが書かれているのか教えて下さい。

(応答) 大野 副理事長候補者

対内の方に関してなのですが、本年度の例会においてこれから1年間がスタートするぞという意味も込めて運動指針を掲げて一致団結して取り組むというところがあると私は考えています。その中で特別会員や来賓の方には日頃からお世話になっておりますし、これからご協力等をしていただかなければいけない問題でもありますので、感謝の想いも再認識する必要があると考えています。

(質問) 青木 理事候補者

対内の部分も同じですし、70周年がと言われたところというのが、大野副理事長の自分の言葉で全く書かれていないかと感じます。ただ答弁で想いを乗せているだ

けであって、この文章には表れていないと思います。これが本当に通るのかと、これで良いのかと感じます。

(応答) 大野 副理事長候補者

想いは十分に乘せて上程させていただいております。言葉もまるまる単純に一緒というわけではございません。

(質問) 青木 理事候補者

これで一緒と言わないのであれば、なんなのだと思います。2022年度であれば横津直前理事長予定者の「勇猛果敢」という言葉を次年度の言葉に変えられただけというところがあります。メンバーの指揮を高めるところを、結束力を高めるといのように、言い方を変えただけです。これが70周年の1月に行う、会食も久しぶりに再会するといところの想いが何も文章に表れていないのですが、どこに大野副理事長の想いを乗せたのか、説明を下さい。

(応答) 大野 副理事長候補者

目的と意義の体外のところに関してなのですが、来賓や特別会員の方たちとの交流の中からと書いている部分ですが、その交流に関して2022年度行った新年交流例会と本年度の新年交流例会では、交流の部分において会食があることで変わってくると私は考えています。同じ文字であっても意味が違う、想いの部分が違うのではないかと思います。また、別の違う種類の想いになってくると考えています。

(質問) 青木 理事

それについて、想いがあるのは分かります。想いがあるのは議案書を作っているのであるならば皆そうだと思います。その想いを言葉にするという作業を皆苦労しているわけであって想いを乗せるのは誰でも載せていると思います。その同じ交流と言われますが、その想いを文章で見たときに誰に伝わるのかと、言うものを背景等で表すものです。百歩譲ってこれで良いと、「交流」の意味としてこれで良いというのであれば、それを説明する背景があると思います。同じ文章だけれどもただ想いを乗せましたというのであれば、何も書かないはずですが。それは対内においての話です。もっと大事なのは対外だと

思います。対外の方を説明して下さい。

(応答) 大野 副理事長候補者

2023年度は70周年を迎える節目の年でもありません。それによって各種関係団体の協力は絶対的に必要になってくると思っています。その協力体制を継続していくためにはこの新年交流例会で彦根青年会議所の想いといった部分を感じていただいて、会食を通じて更なる交流を深めていただいて、ご支援ご協力をいただく契機にしたいと考えています。

(質問) 青木 理事候補者

1月度交流例会は例年開催している事なので、ある程度言葉の一つ一つや内容というのは似通ってくるのは致し方ないのだとは思いますが。ただ、背景まで同じであったり、書き方全文が同じであったりといところは、大野副理事長が書いたわけではないですし、大野副理事長の思いではないと思います。このようなことを説明することは無駄に思いますが、私が議案書を書いたときというのは、新年交流例会自体をやめてしまっても致し方ないというようなコロナ禍の状況の中でも、何とか行いたいという理事長の想いがあって、新年交流例会を行わないことで関係諸団体との関係性を途切れさせたくないといところがあったので、途切れさせたくないという言葉等を使いました。本年度は70周年なのでまた違うはずですが。途切れさせるわけではもちろんないですが、もっと違う意味が絶対あると思います。これは書き直しませんか。

(応答) 大野 副理事長候補者

今まで築き上げてきた関係性であったり、信頼性であったりといった部分を途切れさせることは絶対にいけないと思います。なおかつ協力体制を構築する必要があるというようにも考えられますし、それを途切れさせて良いといったわけではなくて、周年事業を行うにあたって、必ず協力体制というのは今まで以上に強く必要であると考えています。

(質問) 青木 理事候補者

今ご自身でも言われたように、強くするべきであるというのに、なぜ途切れさせたくないという書き方をされているままなのか、お聞かせください。

(応答) 大野 副理事長候補者

それを途切れさせてしまうと結果的にいけないことだと思います。今現在ある関係諸団体との関係性というのは途切れさせることなく、構築させていかなければならないと考えています。

(質問) 青木 理事候補者

新年交流例会の議案書で背景を書きはじめられたのが、本日も出席されています木田外部監事です。その時の状況でなぜこの例会を行う意味があるのかということに対しての背景を書かれていたと私は感じていました。2021年度は、最初は会食有りで計画を立てられて、途中でなしにされました。私が行った2022年の時は始めから会食はないという状況での背景でした。今大野副理事長が挙げておられる背景というのは今の状況の背景ではないです。これは2022年度の背景であって、2023年度の背景ではないと思います。これが2023年度の背景であるという説明をお願いいたします。

(応答) 大野 副理事長候補者

2023年度は、70周年はもちろんのこと、それ以外にも継続してきた写生大会等もごございます。70年間築き上げてきた関係諸団体との関係をここで途切れさせるわけにはいかないというように考えております。その中で協力体制を構築しなければ、関係諸団体との関係性を途切れさせても良いのかという問題にもなってきます。そこは途切れさせずに構築して行くべきではないのかと思います。周年をより良いものにするためにもそのように考えています。

(質問) 青木 理事候補者

なぜ途切れる前提なのですか。

(応答) 大野 副理事長候補者

新型コロナウイルスの感染が始まって、今現在は減少

傾向ではありますが、減少傾向になったからこそ、その状況の中で途切れてしまう可能性もあります。今までは出来たけれども、これからは出来ないといったことが起こりうる可能性も考えられます。そういった意味も込めて途切れさせるわけにはいかないというように思います。

(質問) 青木 理事候補者

そもそもの考え方がネガティブなのです。昨年度の途切れさせるは、新年交流例会を行いたいけれども、できない可能性の方が高かった。それでも無理をしてでも行いたいと考えた。それでも途切れさせたくないから行いたいという想いがありました。これは明らかにネガティブな状況からの考えでした。本年度は状況が違うのでそもそもの状況が違うのかと思います。議案書を自分の言葉で書いていない。想いを乗せただけだからこのような明らかな回答になる答弁になっていないと思います。書き直して言葉のニュアンスを使用するのであれば大丈夫だとは思いますが。それが積み重ねてきたものを利用することだと思います。ですが丸々同じでは違うと思います。これが通ってしまうと本年度1年間同じような議案書が出てくるのかと感じます。

議長判断により休憩

休憩時間 10分 24:24~24:34

(応答) 大野 副理事長候補者

今回は一旦取り下げさせていただきます。

(意見) 北村 理事候補者

開場のマリアーヂュ様のこのステージでブラスバンドの方が演奏されているのを聞いたことが無いです。参考資料についている写真だと、結構な人数がおられます。このステージでこれだけの方が入られるのかが疑問に思います。すでに打ち合わせと検証は終わられていますか。その時の打ち合わせは何をされましたか。

(応答) 大野 副理事長候補者

人数と演奏曲、どういった内容で行うか等を打ち合わせさせていただきました。配置スペースにつきましては、今現在20名で演奏していただけるということで、場所としては十分可能だと判断して配置をさせていただいております。演奏につきましてはステージではなくて後方で行う予定をしております。今回円卓となりますので、違和感なく後ろを向いていただけるかと思えます。

(意見) 北村 理事候補者

口頭で言っただけだと解るのですが、その資料であるレイアウト図があって初めて、これだけのスペースでこれだけの人数だったら可能だということが分かります。その資料も必要だと思います。

(意見) 園 理事候補者

先程ブラスバンド部の方は20名だと言っておられましたが、予算書には講師食事代、ペットボトルお茶24本と書かれていますが、20人なのですか。

(応答) 大野 副理事長候補者

今現時点では20名というようにお聞きしております。例えば大学生の吹奏楽部の方には一人でも多くということで、お声かけはまだ継続中ということになります。

(意見) 園 理事候補者

参加者動員計画の特別会員44名というところが気になるのですが、70周年という歴史のある中で節目の新年交流例会であるのに44名というのはどういった計算なのかということと、大野副理事長は特別会員の方に何人来ていただきたいのかということが気になったので、教えて下さい。

(応答) 大野 副理事長候補者

来賓の方が63名、正会員と新入会員と外部監事の方にプラスして特別会員の方を入れて150名で計画を行っております。こちらが最大の数字でございますので、人数の関係上特別会員の方の人数はこのような形になっています。先ほど資料訂正をさせていただきましたので、特別会員の方の数は39名で予定しております。

(意見) 園 理事候補者

マリアージュの会場の参考資料には収容人数180名と書かれています。その辺り例えばブラスバンドステージの関係上150名しか入れないといった場合、それ以上の応募があった場合の特別会員の方は断るということですか。

(応答) 大野 副理事長候補者

計画人数以上の参加というのは厳しいので、断らざる負えないと思っています。

(意見) 園 理事候補者

今後彦根青年会議所が80周年、90周年を迎えるの時には、やはり周年というのは見ておきたいと思います。「今はどのようなメンバーがいるのか」と思う人は絶対にいると思います。それを断るというのはどうかと思います。それであるならば、メンバーを全員座らせないで、そこに特別会員の方に座ってもらい、メンバー全員で接待する形でも良いのではないかと思います。そういったことは考えなかったですか。

(応答) 大野 副理事長候補者

その辺りは臨機応変に対応させていただければと考えています。10年前の2013年度の報告書ではメンバーを含めて138名でした。それ以降の年は大体80名から90名くらいとなっておりますので、大体そのくらいで収まるのかと考えています。

(意見) 園 理事候補者

その辺り調べて計画していただいているのであれば、大丈夫なのかと思います。最悪の場合はメンバーが立ってでも特別会員の方に来ていただくという形を取って下さい。

(意見) 青木 理事候補者

関係諸団体で新たに呼ぼうと思われている所はありますか。

(応答) 大野 副理事長候補者

特に考えてはいないです。

(意見) 青木 理事候補者

70周年の周年事業まで対外的な関係諸団体が関わってくるような例会はこれが最初で最後かと思います。写生大会は全く別の目的だとは思いますが。周年に向けての期待を持っていただけるような対外的なPRの場というのは、本当に1月交流例会が肝心要だと思います。北村理事も言っておられたように、そういったPRの場はもちろんだと思いますが、まずは人を呼ぶということも大事だと私は考えます。例年読んでいる関係諸団体だけではなく、別のところも検討されるべきかと思います。

(意見) 北村 理事候補者

工夫と期待される効果の5番目のステージ上にJCIパネルを設置させることによりという文章がありますが、これについて、当日彦根青年会議所の事業だと知らずに来る人はまずいないと思います。この文章に意味があるのであれば教えていただきたいのですが、無いのであれば削除した方が良くと思います。

(質問) 中西 理事候補者

先ほど出席者の事に関して意見が出ていたと思いますが、逆に私が思うのはコロナ禍の前年までの事があるので、来賓の方々もかなり少なくなるのではないかと懸念します。特に会食を伴うとなると特別会員の中にはご高齢のかたもおられると思いますし、昨年の出席の方々を見ていても一昨年は来られていたのに、昨年来られていない方が結構おられました。シニアの方の意見や会食するにあたっての反応は聞かれましたか。

(応答) 大野 副理事長候補者

シニアの方に関しましては、商工会議所のシニアクラブでの会食なども始まっておりますので、できる状態であると思っております。そして70周年を迎えるにあたって、いつまでも会食なしで開催するというよりも、会食ありで元氣よく行いたいと思います。

(意見) 中西 理事候補者

行いたいという想いはメンバーも同じだと思いますが、実際に来ていただけるかどうかというところは別問題になりますので、実際に相談を事前にされても良いように思います。現在人数を最大で計算されていますが、その辺りを相談されても良いように感じました。

(質問) 木田 監事

シニアクラブの代表幹事を来賓で呼ばれている理由を教えてください。

(応答) 大野 副理事長候補者

前年度の引継ぎ事項にも記載がありますが、その中で目録贈呈であったり、挨拶であったりをしていただく中で、大勢の前に立っていただくというところもありますので、そういった際に失礼のないよう到来賓での扱いをさせていただいております。

(意見) 木田 監事

失礼のないよう到来賓として呼ぶということが本当にこの彦根JCSニアクラブの代表幹事、言ってしまうと身内を来賓で呼びし、リボンたれをつけた格好でステージに立っていただくことを、私は恥ずかしいことだと感じます。身内を来賓として呼ぶことを他から見るとそう感じます。その辺りをもう一度検討いただきたいと思っています。

(意見) 青木 理事候補者

工夫と期待される効果のところに会食の事が書かれていますが、会食を再開することというのはすごく大きいことだと思います。なのでここをもっと詳しく聞きたかったのですが、今答弁していただく必要は無いので、もう少しこの部分を詳しく、なぜ本年度会食を再開させるのかということを書いていただきたいと思っています。今書かれている所は例年と同じ工夫と期待される効果だと思いますので、その辺りを書いていただきたいです。

(質問) 宮川 監事

いくつかありますが、まずは6ページの審議資料1の時間配分が書かれていますが、彦根JCシニアクラブ代表幹事の挨拶が10分になっています。主賓の方の挨拶が5分なのになぜここが10分になっているのかということが不思議なのですが、何か意図があるのですか。

(応答) 大野 副理事長候補者

目録を贈呈していただけることもありますので、感謝の意味を込めて過去の議案書の事を参考にしながら、10分とさせていただきます。

(意見) 宮川 監事

もしかしたら10分話すことがあるかもしれませんが、流れからすると少し違和感があります。私としては主賓と同じく5分で統一されて、残った5分を70周年のPRタイムに回せるのではないかと思いますので、そこで調整していただければと思います。

(質問) 宮川 監事

オープニングゲストの演奏の話が北村理事からありましたが、こういった演奏は大体壇上でされると思いますが、会場の後ろでされるのは何か理由があつてのことでしょうか。

(応答) 大野 副理事長候補者

楽器を持ち込んで演奏されるとお伺いしていますので、そのオープニング演奏が終わった後に撤収作業をされることに時間がかかってしまいます。そのまま来賓の方の祝辞等を行いますので、時間の都合上後方で行っていただく流れとなっております。

(質問) 宮川 監事

オープニング演奏が終わった後、続いて開会宣言、点鐘、国歌斉唱というように続いていきます。どちらにしても会場広報でガチャガチャしている中でこれをスタートするのはあり得ないと思います。完全撤収し終わってからのスタートできないと思いますが、撤収には大体どのくらいの時間をイメージされていますか。

(応答) 大野 副理事長候補者

撤収には30分程度かかると聞いておりましたが、ただ、オープニング演奏後すぐに撤収するのではなくて、乾杯の挨拶が終わり、しばらくした会食の時間のあたりで撤収していただく流れで確認は取っております。

(意見) 宮川 監事

その辺りしっかりとご理解していただいている上で言っているのであれば大丈夫かと思いますが、撤収に30分もかかる楽器を持ち込まれるのだろうかと思っておりますので、その辺りしっかりと打ち合わせをしていただいて、撤収にどのくらいの時間がかかるのか確認し、もし5分ほどで楽器を運ぶだけで済む、あるいは楽器を運ぶ際にLOMメンバーが手伝うなりして短縮できるのであれば開始前に完全撤収をしましてからの方がゲストの皆様にとっても迷惑が掛かりませんので、厳かな雰囲気ですっきりとスタートができるのかと思っておりますので、もう一度ご検討いただければと思います。

(質問) 宮川 監事

7ページの審議資料2の来賓案内状リストについて、このあたりがいくつか気になるのですが、特別会員の数が323名になっております。先ほどの月報の議案書では324名と記載をされていましたが、この1名の差というのはどこにあるのでしょうか。

(応答) 大野 副理事長候補者

先ほどの月報の議案書に関しましては名誉会員を含む324名となっております。こちらは名誉会員を除いた323名となっております。

(意見) 宮川 監事

このあたりをしっかりと精査して欲しいと思います。それと同時にここが本質ではなくて2022年度の青木副理事長が上程された議案書では特別会員の数が290名ほどでした。本年度324名になっているということは特別会員が30名ほど増えている計算になります。30人増えるのはおかしいことなので、この数字の信憑性というのが怪しいです。その上で数を精査しないと予算

が全く変わってくるので、しっかりと確認して欲しいと思います。

(質問) 宮川 監事

返信用はがきと礼状はがきの数字の根拠をお聞かせください。

(応答) 大野 副理事長候補者

返信用はがき386枚に関しては来賓の方63名と特別会員の方323名の計算になっております。礼状用はがきにつきましては。

(意見) 宮川 監事

気付かれたようですが、計算が合わないですよ。ということで返信用はがきの計算方法なのですが、単純に来賓と特別会員を足すだけではいけないです。来賓と特別会員の重複者を引かないといけません。例えばですが、赤井先輩には議長の肩書と特別会員の肩書とダブルではがきが行くということになります。ですので、現段階の数字が正しいということであればこの386名から10名を引くというのが正しい数字になります。その辺りしっかりと精査しておかないと余分に予算を出してしまうということになってしまいます。次に上程される時にはしっかりとお願いしたいと思います。ついでに予算の事で言いますと、この議案書は上程冒頭で落ちることが確定しています。それは特別会員の数を減らしたからです。5名減らしたら予算が変わるはずですよ。執行部には気付いて欲しいものです。特に新年交流例会はタイトなスケジュールで進んでいますので、次の再上程の時には、特に予算面のところは取り返しがつかないので十分に精査をした上で再上程をお願いしたいと思います。

(意見) 中西 理事候補者

例年通りだと申し訳ないですが、来賓、特別会員のお見送りに30分とかなり長時間取られています。ここで30分取るのであれば先ほどから意見のある特別委員会のPRなどに使った方が良くと思います。変更可能であれば反映をお願いいたします。

(決定) 取り下げ

11号議案 70周年合同部会開催の件

(補足説明) 澤井 70周年特別委員長候補者

70周年はメンバー全員で取り組みたいと考えていますので、合同部会を開催して情報の共有や部会の進捗状況をそれぞれが意識していただきたいと考えています。またこのように早期に日程を決定することにより、皆様が集まりやすい環境を創りたいと考えています。ご審議の程よろしく願いいたします。

(資料訂正) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

5番 ①実施日時

誤) 2023年2月28日(月)

正) 2023年2月28日(火)

誤) 2023年4月27日(水)

正) 2023年4月27日(木)

誤) 2023年6月27日(水)

正) 2023年6月27日(火)

5番 ⑤参加者動員計画

誤) 43名

正) 48名

誤) 仮入会会員10名

正) 仮入会会員15名

(質問) 園 理事候補者

48名入れるメンバーの事業所はどこですか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

例えば宝源の2階であったり、夏原工業さんであったりを考えています。

(質問) 園 理事候補者

OB会員の事業所等とも書かれていますが、外部協力者なしとなっています。それではできないと思います。

(資料訂正) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

5番 ②実施場所・会場

削除) OB会員事業所

(意見) 園 理事候補者

行動計画も日付が決まっている所は記載して下さい。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長候補者

1月中旬に委員会、2月開催会場の選定及び会場依頼が※1、その下の委員会にて2月合同部会の部会活動報告の調査、確認が※2、その下2月合同部会の開催が※3となっていて、その下3月上旬に2月合同部会について委員会で反省というのが※4となっております。これを合同部会まで都度繰り返すと書かせていただいております。

(意見) 園 理事候補者

それはわかるのですが、実施日時ですでに日付が書かれているのであれば、行動計画に書かない理由はないと思いますが、開催日時を消すか、行動計画に追記するかしないといけないと思います。

(資料訂正) 澤井 70周年実行特別委員長

行動計画 3月上旬の下

追記) 4月27日 4月合同部会の開催

行動計画 4月27日の下

追記) 6月27日 6月合同部会の開催

(決定) 全会一致をもって承認

12号議案 仮入会会員承認の件

(補足説明) 西川 副理事長候補者

2023年度の入会申し込みと致しまして「有田嘉樹」「高橋寛之」「原田圭祐」「藤本夏樹」の4君の承認をお願いいたします。

(報告) 橋本 理事長予定者

去る11月8日に仮入会会員選考委員会を開催いたしました。選考委員長を飛松副理事長にお願いし、選考していただきました。

(報告) 飛松 副理事長候補者

去る11月8日に仮入会会員選考委員会を開催いたしました。議案書に記載していますの4君は会員規則第2章第5条に基づいて資格を有すると報告します。

(開票結果報告) 上田 事務局長候補者

先程両監事に投票用紙をご確認いただいた上、開票いたしました。只今より結果をご報告いたします。出席理事数14名、投票用紙総数14枚、有効投票用紙数14枚、有効投票総数56票、無効票0票、合計56票となります。

(報告) 木田 監事

ただいま投票を確認させていただき、適正に審査されたことをご報告申し上げます。

(決定) 全会一致をもって承認

1. 依頼事項

夏原 専務理事候補者

皆様長丁場の会議お疲れ様でございました。次回理事候補者会議につきましては臨時候補者会議という形で第2回理事候補者会議を開催させていただきたいと思いません。日程については後ほど事務局長より確認をしていただけます。そしてもともと予定していました12月12日の第2回理事候補者会議は第3回理事候補者会議という形でご予定をよろしく願いいたします。

澤田 総務広報委員長候補者

本日は2023年度総務広報委員会の委員会方針の件、2023年度LOMスローガン承認及び掲出物作成の件、公式WEBサイト開設・運営及びSNS運営の件、月報配信の件の4議案に関しましてご審議いただきましてあ

りがとうございました。承認いただきましたので、この1年この活動をしていきたいと考えております。3議案につきましては明日から早速動いていきたいと思っておりますので皆様よろしくお願いいたします。

丸山 組織の輪確立委員長候補者

組織の輪確立委員会の方針をご審議いただきありがとうございます。ありがとうございました。

西村 地域共創委員長候補者

本日は地域共創委員会の委員会方針を審議可決ありがとうございました。

藤井 財政規則特別委員長候補者

財政規則特別の委員会の方針をご承認いただきありがとうございます。ありがとうございました。

大野 副理事長候補者

本日取り下げとなりました新年交流例会ですが、皆様からいただいたご意見を基に次回理事候補者会議にて再上程させていただきますのでよろしくお願いいたします。

澤井 70周年実行特別委員長候補者

私からは委員会方針、ロゴマーク、合同部会の承認をしていただきありがとうございました。合同部会は2月から開催させていただきますが、各部会は本年中に開催したいと考えています。また改めて部会長から連絡があると思っておりますので、何卒ご参加の程よろしくお願いいたします。

西川 副理事長候補者

本日会員拡大～拡大王に俺はなる～、そして仮入会会員の承認ありがとうございました。早速ですが拡大王の議案から、事前説明会が11月12日（土）に19時よりスカイジョーカーで行います。是非とも皆様ご参加していただき、拡大活動をスタートさせていただきたいので、よろしくお願いいたします。

上田 事務局長候補者

臨時理事会については11月18日20時から開催したいと思います。場所は文教スタヂオ様5階で開催させていただきます。

(質問) 木田 監事

上田事務局長から送られてきている会務報告並びに委員会報告の中で委員長の皆様から送られてきている委員会報告についてご質問なのですが、事業計画に会員拡大が記載されているにも関わらず、委員会でそのことについて話をされた形跡がないです。委員会では拡大の話をしなければいけないと思いますが、その辺りどのようにご指導されているのか夏原専務理事にお伺いいたします。

(応答) 夏原 専務理事候補者

拡大については各委員会の担いということで委員長達にはお話しています。委員会内で話しているというより、事あるごとに執行部からお願いさせていただいています。今現在のところ具体的に委員会内でどうしていくかというところが揉めていない状況であります。その辺り我々の方でも指導ができていないと思うところがあります。11月12日の土曜日に拡大の事前説明会がありますので、その辺りでも委員長の皆様に自分たちがやるべきことをしっかりと理解していただけたらと思いますので、次回の委員会報告の中にはその文字が見えるのではないかと考えています。

(質問) 園 理事候補者

先ほど18日に臨時理事候補者会議を行うと言っていましたが、その日は2023年度の執行部会がありますが大丈夫なのですか。

1. 監事講評

宮川 監事候補者

皆さん長丁場の理事会大変お疲れ様でございました。まずはご設営いただきました事務局の皆様お疲れ様です。ありがとうございました。第一回理事候補者会議という

ことで2023年度幕開けということになります。それにふさわしい素晴らしい中身のある会議になったのではないかと両監事喜んでます。では各議案について講評させていただきます。1号議案2023年度理事候補者会議及び理事会開催の件について本日14名が出席ということで非常に多くのメンバーで第一回理事候補者会議がスタート出来たことは素晴らしいと思っています。これからも円滑かつ効果的な理事会運営に理事の皆様はご協力いただきたいと切に願っています。委員会が充実し理事会で活発な意見が飛び合い、内容のある協議になることが何より活性化に繋がると思っていますので、今後の理事会も一人でも多くの参加をお願いしたいと思います。共にそれが理事の責務だと思っていますので十分に認識し日程調整をして理事会に臨んでいただければと思います。続きまして2号議案2023年度事業計画（案）承認の件ようやくこれで次年度の執行部と各委員会がスタートに立ったという風に言えると思います。特に、方針作成について新委員長と皆さんは苦勞されたと思います。まずはそれに対し勞いをさせていただきたいと思います。去年この方針に対して理事からいただいた意見の中で色々ご答弁いただいたと思います。それによって方針への理解度や自分の事業計画の課題というのがいくつか見えてきたのではないかなと思います。審議通過したからにはこの事業計画を元に方針を達成するために、この委員会活動を進めていくというなかで自分がやりたいことや自分が達成しなければならないこと、この背骨だけは必ず曲げずに、ぶれずにかつ柔軟な面も持ちながら委員会活動を進めていただきたいと思います。答弁が思うように出来た人出来なかった人、各々反省すべき点はいくつかあるのかと思います。それから、理事の質問が少し優しくなったと思います。全体的に見まして我々両監事が委員長の時と比べましても全体に、相対的にですけども答弁の質は個人的に上がっていると思っています。その様に感じていますので、ぜひ新委員長の皆さんは胸を張って理事会で大きな声で答弁していただければと思います。それと気持ちよく答弁をしていると一つ畏がらなくなって徐々にハードルが上がっていく様な面もありますので、これも経験だと思っていますので委員会が本当にやりたいことをしっかりと見据えて適切な答弁が出来るよ

うに考えながら今後の理事会に臨んでいただきたいと思っています。続きまして、3号議案2023年度職務分掌（案）承認の件ですけども冒頭に大きな変更がありました。職務分掌というのは各々の部署の担いを明確にする非常に大切なものではありますが、誤解を恐れずに発言すると職務分掌というのは意外と疎かにされがちだと思っています。執行部の上程議案ということもありますので事前にもう少し丁寧に協議をしていただきたかったと思うのと、一点気になる事は、来年の第一回候補者会議に我々はいないので、敢えていうのですがあくまでも職務分掌というのは現行の運動指針を元に構成されているものです。来年の2024年の第一回候補者会議の時には内容を大きく変えなければならないということをして来年残られる方、特に執行部になりそうな方は覚えておいていただきたいと思っています。続きまして、4号議案2023年度収支予算書（案）承認の件ですけども毎年度担当される専務理事が非常に頭を悩ますことが予算であり、更に70周年ということもあり通常にはない収入があって、通常にはない支出があると非常に組むのに苦勞されたと思っています。拡大の目標数も多いとゆうことありますし特に今年度は収支予算を運用していくのは難しいのではないかと考えています、しかしながら、収支相償がぎりぎりであったりだとか、公益事業比率の53パーセントであったりは滋賀県総務部、総務課から言われると危険水域です。もう少し上げておかないといけないのかなとも感じています。これを遵守していくのが公益社団法人として守らなければならない法令として定められているものですので慎重に運用をしていただきたいと思っています。修正補正が後々ありますので逐一細かくどれくらいの収入があってどれくらいの支出が出ているのか収支バランスを見ながら運用していただきたいと思っています。続きまして、5号議案2023年度LOMスローガン承認及び掲出物作製の件ですけども、今回LOMスローガン公募採択とゆうことですが結果的には橋本理事長にピッタリな素晴らしいLOMスローガンになったかなと思っています。メンバーがLOMスローガンを大切にするとゆうのも重要ですが、既出物を作るということは対外的な目的も十分にあるということを確認しておりますので、ぜひあらゆる会員大会の場でLOMスロー

ガンを掲げられる姿を披露することを大いに期待しております。続きまして、6号議案会員拡大～拡大王に俺はなる！！～開催の件ですが、拡大は結果がすべてという面があります。目標は達成出来たか、次年度は15名目標という目標がありますが、例えば単純に目標は「達成出来たな」「素晴らしいな」という話になりますが、本議案に関しましては本当に大事なのは全員拡大が本当に出来ているのか、というプロセスが重要になってくるのではないかと思います。メンバー全員で会員拡大を意識して取り組むことが出来る意識改革や仕組みを変えることが、もし出来れば2023年度以降の会員拡大にも十分に関わってくる可能性があると思いますので、メンバーが自発的に取り組める様に設えを今後も考えていただいて執行部の皆様には進めていただければと思います。7号議案創立70周年ロゴマーク承認の件ですがせっかく作ったものですので色々な場面で使っていかないともったいないというのは木田監事の意見にもあった通りです。隙あらばロゴマークがどこかに飾ってあると思うような状態を澤井委員長はぜひ作って欲しいと思います。答弁で色々な所でロゴマークを使って貰えるとありましたが、ロゴマークを使うのは澤井委員長からのアプローチがないと使われなと思いますので、そこだけは十分に意識していただいて積極的に使うという意識もして、全員で進めてほしいと思います。続きまして8号議案彦根青年会議所公式WEBサイト開設・運営及びSNS運営の件です。日本でメジャーになっているSNSをほぼ網羅する感じの議案になりました。委員長が広報にかける思いが十分に伝わってくる内容だと思っています。ですが、理事会の意見にもありましたが一つ危惧しているのは多くのツールを運用出来るのだろうか適切に出来るのだろうか、円滑に出来るのだろうか、といったところを少し気になっているところです。中途半端になるとSNSというのは逆効果になりえると思います。多分、委員長が一人で回していけるような内容ではないのかなと思いますので、委員会全体でWEB・SNSの運用をどの様に効率的に行っていけるのか、効果的に行っていけるのかということ委員会内で十分に検討していただいて、特に総務広報委員会の理事の方には委員会全体で積極的に広報活動を盛り上げていけるようにサポートして

いただきたいと思っております。9号議案月報配信の件について、いよいよ紙媒体を辞めてWEBに切り替えるということで、これは70周年に相応しい英断と言って良いのではないかなと思っております。これまでの月報というのはメンバー間の情報共有であったり、OBの皆様、関係諸団体の皆様への情報発信であったりというのがメインとなっていたように私は認識しています。その紙媒体を辞めて完全にWEBに切り替わるということはこの月報の対象といえるのは比較的地域市民に寄って行く。より対外的な意味合いが強くなっていくのではないのかなという風に思います。私はそれで良いという風に思っています。OBの方々を批判しているわけではありませんがより地域市民に向けた発信という工夫に切り替えて月報を運用していくのは良いと思っている一方で、これまでと同じような内容で市民に伝わるのかということも少し思うところがあります。月報の記事内容を見てみるとそれ程例年と変わらないようなイメージを私は持っていましたので、何より地域市民にしっかりと興味を持ってもらえるような、記事の作成をお願いしたいと思います。あと、どうしても紙を要望される方への対応ですけれども、万が一その様なこともあるかもしれないと思いますので、その時は別議案を上げて予算を立ててと、ということも可能性があると思いますので、そのあたりはその様なことがあれば執行部の皆さんで協議をしていただきたいと思います。10号議案は1月度（新年交流）例会～初志貫徹！新たな時代の魁に！～開催の件についてです。残念ながら取り下げとなりました。2018年でしたか江頭先輩が取り下げになったのを非常に強く思い起こすような懐かしい流れになったと思っております。執行部の上程議案なので厳しく見られるのは当然の流れであります。新任委員長のお手本となる様に次回再上程の時には質問も意見も出ない、理事を黙らせるような素晴らしい出来になっていることを期待したいという様に思っております。11号議案70周年合同部会開催の件です。合同部会を開催するのは良いのですが、いざ蓋を開けてみたら今日は何をすとかですね。議案作成や資料作成に黙々と作業をしているという姿を過去の合同部会で何度も見てきました。意外と合同部会を開催したからといって中身が無いというのは良くありがち

で、合同です意味あるのかと思ってしまうようなことも度々ありました。何故合同部会でメンバーが一度に会しているのかという意味をしっかりと考えていただいて、効果的な出題をぜひ期待をしたいと思います。せっかくなのでしっかり機運の高まる出題を澤井委員長にはお願いしたいと思います。続きまして12号議案仮入会会員についてですが、いきなり4名ということで執行部の素晴らしい拡大に向けてのスタートが切れたと思っております。晴れて4名が正会員になられるまでしっかりとフォローをしてほしいと思います。木田監事のFacebookの投稿を見ていると、仮入会会員1名を監事が上げたということもあり70周年に対する期待というものに非常に感じております。何か期待をして青年会議所の門を叩いていただいていると思いますので、新しい4名の期待を裏切らないように我々がしっかりと活動・運動・背中で見せないといけないと思っていますので、入れて終わりではなくそこから育てることを含め拡大としますので、しっかりと万全なフォロー体制をお願いしたいと思います。いよいよ70周年の幕開けです。理事会構成メンバーの皆様含め、メンバー全員が悔いのない1年を過ごせる様に妥協なく活動・運動に邁進していただきたいと思うのと、特に理事構成メンバーの皆さんが来年の12月31日やり切った笑顔で、その様な12月31日を迎えられることをご祈念申し上げまして簡単ではございますが監事講評とさせていただきます。本日は大変お疲れ様でした。

1. 閉会宣言・点鐘

事務局長候補者 上田 一八 君

理事長予定者 橋本 一幾 君

理事長予定者 橋本 一幾



監事 木田 乃輔



監事 宮川 佳典



公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 第2回理事候補者会議議事録

理事長予定者 橋本 一幾



議事録作成人 事務局



日時 2022年 11月18日(金) 20:00 ~ 21:05

場所 文教スタジオ5F

出席状況

出席：○ 遅刻：△ 途中退席：▽ 欠席：×

理事	橋本 一幾	○	大野 勝輝	○	澤井 雄一	○	飛松 龍	○
	西川 隼世	×	夏原 大輝	○	青木 克実	×	北川 凌	○
	北村 忠征	○	園 一生	○	車 宝超	○	中西 雄也	×
	夏原 慶	○	藤井 肇	×	上田 一八	○		
出席理事 以上 11名								
監事	木田 乃輔	○	宮川 佳典	△	出席監事 以上 2名			
直前理事長	横津 優騎	×						
委員長	澤田 晃仁	○	丸山 義樹	○	西村 直人	○		
会計	西村 健太郎	×						
セクレタリー	北川 凌	重	清水 翔太	○	出席非理事 以上 5名			

1. 開会宣言・点鐘 事務局長候補者 上田 一八 君 ・ 理事長予定者 橋本 一幾 君
1. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 地域共創委員会 西村 直人 君
1. 出席調査 事務局長候補者 上田 一八 君
1. 議長選出 定款第47条により、理事長予定者が 飛松 龍 君を指名した。
1. 定足数の確認 理事定数15名、出席理事数11名、定足数10名
定款第48条の規定により本理事会は成立した。
1. オブザーバーの承認 なし
1. 議事録作成人の指名 議事録作成人 事務局
議事録署名人 橋本 一幾 君 木田 乃輔 君 宮川 佳典 君

1. 理事長報告

橋本 理事長候補者

皆様、こんばんは。まずは第二回理事候補者会議に御参加いただきありがとうございます。今日の議案ですが本来であれば委員長の見本となる執行部の議案書のみの再上程という形で誠に申し訳ないと思っております。今後この様なことがないように気を付けたいと思います。それと、もう一つ執行部の西川副理事長が体調不良のため欠席になったことをお詫び申し上げます。申し訳ありません。前回の9日の理事候補者会議から一週間ほど経ちまして執行部で議案書を完璧に直して来たつもりでございます。理事の方が見てどう思われるか分かりませんが、我々の出来る精一杯の形で直してきましたのでまた意見があるようであれば副理事長に言っていただきたいと思えます。それと12日の土曜日ですね。執行部設営の会員拡大の事前説明会に御参加いただきましたメンバーの皆様ありがとうございます。来年15人拡大すると行って現在4名です。あと11名拡大を年内に出来ることなら行いたいというように考えております。この前の拡大の事前説明会でも言った通りですが、メンバーが増えることは非常に良いことですし、メンバーが増えることで組織に勢いが増して青年会議所の運動や活動が地域の方により多く知ってもらえるのではないのかと僕は考えておりますので、出来ることなら年内に11名拡大し、来年の新年交流例会に15名並んでいただく気持ちを持って会員拡大に邁進していただきたいと思えます。あと、いつもなら19時からですが今日は20時からで、議案も1つなので皆様大野副理事長候補者に忌憚のない御意見をお願いしたいと思います。それと、もう一点だけ、2022年は理事長が集まる会が士会という名前で開催されていると思えます。おそらく、北村直前理事長がやっている時も士会だったと思えます。来年高島青年会議所が無くなるということなので、10LOMになるということで以前は名前を士として十と一で11LOMのサムライという意味でしたが、この前第一回目の集まりの時に、名前をどうしようかということで「勇志会」真田十勇士の勇志会という意味で勇ましいに志す会として、勇志会と決まりました。その中で皆様が思われていた公式訪問例会の件についてですが、第二回の勇志会がZOOMでありまして次年度の吉田会長が言っておられたのは、公式訪問例会は例年であれば日本青年会議所の名代として各LOMに運動の方向性を発信しにくる場だということは分っていると、それを発信する手法として意見交換があったというだけであって運動の方向性を各LOMに発信出来るのであれば意見交換する必要がないのではないかと行っておられました。確かにそうだと思います。来年

はそういう風な方向性ではないということだけは言うておられ、時期は5月ぐらいにしたいという希望を言うておられました。それもまた会員会議所で議案を通すという形になるので、5月ぐらいに滋賀ブロック協議会が彦根青年会議所に日本青年会議所の運動の方向性を発信しに来てくれる、ということはおぼぼぼ決まっていますのでお知らせいたします。ということで今日の理事会が皆様にとって有意義な時間になりますことをご祈念申し上げまして挨拶と代えさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

1. 会務報告

夏原 専務理事候補者

皆様、改めましてこんばんは。本日臨時での候補者会議にお集まりいただきありがとうございます。また先程橋本理事長からもありました通り執行部議案の取り下げによる臨時ということで皆様の貴重な時間をいただいて大変申し訳なく思っております。前回の第一回候補者会議の議事録につきましては次回第3回理事候補者会議の資料に添付をさせていただきますと思っております。また会務報告につきましては先日上田事務局長により配信させていただいております。以上です。

1. 副理事長報告

大野 副理事長候補者

副理事長の大野です。本日新年交流例会を上程させていただきますので理事の皆様忌憚のない御意見の程よろしくお願いいたします。

飛松 副理事長候補者

12日の拡大事業に御参加いただきましたメンバーの皆様ありがとうございます。執行部の声掛けも遅かったので出席メンバーは少なかったのですが、拡大意識を上げていかないとなかなか繋がらない。私も理事長からプレッシャーを与えられていまして年内に絶対入れないといけないなど、誰かがするだろうでは拡大は出来ないと思うので、特に拡大をされたことのない方は一人でも拡大をすると見える景色や自分がやった感出てくると思っていますので前向きな意識を持って委員会内で拡大をしていていただきたいと思えます。

1. 資料の確認

上田 事務局長候補者

資料に関しましては本日メールにて配布させていただきます。なお当日配布のため、後ほど資料確認の時間を設け

させていただきます。

○事前資料

配布資料

No. 1 2023年度第2回理事候補者会議のご案内

No. 2 事業計画 1月度（新年交流）例会

～初志貫徹！新たな時代の魁に！～開催

1. 審議事項

1号議案 1月度（新年交流）例会

～初志貫徹！新たな時代の魁に！～開催の件

（補足説明） 大野 副理事候補者

第1回候補者会議の意見と対応

（意見）目的と意義の対外及び対内を検討し再度記載をお願いします。

（対応）目的と意義の対外及び対内について修正し記載しました。

（意見）例年通りではない70周年を最大限にPRできる工夫を取り入れて下さい。

（対応）アジェンダにて70周年実行特別委員会による70周年事業をPRできる場を設けました。

（意見）新入会員紹介の時間が15名に対し3分では足りないのではないのでしょうか。

（対応）1人あたり40秒とし、10分にしました。

（意見）吹奏楽部演奏時の会場レイアウト図を追記してください。

（対応）会場レイアウト図を追加しました。

（意見）計画人数よりも特別会員が多くなった場合は1人でも多くの特別会員を迎え入れるようお願いします。

（対応）計画人数よりも多くの特別会員が来ていただける場合は、臨機応変に対応し1人でも多くの特別会員を迎え入れます。

（意見）例年呼んでいる諸団体以外の方も呼ぶべきではないか？

（対応）他の関係諸団体も検討しましたが、70周年との関わり等を検討した中で、お招きする来賓につきましては変更なしとしました。

（意見）工夫と期待される効果の5つ目の削除をお願いします。

（対応）削除しました。

（意見）前年までのことがあり、会食を伴うと参加人数が減る恐れがあるので、シニアの方などに相談してもいいのではないかと。

（対応）シニアクラブに相談したところ、会食を伴う例会でも問題ないと意見をいただきました。

（意見）シニアクラブの代表幹事を来賓扱いにするのは逆に失礼ではないか。

（対応）シニアクラブ代表幹事につきましては、特別会員としてお招きいたします。

（意見）会食を行う工夫と期待される効果を詳しく書いていただきたい。なぜ会食するのか踏まえた上で記載してください。

（対応）工夫と期待される効果に記載しました。

（意見）シニアクラブ代表幹事の挨拶をしていただく時間について来賓祝辞や縮めの挨拶も5分の為、代表幹事の挨拶も5分にし、その分を70周年のPRタイムにまわすよう検討してください。

（対応）シニアクラブ代表幹事の挨拶を5分にし、その分を新入会員紹介、70周年のPRタイムにまわしました。

（意見）オープニングゲストについて演奏後にかかる撤収時間を再確認し、5分程度で撤収が可能であればメンバーが撤収作業を手伝い、撤収後に開会宣言をしたほうがいいのではないかと。

（対応）オープニングゲストの撤収時間について、メンバーが協力することで、5分程度で可能と返事をいただきましたので、撤収後に開会宣言へと移ります。また、演奏箇所につきましては、ステージで演奏していただきます。

（意見）特別会員数を精査してください。前年度の新年交流例会の時に292名のため、しっかりと数を精査し予算をお願いします

（対応）特別会員数について精査し、324名と記載しました。

（意見）返信用はがきは来賓と特別会員の重複者10名を引かないとダブルで行ってしまいますので精査をお願いします。

（対応）9名引き予算書に記載しました。

（意見）来賓・特別会員のお見送りが30分とあるが、ここで時間を取らず70周年のPRにまわすよう検討をお願いします。

（対応）お見送り時間について、15分としました。

（質問） 上田 理事候補者

審議資料-3でステージ上にJCIパネルがあると思うのですが審議資料-4のところではオープニングゲストの演奏となっております。この時JCIパネルはどこかにしまわれるのでしょうか。

（応答） 大野 副理事候補者

一度横にずらそうと考えております。

(質問) 上田 理事候補者

かなり大きいものですので置く場所や移動手段を検討された方が良いと思うのですが検討はされていますでしょうか。

(応答) 大野 副理事候補者

事前に検討はさせていただきました。二人であれば持ち運びも出来ますので問題ないかと考えております。一応スペースに関しましてはどける予定をしていますが吹奏楽部の方が今現在20名で演奏予定でして、ただ声掛けの方を続けてくださっている状態でして一人でも多くの方ということで人数が増えた場合に少しでも多くのスペースを確保するために一応どける計画をしております。

(意見) 上田 理事候補者

スムーズな設営が出来るように事前の確認などしっかりとさせていただきたいと思います。

(意見) 車 理事候補者

審議資料-5の会場吊り看板の形ですが下の段に70周年のロゴマークが左に印字されているのですが、LOMスローガンには右側に印字されていると思うのでどっちかに合わせる方が良いと思います。

(質問) 北村 理事候補者

特別会員の数ですが324名ですが実際どうやって確認されましたか。

(応答) 大野 副理事候補者

事務局員と一緒に確認させていただきました。

(質問) 北村 理事候補者

前年度が292名に対して324名に増えているということはどういうことなのか説明をお願いします。

(応答) 大野 副理事候補者

前年度292名という数字は前回の新年交流例会の報告書から出てきた数字であり、324名に関しましては特別会員のハンドブックの数字を事務局員の岡田さんと一緒に確認させていただきまして、物故会員を差し引いた数字と物故会員が二名でしてそれを差し引いた数字が324名となっています。

(質問) 北村 理事候補者

了解しました。あと演奏ですが撤収は5分ぐらいで演奏が15分ぐらいですか。

(応答) 大野 副理事候補者

演奏15分撤収5分、一応20分でアジェンダには記載させていただいております。

(意見) 北村 理事候補者

了解です。手伝っていただくメンバーの方にはしっかりリハーサルで声掛けさせていただきたいと思います。一発目の70周年の例会ですのでしっかり良いスタートを切れるようにしっかり準備いただきたいと思います。

(質問) 木田 監事候補者

財特委員長がおられないので予算の根拠の説明をどなたがされるかわからないのですが、特別会員324名の中に来賓は含まれないという認識でよろしかったでしょうか。

(応答) 大野 副理事候補者

返信用ハガキの388枚の根拠数のことでしょうか。

(質問) 木田 監事候補者

最終的にはその質問をしたいのですが特別会員324名と記載されている中に来賓の中に特別会員がおられると思うのです。324名の中に来賓の中に記載されている特別会員9名は含まれているのか含まれていないのかを教えてください。

(応答) 大野 副理事候補者

礼状用ハガキの93枚につきまして 重複者は含まれておりません。

(質問) 木田 監事候補者

まず、324名特別会員がおられます。その認識でよろしかったですか。

(応答) 大野 副理事候補者

はい。それで大丈夫です。

(質問) 木田 監事候補者

324名プラス来賓が64名で返信用ハガキの388名という数字を出しておられると思うのですが来賓の中に9

名特別会員と重複者がおられます。特別会員としてもお招き案内を出す来賓としても案内を出すという認識でよろしかったですか。

(応答) 大野 副理事候補者

そちらで大丈夫です。

(質問) 木田 監事候補者

来賓リストの下に書いてある「特別会員が来賓の中で重複しています」という記載は必要ないのではないですか。何故ここに特別会員の中に来賓の中に特別会員が含まれていますという記載されているのか教えてください。

(応答) 大野 副理事候補者

案内の方は出させていただきますのですが、どちらで来られるかといいますか、そういったことがありますので返信につきまして重複者は減らさせていただいております。

(質問) 木田 監事候補者

返信用ハガキの送付、9名は減らされているというご回答だと思いますが、324名プラス64名388名ですよね。その64名の中に特別会員9名が含まれていますので388名から9名今の答弁でいくと388名から9名引いた数字が返信用ハガキの数字になるのではないのでしょうか。

議長判断により休憩

休憩時間 5分

(応答) 大野 副理事候補者

申し訳ございません。資料訂正の方よろしく申し上げます。

(資料訂正) 大野 副理事候補者

5ページ目 事業計画収支予算書

(誤) 返信用はがき@63×388 枚

(正) 返信用はがき@63×379 枚

5ページ目 事業計画収支予算書

(誤) 礼状用はがき@63×93 枚

(正) 礼状用はがき@63×102 枚

(意見) 車 理事候補者

事業計画の概要・推進方法の1番から2番を飛ばして3番になっているのですが2番の実施場所・会場は何もないので少し見にくいのでもう少し検討していただきたいです。あとリハールと新年交流例会のこのスタートを同じ列にする方がいいと思います。

(資料訂正) 大野 副理事候補者

2ページ目 5. [事業計画の概要・推進方法]

(誤) 文教スタジオ

(正) ② (実施場所・会場) 文教スタジオ

(質問) 車 理事候補者

本年度の工夫と期待される効果の中の「新型コロナウイルス感染症により2年間でできなかった会食」と書いてありますが、一月頃にコロナ感染者が多くなって会食参加者が減ると寂しいと思うのですが来てもらえる様な方法は何か考えられていますか。

(応答) 大野 副理事候補者

会食を伴う例会の方をさせていただきますとゆうことをシニアクラブの方に伝えさせていただきましたら、会食があるからこそ交流が出来るとうゆう意見をいただき参加したいとうゆうに意見をもらいました。

(質問) 車 理事候補者

もう1つあるんですが、YEGの例会では体温表を必ず参加者に書いてもらうルールがありまして、新年交流例会に取り組み考えはありますか。

(応答) 大野 副理事候補者

検温はさせていただきます。

(質問) 車 理事候補者

検温だけですか。

(応答) 大野 副理事候補者

検温とアルコール消毒はさせていただきます。

(決定) 全会一致をもって承認

1. 依頼事項

夏原 専務理事候補者

皆様第二回候補者会議御出席いただき誠にありがとうございました。次回の候補者会議ですが12月7日に第三回候補者会議を19時より文教スタジオにて開催致しますのでご参加の程よろしくお願ひします。

大野 副理事長候補者

本日は1月度新年交流例会ご承認いただきまして誠にありがとうございます。準備の方しっかりとさせて頂きましてよりよい1月度新年交流例会を行いたいと思っておりますので皆さんよろしくお願ひします。

澤田 総務広報委員長候補者

前回の候補者会議の方で承認いただきました月報の配信の件ですがまた1月の月報に対しまして取材の方させて頂いたり、記事の方の原稿を依頼させて頂いたりしたいと思っておりますので皆さんご依頼させていただいた際にはよろしくお願ひいたします。

1. 監事講評

木田 監事候補者

皆さん改めましてこんばんは。第二回理事候補者会議ということで急遽の開催となりましたが皆さん何とか日程の調整をいただき、お集まりいただきましてありがとうございました。またご設営いただきました上田事務局長はじめ委員長、事務局の皆さんお疲れ様でございました。監事講評ということですので今回理事会一つの議案だけございます。大野副理事長のために集まっているものだという認識をもう少し強く持っていたきたかったと思います。理事の皆さんはお優しい方ばかりですので、そこまで前回みたいにきつい意見はありませんでしたけども今回の議案を見ますとやっぱり体裁が整っていないように思います。色々と予算の面でご意見させていただきましたが、過去の議案をしっかり見て過去の議案がどういう風に組み立てられているのか予算がどういう風に計上しているのかというところまで紐といて見るとすごく解ると思います。それを大野副理事長今回出来ていなかったのかなと思います。計画は通りましたからしっかりと準備をしていただいて新年交流例会、橋本予定者の晴れ舞台でございます。理事長の仕事というのはこの新年交流例会を終えますと色んな会に顔を出すぐらいでしかありません。ここで橋本理事長予定者の一年が決まるといっても過言ではありませんのでしっかりとした準備を大野副理事長だけではなくて執行部の皆さんしっかりと入念に

行っていただきたいと思っておりますので宜しくお願ひ致します。今回大野副理事長のみの上程でしたけども委員長の皆さんはしっかりと理事会の質問、答弁を聞くべきだと思います。大野副理事長が一生懸命答弁されている時にどの様な態度で聞いているのかとすごく気になって拝見しておりました。多くは言いませんけどもそういうところもしっかりとし、自分が上程している時だけ頑張れば良いというわけではございませんのでそのあたり次の理事会から、しっかりと臨むということを委員長の皆さんもしていただきたいと思ひます。冒頭の理事長挨拶で橋本理事長は謝っておられました。やっぱり理事長が謝るということは一番させてはいけないことだと思います。そのあたりしっかりと肝に銘じていただいて、まだまだ2023年度も始まったばかりでございます。挽回するチャンスはいくらでもございますので2023年度の執行がしっかりと背中を見せていただくようお願いしたいと思います。大野副理事長頑張ってください。結びになります新型コロナウイルスがまた第8波が来ているというふうに騒がれています。1月の中頃から末にかけてまたピークが来るのではないのかなというようなお話がありますので、今回新年交流例会3年振りに会食を伴って盛大な新年交流例会になると思っておりますが、その裏で感染者が出たとかそういう不幸な話にならないようにしっかりと感染対策を行っていただくとともに不要不急な外出は極力控えていただいて2023年度新年交流例会を迎えていただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。簡単ではございますが監事講評とさせていただきます。本日はお疲れ様でした。

1. 閉会宣言・点鐘

事務局長候補者 上田 一八 君

理事長予定者 橋本 一幾 君

理事長予定者 橋本 一幾



監 事 木田 乃輔



監 事 宮川 佳典



公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 第3回理事候補者会議議事録

理事長予定者 橋本 一幾



議事録作成人 事務局



日時 2022年 12月 7日(水) 19:00 ~ 22:00

場所 文教スタジオ5F

出席状況

出席：○ 遅刻：△ 途中退席：▽ 欠席：×

理事	橋本 一幾	○	大野 勝輝	○	澤井 雄一	○	飛松 龍	○
	西川 隼世	○	夏原 大輝	○	青木 克実	△	北川 凌	△
	北村 忠征	○	園 一生	○	車 宝超	○	中西 雄也	○
	夏原 慶	△	藤井 肇	×	上田 一八	○		
	出席理事 以上 14名							
監事	木田 乃輔	○	宮川 佳典	△			出席監事 以上 2名	
直前理事長	横津 優騎	○						
委員長	澤田 晃仁	○	丸山 義樹	○	西村 直人	○		
会計	西村 健太郎	×						
セクレタリー	北川 凌	重	清水 翔太	×			出席非理事 以上 5名	

1. 開会宣言・点鐘 事務局長候補者 上田 一八 君 ・ 理事長予定者 橋本 一幾 君
1. J C宣言文朗読並びに綱領唱和 総務広報委員会 澤田 晃仁 君
1. 出席調査 事務局長候補者 上田 一八 君
1. 議長選出 定款第47条により、理事長予定者が 西川 隼世 君を指名した。
1. 定足数の確認 理事定数15名、出席理事数12名、定足数10名
定款第48条の規定により本理事会は成立した。
1. オブザーバーの承認 なし
1. 議事録作成人の指名 議事録作成人 事務局
議事録署名人 橋本 一幾 君 木田 乃輔 君 宮川 佳典 君

1. 理事長報告

橋本 理事長候補者

皆様こんばんは。まずは第三回理事候補者会議に御参加いただきまして誠にありがとうございます。昨日に引き続き12月例会の後ですが皆様集まっていたいただきありがとうございます。奇跡の後に実績があってそれは努力によるものだと先日も話しましたが、今日一つ話しておきたいことがあります。今週月曜日に会社の朝礼がありまして、コロナの都合でしばらくやっていなかったのですが一年の締めくくりの12月ということでやろうとなりました。グループ全員が集まって朝礼をしたのですが、その中で橋本健一代表が喋っていたのが、今会社では工程会議等のすべての会議をZOOM会議で行っているという話をしておられました。近江建設ではその様な月に一回の会議はコロナ禍なので省略しているのですが、橋本建設におきましてはそのような会議をしないと現場の各々の工程がわからないということで、それをZOOMに変えたという話をしておられました。便利な世の中なのでZOOMに変えることで良いこともあります。デメリットも発生します。デメリットとして喋っておられましたのが、コミュニケーションが出来ないことです。便利な時代ですので、ZOOMを使うことは良いことなのですが、WEBにすると従業員間のコミュニケーションがなかなか取れなくなってくるということを言っておられました。夏頃に一度BBQをしましたがそれ以降何もなく冬になり、今年橋本建設に入った5人の新入社員が5人共、夏のBBQから会う機会が何も無い、会社の上司やその他の方々とコミュニケーションを取る機会がないと喋っておられました。青年会議所にしても最近では対面で理事会や例会が出来ていますし、一時コロナの都合でZOOMに変えてやっていたということもありましたが、対面の理事会では密にコミュニケーションが取れると思いますし、各それぞれがコミュニケーションを取ることでメンバーの絆を深める一歩になると考えられます。そこがないと青年会議所の組織は成り立たないだろうと聞きながら思っています。7月の70周年に向けて皆でコミュニケーションを取って、やっぱり「あーでもないこうでもない」という時間が一番大事なのではないかと、それをないがしろにすると言いたいことも思っていることも正直なことを言えなくなってくると思うので、そこだけは「無駄な時間」ではなくそれは「一番大事な時間だと僕は思います。例えば委員会の時でも雑談しているようでそれがコミュニケーションに繋がっているという風に解釈してほしいと感じました。あと、先々週の日曜日にリレードに僕と夏原専務理事と直前理事長と西川副理事長と青木出向委員長とリレードに行きました。その時に監査の山本

孝弘さんが監査講評で喋っておられることがすごく良いことをおっしゃられていましたのでかみ砕いて話します。山本監査は青年会議所以上の団体は無いと総評で言っておられました。話を聞いてみたら、今年卒業でロータリークラブに在籍しながら滋賀ブロック協議会の監査、LOMも行っているという忙しい日々を送っておられるみたいです。しかし「青年会議所に勝るものはない」ということを言っておられました。青年会議所は年会費13万円前後が相場みたいなのですが、それを割り戻すと月に1万円ぐらいでこれだけの学びを得られるというのは凄いことだと言っておられました。委員長の3名におかれましては今日も上程が1議案ずつあると思いますし、たぶん今相当緊張していると思います。ただその緊張を1万円を買っていると思えば、とても勉強になるので安いです。その緊張に1万円払って緊張感を買うと思って自分の想いを一生懸命伝えていくのが一番大事だと思いますので、厳しい意見も来ますが自分の想いだけは絶対に最後まで諦めずに伝えてください。長々と喋りましたが7時10分ですね。本日の理事会が皆様にとって有意義なお時間になりますことをご祈念申し上げまして、理事長挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

1. 直前理事長挨拶

横津 直前理事長

皆様あらためましてこんばんは。本日も昨日に引き続きお集まりいただきまして誠にありがとうございます。また本日もご設営いただきました上田事務局長を始めとされます事務局メンバー、そして委員長連の皆様ありがとうございます。先程もありました通り第一回、第二回候補者会議に参加出来ておりません。本当に申し訳ございませんでした。何を喋ろうか悩んでいます。やっぱり理事会は委員長が答弁する場ということで委員長に少しだけお話したいことがあります。先程橋本理事長からもありました通り緊張はされていると思いますが、緊張はした方がいいと思います。意見や質問が出るとは思いますが自分が書いた議案書を自分のものにしてください。上手いこと伝えようとすると間違った言葉になる恐れもありますので、自分自身の言葉でいいと思います。自分の想いをしっかりと理事メンバーに伝えていただければと思います。今回初めて事業計画書上げるということで本当に分からないことばかりだと思いますし、どんな意見や質問が来るかも委員長自身わからないと思います。委員会で理事会対策されていると思いますけれども、やはり全然違う意見や質問が来ると思います。そのことをしっかりと今まで議案書を書いて委員会で考えた結果を自分の言

葉で理事構成メンバーにお伝えして、素晴らしい議案書で事業が構築出来るようにしていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。それでは簡単でございますが本日の理事会が皆様にとって実りある有意義な時間になりますことをご祈念申し上げまして直前理事長挨拶に代えさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願致します。

1. 会務報告

夏原 専務理事候補者

皆様改めましてこんばんは。まず、第三回理事候補者会議にお集まりいただき誠にありがとうございます。会務報告につきましては本日上田事務局長より配信させていただいております。私の方から二点謝らせていただきたいことがございます。まずは一点目ですが本理事会資料におきまして前々回の第一回候補者会議の議事録が添付出来ておりません。事務局の方で準備をしていただいていたのですが、再確認や修正する部分が直前に確認され本理事会までに間に合わない結果となりました。大変申し訳ありません。第一回、第二回、そして本日の第三回の候補者会議の議事録につきましては第一回理事会までに全て完成させて確認させていただいたものを上程させていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。もう一件、本日配信させていただいている資料の中に1号議案事業計画 2023年度会員会費徴収の件という資料を配布させていただいておりましたが、本日上程者である西村会計担当が欠席をさせていただいております。代わりに私の方からの上程と考えたのですが、そこは会計担当者ご本人が上げていただくべきであろうということと徴収に関する内容が例年より変更がないことを前提に本日は取り下げさせていただいて第一回理事会の方にまわさせていただきたいと考えております。大変申し訳ございませんが何卒宜しくお願致します。

(出席確認) 上田 事務局長候補者

出席 宮川 佳典 君

出席理事数 12名

1. 副理事長報告

西川 副理事長候補者

本日組織の輪確立委員会より会員研修の議案が上程されます。丸山委員長含め委員会の総出で企画致しましたので是非忌憚なくご意見をよろしくお願いたします。

大野 副理事長候補者

本日地域共創委員会より二月度例会の上程をさせていただきます。上程議案を今現在理事会構成メンバーに資料等配布されていると思うのですが一部資料を追加させていただいておりますのでご確認よろしくお願致します。二月例会西村委員長の想いがこもった議案書になっていますので皆様方の忌憚のない御意見の程よろしくお願致します。

1. 資料の確認

上田 事務局長候補者

資料に関しましては事前にメールにて配信しております。

○事前資料

配布資料

- No. 1 2023年度第3回理事候補者会議のご案内
- No. 2 事業計画 2023年度会員会費徴収
- No. 3 事業計画 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催
- No. 4 事業計画 2月度通常総会開催
- No. 5 事業計画 ハンドブックの作成
- No. 6 事業計画 会員研修～人間力溢れる人財へ～開催

○当日配布資料

- ・No.3 事業計画書 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催 差し替え資料

1. 報告事項

上田 事務局長候補者

先程専務理事からありました通り第一回候補者会議の議事録が本候補者会議の資料に間に合いませんでした。大変申し訳ありませんでした。第一回候補者会議、第二回候補者会議、本日の第三回候補者会議の三つを第一回理事会で必ず添付したいと思っておりますので何卒よろしくお願致します。

1. 審議事項

1号議案 事業計画 2023年度会員会費徴収

(決定) 取り下げ

2号議案 事業計画 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー

～開催の件

(資料訂正) 西村 地域共創委員長候補者

審議資料 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催

1ページ 目次 添付資料

(誤) 6ページ～24ページ

(正) 6ページ～26ページ

審議資料 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催

3ページ . [添付資料の種類]

(追加) 審議資料—3 例会アンケート

審議資料 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催

4ページ 事業計画収支予算書

無駄な文字の削除

審議資料 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催

配布資料 1ページ

(誤) 審議資料—1

(正) 審議資料—3

審議資料 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催

1ページ 事業計画書

(誤) 第3回候補者会議4号議案

(正) 第3回候補者会議2号議案

審議資料 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催

5ページ 行動計画書

(誤) 11月18日、11月30日

(正) 11月21日、11月28日

(出席確認) 上田 事務局長候補者

出席 北川 凌 君 出席理事数 13名

(補足説明) 西村 地域共創委員長候補者

メンバーがツアーを企画し新たな観点から彦根城一帯の城下町など周辺を探索し触れ合いすることで、新たな発見や魅力に触れ、ここにしかない魅力を再認識することでこのまちに誇りを持ち愛郷心を育む一助になると考えます。

(質問) 車 理事候補者

本年度の工夫と期待される効果の中に例会アンケートは書

いてなかったのですが理由は何ですか。

議長判断により休憩

休憩時間 5分 19:37～19:42

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

アンケートは検証材料の一つとして行いますので工夫と期待される効果に記載はさせていただいておりません。

(質問) 車 理事候補者

本年度の工夫と期待される効果の「本例会を開催することにより、メンバーが彦根城一帯を探求しひこねの魅力を体感することでこのまちへの理解と関心を深めるとともに」と書いてありますがひこねは平仮名で書いていると思うのですが平仮名だと2市4町だと思うのですが何故平仮名で書かれているのですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

深い意味はありませんがひこねの魅力というのは2市4町の彦根市の中に入っていますのでその様な記載にさせていただいております。

(意見) 車 理事候補者

写生大会やと思うのですが写生大会の時は、2市4町は平仮名で書いています。2月度例会の計画書と写生大会の計画書を見比べて見たらひこねだけでは2市4町とはわからないと思いますので分けた方がいいかなと思います。

(質問) 夏原 理事候補者

今の車理事の意見に続くのですが、今回彦根城一帯の探求ということですが何故この場所を選ばれたのか教えていただきたいです。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

普段から目にする彦根城だと思いますが、皆さんが深く理解していないかと思ひ、今ある地域資源の魅力を掘り下げようと考えています。彦根城を知っている中で彦根城の周りも知っているのかと普段生活する中で触れ合うことはありますが中身を知っているのかと考えて彦根一帯にしました。

(質問) 夏原 理事候補者

先程、車理事がひこねを平仮名で書くと2市4町になるとおっしゃられていましたが2市4町全体を探求するという選択肢もあったと思います。何故彦根城一帯だけにしたのか教えてくださいたいです。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

彦根城一帯に場所を狭めた理由としましてより濃く深く知っていただきたくために彦根城一帯という場所を選ばせていただき、例会を通して彦根城の魅力などを発信することで周りの地域にも関心や興味を持って貰えると思い、彦根城一帯のエリアに選定させていただきました。

(質問) 上田 理事候補者

目的と意義の一行目のところで「私たちの暮らすまちを活気に満ち溢れた明るい未来へ創出するためには」とあるのですが、これがわかりにくいと感じます。この創出するというのは何を創出するということで使われていますでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

明るい未来を創出するという形でこの言葉を使わせていただいております。

(質問) 上田 理事候補者

「未来へ創出する」という風にかかれているのは間違った書き方だということでしょうか。おそらく「私たちの暮らすまちを」というのが前にきていますので少しおかしいと感じるのかと思います。この文章でいきますと「明るい未来を私たちの暮らすまちへ創出するためには」だと意味が通じるような気がしますがいかがでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

この文章だと意味が通じないということでしょうか。

(質問) 上田 理事候補者

そうですね。「私たちの暮らすまちを」に続いて「創出する」という風になっていますのでまちを創るのかなという風な感じに感じます。そういった意味ではないということでしょうか。

(質問) 上田 理事候補者

今の説明ですと明るい未来を創出するための例会だという認識でよろしかったですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

その認識で大丈夫です。

(質問) 上田 理事候補者

では西村委員長の想う明るい未来というのはどのような未来でしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

地域への関心や誇りを高くまちを想う心を持った市民が暮らすまちだと考えます。

(質問) 上田 理事候補者

まちを想ってまちをより良くしていく市民がいるということでもよろしかったですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

はい。その認識で大丈夫です。

(意見) 上田 理事候補者

理解しました。ありがとうございます。

(質問) 北村 理事候補者

事業の目的と意義で「本例会を通じてメンバーが新たな観点で彦根城一帯のひこねオリジナルを探求し」とありますが、メンバーが新たな観点とゆうのはどういうことですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

新たな観点というよりもメンバーに旅行客目線から彦根城周辺を探索してもらいたいと考え、新たな観点という言葉を使わせていただいております。

(質問) 北村 理事候補者

先程の補足説明で「観光客目線で」という風におっしゃられていましたのでそうだろうと思います。この例会はその目線で参加しないと効果が得られないというか、普段登ったこともない、見たことのある景色ばかりなのですね。ですからそれが重要になってくるのかと思うのですが、先程の補足説明を聞いて今理解しているのですが、この計画書の中で観光客目線という文言というのはどこかにありますか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

すみません。入っておりません。

(質問) 北村 理事候補者

我々はこちらで見て補足説明聞くとそれが大事だというのは分かるのですが例えば来年以降でこの計画書を見たときにその目線で見ることが大事だということは中々ここからは伝わってこないと思います。工夫と期待される効果の様々な視点から魅力を発見する一助になるこの辺だと思うのですが、もう少しシンプルに書いていただいた方が、何が大事なのかというのがわかると思います。あと、観光客目線でツアーを回るのであれば我々が行ったことのないような場所の方が僕は多分観光客目線で見やすいと思います。選定理由がついていないですけど、僕としては全然知らない所に行っている方が効果あるのではないかなと思うのですがいかがでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

観光客目線でも見ていただきたいのですが、知らないとツアーを組めないと考えるのと知っているからこそ推すべきところもあると考えます。皆が知らない所に行くということをそれは旅行かなと僕は思いまして普段から目にする彦根城一帯を観光客の気持ちになってということも考慮して回っていただくことでまた違った見え方があるのかなと考えます。

(質問) 北村 理事候補者

国宝・彦根城の新たな魅力というのはどのようなことですか。我々が知らない魅力というのは何処があると思いますか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

例として護国神社にするとしまして、護国神社は知っていると思うのですが深くは知らないのかなと思ひまして。なので、深堀することによって新たな魅力になるのではないかと考えます。

(質問) 北村 理事候補者

それは当日誰かがここはこの様な歴史があることを、説明されながら回られるということですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

それを調べてきてもらおうと思っております。

(質問) 車 理事候補者

審議資料―2ですが、開会セレモニーで理事長の場所はあるのですが、委員会タイムの時に理事長は参加しないのですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

参加しておりますがまだ席は決まっております。

(質問) 車 理事候補者

参加なのに場所を決めていない、今日は上程日なので書いてなかったら少しややこしいと思います。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

グループに分かれて座るのでグループによって場所が変わります。ですのでまだ理事長の席は設けておりません。

(質問) 車 理事候補者

2月5日の例会ですが、その日の天気がどうなるかまだわかりません。外に出かけますので基本的に例会は中止ではないですが、大雨とかの天気の都合や災害があった場合どうするかは委員会で検討されましたか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

災害に関しては考えていなくて、悪天候時は車なので行動することで行えると考えております。

(質問) 園 理事候補者

この例会を通してメンバーにどうなって欲しいか教えてください。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

誇りと愛郷心を持つきっかけを作って行きたいと考えます。

(質問) 園 理事候補者

誇りと愛郷心を育む例会なのに観光客として違う目線で見てほしい探求する。ということでこの観光客目線で誇りは持てますか。どうやって誇りを持つのか教えてください。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

新たな観点から探求することによって新たな発見や、元々知っている物でも新たな魅力などが再認識出来ると思ひまして、再認識することによって誇りと愛郷心を育むきっかけになるのではないかと考えております。

議長判断により休憩

休憩時間 5分 20:07~20:12

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

委員会タイムの流れとしましてまずは開催趣旨から私たちの住むまちひこねには、シンボルである国宝・彦根城という誇るべき歴史遺産やそこに寄り添って城下町や周辺の地域があり私たちがこのまちに暮らすにあたり数多く触れ合ってきました。市民に更に魅力を知ってもらうために、まずはメンバー自身がツアーを企画し彦根城や城下町など周辺の地域を新たな観点で探索し、より理解と興味を深め、ここにしかない魅力を再認識するとともに、このまちに対してより一層の愛郷心を育むことにより、まちづくりに取り組む意欲を高めていただく契機にしたいと考えております。まず、委員会タイムの流れとしまして彦根城の魅力発信タイムにて彦根城を探求すると一日が終わってしまうと考えまして、私たちから彦根城の魅力をまとめた物を発表したいと考えております。彦根城一帯探索ツアーにおいては3グループに分かれて一日のツアーのテーマを選定し、そのテーマに沿ってツアーを企画してもらいたいと考えております。その中でテーマに沿った行き先を選定していただきたいと思っております。彦根城一帯の探索の中では一日ツアーを企画する中でテーマに沿った場所に行ってもらい探索をして観光客のことも考えて探求していただきたいと考えます。そしてグループまとめて探求した内容をパワーポイントにまとめていただき、プラス課題や問題点をまとめていただき発表していただきたいと考えております。

(質問) 園 理事候補者

委員会タイムの開催趣旨のところに「市民に更に魅力を知ってもらうために」と書いていますがこの例会で市民に魅力を知ってもらうのですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

この例会では市民に知ってもらうことは無いと考えています。

(質問) 園 理事候補者

開催趣旨で「魅力を知ってもらうため」と書いていますのと市民に魅力を知ってもらうのにどうして観光客目線でないと駄目なのか、市民は住んでいるというところで開催趣旨が違ってくるのではないかとと思うのですがどうですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

観光客目線で見ることによって新たな物に見えてくるのではないかと思いいこの様な書き方にしております。

(質問) 園 理事候補者

「市民に更に魅力を」と書いてありますが観光客としてこの例会のツアーを組むということは作成したものを何処かに出すからこうゆうことをすると僕は思っているのですがその辺どういう風に僕らは市民に魅力を伝えたいのかと疑問に思ったのですがどうでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

今回の例会で市民に知ってもらうわけではなく、まず市民に伝えるためには私たちが知らないといけないと考えましてこういう書き方をしております。

(質問) 園 理事候補者

僕らが市民に魅力を伝えるためにこの委員会タイムをして新しい魅力などを伝えるための勉強だと思うのですが、何故あえて市民に伝えたい、愛郷心を持ってもらいたいのであればもっと違うやり方はあったと思うのですが何でツアーじゃないと駄目なのかということをお聞かせください。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

ツアーを企画して観光客のことも考えて見ることにより、違った魅力などが見えてくるのではないかと考えていますのでツアーを企画しております。

(質問) 園 理事候補者

でもこの例会では市民には伝えないですよ。ツアーのこととか。となると観光客目線でなくてもいいのではないのかなと思うところもあります。このツアーを立てて例えば何か資料を作成し市民に配布して市民にこのような魅力がありますよというのであればわかりますが調べるだけ調べて終わりみたいな感じになっていると思います。この例会では伝えません。でも開催趣旨には市民に魅力を知ってもらうためにするのですよと書かれているのですが、ツアーをしたパンフレットみたいなものを作成して配布するのかなと少し思ったのです市民に魅力を知ってもらうために。でもそうじゃないということなのでツアーを作る意味があるのかパンフレットを作る意味があるのかという疑問です。その辺何か想いはありますか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

二月度例会の開催趣旨に書いていますが二月度例会で市民に発信する予定ではなくて、行動計画の十一月にひこねオリジナルを伝播する例会というのがありますのでそこで行う予定をしております。

(質問) 北村 理事候補者

この例会はメンバーがまちづくりに取り組む意欲を高めていただくことが目的の例会ですよね。このツアーを体験していただくことが何故そこに繋がるのかということをもう少し詳しく説明していただいていいですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

ツアーを企画する中でこのまちの周辺地域の問題点や課題をまとめることで少しでも意識を高めるきっかけになればと考えております。

(質問) 北村 理事候補者

今ご答弁いただいたことだけではなかなかまちづくりに取り組む意欲というのは高まらないのではないかなと思うのですが、テーマが書かれていて子連れ4人家族向け、高齢夫婦向け、学生6人グループ向けと書いてありますが僕のイメージですけど観光客の方がこういう方おられますよね。他県から来られている方に思えるのですが、ということはこの先にある具体的には決まっていらないですが十一月例会では何か他県の方を呼び込むような取り組みをされるということでしょうか。

(出席確認) 上田 事務局長候補者

出席 青木 克己 君 出席理事数 14名

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

十一月例会では県外の方たちを多く呼ぶとか具体的なことは決まっております。

(意見) 北村 理事候補者

そうだと思います。おそらく彦根の魅力をもっと探して例えばこの様なツアーを企画するという事は例えば他県から来ていただくように考え、ここに住んでいる人たちにもっと楽しんでもらえるようなツアーとかを計画しそれにメンバーが色々意見し合い、携わっていく。それがまちづくりに取り組む意欲を高められるのかということでのこのツアーというのはその様なイメージを持ち一度我々で計画しやってみることで

それに繋がるのではないかと認識をしました。

(質問) 夏原 理事候補者

参考資料-1のパワーポイントか何かだと思うのですがこれをその時にグループごとに作成するという認識でよろしかったでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

その認識で大丈夫です。

(質問) 夏原 理事候補者

この時間とか場所とかグループごとで変わると思うのですが時間帯的に翌日までというツアーの計画を想定するという事だと思うのですが、宿泊施設というのは実際この例会の日に泊まれないと思うのですがどんな体験をしたとか、おすすめポイントとかそもそもこの宿泊施設に行ったらいいのかわからないのですがいかがでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

彦根城一帯の一覧から出していますのでこちらの一覧から選んでいただけます。実際には泊まらないのですが選んでいただき、体験やおすすめポイントというのはWEBでしか確認出来ない情報になっておりますので、そちらの方はWEBで検索していただいて書いていただきたいと思っております。

(質問) 夏原 理事候補者

WEBから拾える情報で書けるのであれば他の所もWEBで検索することでこの場所でこの様なツアーを作ることは可能だと思うのですがどうでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

行った所に関しましては書いてない情報や新たな発見などを書いていただきたいと考えております。

(意見) 夏原 理事候補者

もちろん実際行った方が色々な体験や発見が出来ると思いますので重要だと思います。宿泊施設に関しましても実際泊まらずとも旅館の方に話を聞くとかも出来ると思いますので、その様な出題でもいいのかと思います。あと、このツアーというのは宿泊ありで考えるのもいいと思うのと、宿泊なしのツアーもあると思いますので、絶対にこの宿泊施設を入れないといけないという決まりにしないでいいのかと思います。その辺当

日説明していただければいいと思いますので、よろしくお願
致します。

(質問) 車 理事候補者

事業の目的と意義対内のことでして、「今回は彦根城一帯の
オリジナルを探索し愛郷心を育み地域活性に対して意欲を高
める」と書いていますが、この様な書き方ですと写生大会の目
的に思えるのですが、今回彦根城一帯だけで愛郷心を育む自身
はありますか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

彦根城一帯の探索を通して彦根城一帯の地域資源の魅力の
再認識することによって、新たな魅力などを見つけてこのまち
がいいまちだと思えると思っております。

(質問) 車 理事候補者

自信があるということですね。後、その日はプロジェクター
を使用すると思うのですが審議資料にスクリーンはあるので
すがプロジェクターは記載されていませんがどこに置くとか
考えていますか。

議長判断により休憩

休憩時間 5分 20:40~20:45

(資料訂正) 西村 地域共創委員長候補者

審議資料 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催

9ページ 会場レイアウト図委員会タイム

(追加) スクリーン反対側の位置にプロジェクターの位置追記

(質問) 青木 理事候補者

事業の目的と意義の所に「青年経済人」と書かれていますが
委員長の想う青年経済人とはどのようなことですか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

青年経済人とは今のJ Cメンバーのことを青年経済人だと
思っております。

(質問) 青木 理事候補者

J Cだけが経済人ではないのかと思うのですが、あえて経済
人と書かれた意図があるのかと思ったのですが別に経済人で
なくてもこの事業は良いのではないのかと思うのですが、何故

あえて経済人と書いたのか聞きたいです。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

意図という意図はないのですが青年経済人というのはメン
バーであるというのは皆さんも分ると思うのと、青年経済人と
書いた目的としてはかっこよく書けたらいいかなと考えまし
た。

(意見) 青木 理事候補者

雰囲気だけであればもっと適切な言葉はあったのかなと思
うのですが、僕の思う経済人というのはやっぱり経済に精通し
ている人かなと思うのですけれども、目的には「新たな魅力や
価値や愛郷心を育みたい」というところで経済とは異なる意味
の目的になってくるのかと思うのです。あえて青年経済人と、
経済ということでお金が絡んでくることだと僕は思いますの
で、その辺りをもう少し深く考えて書いて欲しかったと思いま
す。次からは一つ一つの言葉は意味を持って書いていただきた
いと思います。

(意見) 車 理事候補者

実施場所・会場の件ですが「文教スタジオ」とその下の「旧
城下町エリア」と書いてありますが見る人によってはわからな
いと思いますので、もう少し詳しく書いた方が良くと思います。

(質問) 夏原 理事候補者

工夫と期待される効果の下から二番目の「テーマに沿ったま
ちの課題や問題点に向き合うことにより、解決策を見出す」と
書いてありますが解決策を見出してどうされるのでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

どの様にするとかはありませんが地域の意欲を高めるので
あれば課題や問題点に向き合って解説策を出して、地域活性の
意識を高めることに繋がると考えます。

(質問) 夏原 理事候補者

解決策を見出すことで地域活性の意識を高める。この解決策
に対しては何か具体的に行動するという事は考えておられ
ないということでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

現段階では考えておりません。

(質問) 夏原 理事候補者

せっかく解決策をメンバーで出したのにもったいないなという感じもあるのですが、問題点とかも色々出てくると思いますが。実際青年会議所だけでは解決出来ないということもあると思いますので、まちの市民の方々や色々と思えますが何かしていただきたいと思えます。いかがでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

二月度例会では行動に動かすのは難しいので五月、十一月とありますので、現状断言は出来ませんが五月、十一月にやった結果を出来ることがあればそれに繋げたいと考えております。

(意見) 夏原 理事候補者

一年間活動ありますのでその中で是非二月でやったことを生かしていただきたいと思えます。

(質問) 青木 理事候補者

前年度よりの引継事項に書かれていることがあるのですがこれは何か反映された部分はあるのでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

前年度よりの引継事項としまして言葉だけでなく自身が体験した魅力が伝わるやすい取り組みを厳選していただきたいとゆう引継事項がありましてそれがわかりやすいようにまとめるパワーポイントを作成しました。

(質問) 青木 理事候補者

パワーポイントもわかりやすいと思えますが、僕は動画が良いと思えます。今年度も動画が入っていると凄く面白かったと思えます。でするので動画を入れるのも一つなのかなと思えます。その辺りもう少し工夫出来たかなと思えますし、その二月度例会だからこそというところは探したりしましたか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

2市4町の中でということでもよかったですか。

(質問) 青木 理事候補者

わかりにくい質問ですいません。この時期だからこそ体感出来ない魅力というものがあると思えますので、それを二月度例会にて体験、体感出来るものはなかったのかなと思えます。何かその様な物は探しましたか。

(応答) 西村 地域共創委員長候補者

彦根城一帯に雪が降ればもの凄く景色が良いと思えてまして二月に雪が降ればとかになるとは思えますが、寒い時期だからこそ見られる場合もありますので彦根城一帯と考えました。

(意見) 青木 理事候補者

雪というのは不確定要素がかなり高いものだと思いますのでそこに頼るというよりも二月でなければ出来ないこと、今は思いつきませんが探すべきところだったのかなと思えます。今から探してとは言いませんが当日にはこの時期だからこそ出来るもの、参考例を発表されるということですので、その様なところに付け加えてもいいのかなと思えます。一考いただければと思えます。

(決定) 全会一致をもって承認

3号議案 事業計画 2月度通常総会開催の件

(補足説明) 澤田 総務広報委員長候補者

開催時間を19時30分からとしております。19時開催の場合仕事の都合で間に合わないメンバーがおられるかもしれないので開催時間を30分遅くして開催したいと考えております。ご審議の程宜しく申し上げます。

(質問) 園 理事候補者

前年度よりの引継ぎ事項に「出席率向上を見込み開催時間を30分遅くしたが出席率向上に繋がったといえない」と記載されております。工夫と期待される効果に「全体LINEやFacebookメンバーページ、委員会訪問にて総会が最高意思決定機関であることを周知する」とありますが他に出席率向上へ向けた取り組みはされないのでしょうか。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

工夫としましては記載したことを取り組みます。電話での出欠確認は基本的なことと考えております。工夫として記載しておりますのは知らせること、開催日程を知らないといったことをなくするために工夫として記載しております。委員会メンバーで何度も連絡を重ね直接話をして参加率を高めたいと考えております。

(意見) 園 理事候補者

来年最初の総会なので例年以上にメンバーに出席していた

だけのように取り組んでいただければと思います。

(意見) 中西 理事候補者

審議資料の会場レイアウト図について違和感を覚えるのですが今後も総会の資料を上程されることと思いますので、会場の広さ、席の配置等を確認していただいて資料の作成をお願いします。

(質問) 木田 監事

予備日を設けている理由をお教え下さい。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

定足数に満たない等開催できない可能性を考え予備日を設定しております。何故2月に開催しないといけないのかお教えください。

(応答) 澤田 総務広報委員長候補者

定款に定められているから、内容としまして「本会計の承認」、「前年度の予算の承認」、「本年度の収支予算(案)」の承認がございます。これから活動するにあたり重要なことを審議するので2月に開催するべきと考えております。

(意見) 木田 監事

定款に通常総会は2月、12月に必ず開催しなければならないと記載がありますので予備日を設けていると思います。澤田委員長が仰っていた定足数が足りない、開催ができないといったことがないように、出席率が重要となりますのでしっかり取り組んでいただきたいと思います。

(決定) 全会一致をもって承認

4号議案 ハンドブック作成の件

(補足説明) 上田 事務局長候補者

本年度も例年と同じくバイブルサイズの製本にてハンドブックの作成を行いたいと考えております。本年度は70周年ということもあり、70周年記念ロゴをカラーで記載したいと考えております。予算についてはカラー刷りにより2万円、紙の原価高騰により2万円、例年月報と同封して送付していた分が紙での月報配布をやめたことにより、郵送費の増加が2万円程度の計6万円増加しております。ご審議の程よろしく願いたします。

(質問) 園 理事候補者

ハンドブック裏面にQRコードが記載されておりますが一つのQRコードで全てのサイトに繋がりますか。

(応答) 上田 事務局長候補者

2022年度Instagramのリンクから各サイトに繋がるQRコードを作成しましたのでそちらに切り替えた方が良く考えこのようにさせていただいております。

(質問) 車 理事候補者

審議資料-3ですが情報の部分で具体的に記載した方が良くと思います。

(応答) 上田 事務局長候補者

一年間の間に仕事内容が変更する恐れがあります。ハンドブックは一年間変更できませんので記載をすべきでないと考えております。WEBページであればすぐに変更可能なのでその点は問題ないと考えております。

(質問) 車 理事候補者

審議資料-2公式WEBサイトですがFacebook、Instagram、LINEとあります。恐らくTikTokも活用されておられるはずですがTikTokは記載されないのでしょうか。

(応答) 上田 事務局長候補者

TikTokについては現時点ではまだ開設しておりませんので記載しておりません。公式WEBサイトにリンクを張り付ける予定とお伺いしておりますので、そちらで見ていただければと思います。

(決定) 全会一致をもって承認

5号議案 会員研修～人間力溢れる人財へ～開催の件

(補足説明) 丸山 組織の輪委員長候補者

メンバー一人ひとりが率先して行動するJCとして飛躍を遂げるために自分の意思を言葉にする、自分自身に自信を持つ、自ら前に出る力が必要と考え委員会アジェンダに記載しております通り三部構成にいたしました。ご審議の程宜しく願いたします。

(質問) 中西 理事候補者

目的と意義に「相互研鑽に励むことにより人間力溢れる魅力的な人財へ」と記載されておりますが人間力溢れるとはどのようなことを考えられてますでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

人間力についてですが話すことに人間力という言葉が当て嵌めております。話す力に溢れる、様々な場面において話せることと考えております。

(質問) 中西 理事候補者

話す内容は個人の人間性が出る部分なので話せる力を伸ばすことができれば人間力を高めることができると感じました。「魅力的な人財」と記載されておりますが人材ではなく人財と記載された理由をお教えてください。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

人材の意味として業務遂行能力を持つ人間、指示されたことを遂行する人間、代替えの利く人間という意味があります。人財を記載した理由としまして、組織にとって、J Cにとって宝となる替えの利かない人間という意味で人財という言葉に記載しております。

(質問) 上田 理事候補者

委員長が考えている人間力がある人とはどのような人を指しますか。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

様々な場面で自信をもって自分の意思を明確に伝えられる人と考えております。

(質問) 上田 理事候補者

意思を伝えるということは一方通行という認識でよろしいですか。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

多くの意見を聞き入れ、それに適切な応答ができるということも含めております。

(質問) 上田 理事候補者

その部分について理解しました。人間力という部分で大声タイムは必要無いと感じますが、委員長はどのように考えておら

れますか。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

大声を出すのはあくまで手法であり自信を持つ、想いがあっても自分の意思をしっかりと持てなければ話すことができないと考えております。前に立ち大声を出すことで自分自身に自信を持たせる意味で大声タイムを計画しております。

(意見) 上田 理事候補者

理解しました。是非、自信のある魅力のある人財を育てられるような取り組みにしていきたいと思っております。

(質問) 北川 理事候補者

会員研修ですが正会員向けの設えと考えております。2023年度の2月に開催されるので新入会員への説明や取り組みはどのように考えておられますか。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

会員研修ですがJ Cを知らなくても研修を行うことで今後のJ C活動に活かせるものと考えております。

(意見) 北川 理事候補者

私も入会した頃、彦根青年会議所がどのような会なのか不明点がありましたので会員研修を通して仮入会会員の方が彦根青年会議所活動に邁進できる研修にしていきたいと思っております。

(質問) 中西 理事候補者

三部構成で計画されておりますが意気込みタイムを最後に予定し時間をかける部分と思っておりますが内容は次年度の想いを伝えると記載されております。意気込みタイムについて何か想いがあればお聞かせください。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

第一部で自分の意思を言葉にする。第二部で自分自身に自信を持つ。第三部で挙手性にすることによって第一部で自分の意思、第2部で自信を持つということを実践していただく為に意気込みタイムを取り入れさせていただきます。

(質問) 中西 理事候補者

第一部がディベートタイムということでお題に対して討論することを考えられていると思っております。ディベートは自分の意

思や意見ではなく与えられた意見に対して自分の想いとは無関係の内容を話し合う認識をしており性質が異なるものと感じたのですがこの点についてどのように考えておられますか。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

お題を決め、肯定派、否定派で分かれます。お題に対して自身の考えを相手に言葉で発することによって想いを表現することができると考えております。

(質問) 夏原 理事候補者

2月17日に開催される理由をお答えください。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

17日(金)に開催する理由ですが、会員研修後に懇親会を予定しております。より多くのメンバーに懇親会まで参加していただきたいと考えております。翌日が土曜日で仕事が休みの会社が多いと思いますので17日に開催します。また、2月3日節分、2月10日通常総会、2月4週目第3回理事会が開催されますので17日を選定させていただきました。

(質問) 夏原 理事候補者

多くのメンバーに参加していただくことが会員研修において大事なことだと思います。内容的にも欠席されるメンバーは学びを得られないものと感じますので日付の選定以外にメンバーの出席を促す工夫はございますか。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

服装を私服にております。仕事が長引いてスーツに着替える時間がない等、無駄な時間をなくす為に、ドレスコードは定めず私服での参加を認めております。

(意見) 夏原 理事候補者

基本的なことですがメンバーへの連絡を早期に行うなど様々な工夫がございますので、より多くのメンバーに参加していただく為に尽力していただければと思います。

(質問) 車 理事候補者

当日スクリーンは使用されますか。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

スクリーン使用の予定をしております。

(質問) 車 理事候補者

スクリーンを使用される目的をお教えてください。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

開催趣旨をより詳細に説明するためにパワーポイントをスクリーン投影し使用します。

(質問) 車 理事候補者

理解しました。しかし工夫と期待される効果に記載されておられませんので記載をされない理由をお教えてください。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

スクリーンを使用することに工夫はないと考えております。

(質問) 車 理事候補者

先ほどスクリーンを使用される目的を仰っておられました。そのことが工夫と期待される効果だと感じますが記載されないのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

開催趣旨を伝えるための手段と捉えておりますのでスクリーンを使用することが工夫ではないと考えております。

(質問) 北川 理事候補者

審議資料-3アンケート3番の内容ですと未達成のことを達成できたかを聞く内容ですのでこのように記載された理由をお聞かせください。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

気持ちの部分、大声を出すことができたので次回セレモニーではどの程度大声を出せると感じられたのかをアンケートで答えていただきたいと考えております。

(質問) 北川 理事候補者

想いは理解できます。しかし記載された文言では「できるようになった」、「できるようにならなかった」と答えられない内容です。審議資料は訂正してはいけないという認識を私は持っています。執行部での決まり事を定められているのであればお教えてください。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

文言を聞かれますと正しいのかどうかわかりませんが私は

正しいと思いこの文言を記載しております。

議長判断により休憩

休憩時間 5分 21:39～21:44

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

審議資料 - 3 アンケート設問3の資料訂正をお願いいたします。

(資料訂正) 丸山 組織の輪委員長候補者

9 ページ目 審議資料-3 アンケート設問3

(誤) 大声タイムを行い、今後のセレモニーなどで今以上に声を出すことができるようになりましたか？

(正) 大声タイムを行い、今後のセレモニーなどで今以上に声を出すことができるきっかけとなりましたか？

(質問) 中西 理事候補者

審議資料-2 レイアウト図ですが机がございませんが会場では机を設置せず会員研修を行われるのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

机は使用しません。話すことに焦点を当てております。机は間を遮る障害物と考えておりますし、セレモニー後レイアウト変更に関係がとれますので机は必要ないと考えております。

(質問) 中西 理事候補者

会員研修のアジェンダに若い我ら斉唱とありますがセレモニーを行わない研修にセレモニーを行われる理由をお教えください。

(応答) 丸山 組織の輪委員長候補者

大声タイムなどで声を出す練習をしますので最後に全員で輪になって歌いたいと考えております。

(意見) 中西 理事候補者

そのような意図があれば工夫と期待される効果に記載されても良いと思います。

(決定) 全会一致をもって承認

1. 依頼事項

夏原 専務理事候補者

皆様、長時間ご参加いただき誠にありがとうございました。次回理事会ですが1月5日19時～文教スタヂオにて開催します。2023年度の最初の会議となりますので別途事務局から出欠確認を行います。新年お忙しい中ですが皆様必ずご出席して頂きますようお願い申し上げます。

澤田 総務広報委員長候補者

本日、2月通常総会の審議可決誠にありがとうございます。次年度月報の取材のご依頼をさせていただきますのでご協力よろしくをお願いいたします。総会の出席人数を集めるために早期からご連絡させていただきますので必ずご参加の程宜しくをお願いいたします。

丸山 組織の輪委員長候補者

本日、会員研修～人間力溢れる人財への審議可決誠にありがとうございます。皆様に実りがある会員研修となりますよう委員会メンバー全員で設営させていただきますのでご参加の程宜しくをお願いいたします。

西村 地域共創委員長候補者

2月例会の審議可決誠にありがとうございます。2月5(日)に例会を開催いたしますので皆様ご参加の程宜しくをお願いいたします。

上田 事務局長候補者

本日、ハンドブック作成の件審議可決誠にありがとうございます。早速作成に取り掛かり、2月通常総会にて配布させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

大野 副理事長候補者

新年交流例会のご案内させていただきます。本日出席されている方は全員出席のご返事をいただいております。1月5日の第1回理事会終了後にリハーサルを行いますのでよろしくお願い申し上げます。また、1月6日例会当日は13時から行いますのでそちらも皆様宜しくをお願いいたします。

西川 副理事長候補者

2023年度会員拡大についてですが新年交流例会が1月6日に行われます。そこに人数を揃えたいと考えておりますので年末年始の忙しい中、活発に拡大活動をできないと思います。

ので委員長が目標とされたポイントを達成できるか気になりますので執行部含め全メンバーが拡大対象となりますが、委員長は特に年内に目標一人は達成できるように皆様にご協力いただき新年交流例会に新入会員を多く並べたいのでご協力をお願いいたします。

澤井 副理事長候補者

1月16日に懇親部会の部会を開催いたします。部会担当メンバー、部会長から連絡させていただきますのでご参加の程宜しくをお願いいたします。

1. 監事講評

宮川 監事

2023年度第3回候補者会議、お疲れさまでございました。また、本日もご設営いただきました事務局の皆様にも感謝申し上げます。冒頭ですが、議事録が添付できなかったこと、2023年度会員会費徴収の件が取り下げとなった点につきまして、各々の事情はよく理解できます。特に議事録に関しては過去に携わった身として本当に大変な作業であることが痛いほど分かります。しかし、この候補者会議の段階から例外を生んでしまったことは今後が心配になります。まだ本年度の理事会も立ち上がったばかりですので今後への期待を込めて厳しくは申し上げませんが、最低限やるべきことはしっかりやらなければ理事会のスタート地点にも立てないことを十分にご理解いただいて、慎重にスケジューリングを組んでいただければと考えます。1号議案 2月例会全体的に見て、大枠は非常に面白い発想です。青年会議所メンバーが、という視点ではなく、我々が観光客やツアー会社に成りきっておすすめしたいスポットを探っていく。この視点の変更は見慣れたひこねの街並みに新しい魅力を探る手法として優れていると感じます。それだけに、もう少し踏み込んだ内容であればもっと面白い例会になったのではないかと感じました。例えば、彦根を訪れる観光客の動向、観光客はどのような動機をもって彦根を訪れているのか、彦根のまちの何に興味を持ち、どこに積極的に訪れているのか。そうやって統計情報は市や観光協会によってまとめられています。そのような実情を学んだ上でこの手法を実施すると、もっと目線が変わって充実した事業になるのではないのでしょうか。大枠は目新しさがありながらも、ここからもう一步踏み込まないと例年と似通った雰囲気のある例会になりかねないと思います。もっと学びのある例会に、もっと面白い例会に、理事の皆様からいただいたご意見を参考にして、ここから例会本番に向けて委員会の頑張りともなるブラッシュアップを期待した

いと考えます。付け加えて、委員長の答弁に関してですが、まだ不慣れな中でも懸命に理事の質問に答えておられました、まず議案に記載されている文言の一つ一つには全て意味がなければならぬ。特に意図はありません、といった答え方は適切ではないと思います。JCI 彦根が日常で使用している言葉の意味を理解しておくことは最低限必要です。執行部の指導に期待したいと思います。続きまして2号議案 2月通常総会これは例年言われることですが、この総会をもって本当の意味で2022年が終了します。立ち上げから18ヶ月に及ぶ横津直前理事長の奮闘をできる限り多くのメンバーで讃えたい。また、本年度一発目の総会でどれだけ出席率を上げられるか、これは今後の総会に対するメンバーの意識を大きく左右します。出席率には十分にこだわって当日まで万全の準備を進めてほしいと思います。続きまして3号議案 ハンドブック議事録の作成も同様ですが、ハンドブックの作成も相応に時間のかかる作業です。そして、もちろん対外に出るものですので誤字、脱字などの誤植には十分に気をつけなければならないと思います。そのためにも入念なスケジューリング、そして校了までの入念な確認作業をお願いしたいです。決して1人や2人の目だけで確認しないように、1人でも多くの目を通して確認作業を行うように進めていただきたいと考えます。続きまして4号議案 会員研修丸山委員長の答弁が軽快であったのが印象的でした。この議案に対する想い、そして手法に対する理解、上程までの十分な準備が垣間見えたように思います。ディベートによって理解力、分析力を、大声タイムや意気込みタイムで構成力や伝達力を身につけて話す力を養う。目的に対して意図が伝わる事業構成になっていることは評価したいと感じますが、ここで1点、手作り例会の是非について述べさせていただきたいと思いません。近年、講師をお招きする例会が極端に減っています。原因としては予算に起因する面もあると思いますが、そもそも本事業はJCI彦根のメンバーがもっと話す力を身に付ければより良い活動や運動が展開できるはず。人間力溢れる魅力的な人材へと成長するためには話す力がまだ不足しているという問題点から始まっているはず。話す力が不足しているメンバーが、どのようにすれば話す力が身に付くのかということ学ぶ時間を取ることなく、さあディベートをやってみましょう、大声タイムで対決しましょう、それで本当に話す力が身に付くのだろうか疑問に感じます。どうすれば話す力が身に付くのかをまず知ることから始めないとこの事業を通しての成長は薄いように思います。我々は話すプロではない。これを打開するためには話すプロである講師を呼ぶ、例えば本会のJCプログラムにはディベートやスピーチといったプログラムがあります。

おそらく講師をお呼びする方がメンバーには学びがあるでしょう。その手法を取らないのであれば、委員会が話し方、本議案で言うとディベートについてプロ並みの知識を得てメンバーに指導する必要があります。そこまでして初めて充実した学びを得ることができるはずですが、ハードルは高いかもしれませんが、2月度例会と同様に、どのようにすればメンバーの学びが最大化するのか。話し方をしっかり勉強して、その知識をメンバーに落とし込む準備をしっかりと進めていただきたいと思います。ワールドカップがノックアウトステージ日本敗退ということで、ベスト16で終了しました。期待値を上回った活躍であったと認識しています。要因は様々ありますが、まず1点目として強豪と言われたドイツとスペインが思うようなサッカーができなかったことにあります。明確に両国とも全盛期と比較して個の力、選手の質が下り坂になりつつあります。サッカーは対戦相手のあるスポーツですので、世代によって個の力の差が出ることによって、強い世代、弱い世代が出てくることは致し方がないことです。しかし組織論の話をするのであれば個の力に頼らず常に一定以上の力が発揮できる組織作りが必要であるはずですが、個の力に頼らない組織作りは本大会での日本代表が体現しているように思います。それは森保監督の強豪国に勝ち抜くビジョン、戦術が明確であったこと。その戦術を選手たちが完全に理解していたこと、またその戦術を実現する力が備わっていたことに尽きます。これをJ Cの組織に落とし込んでみます。ここでいう森保監督は執行部、選手は委員会、戦術は方針です。執行部は方針を、委員会の進むべき道を明確に示しているでしょうか。委員会は理事長所信や委員会方針を完全に理解できているでしょうか。また、その方針を達成する力が備わっているでしょうか。我々にとってのワールドカップ本番は目前、新年1月1日に迫っています。準備期間はあと僅かです。この数週間でどんな準備ができるのか。方針は、委員会の進むべき道は、執行部と委員会の考え方に齟齬が無いよう、皆が一丸となって全力を尽くせるよう執行部と委員会は、特に副理事長と委員長は十分にコミュニケーションを取っていただきたいと思います。この準備をもって最高のスタートを切ることができれば、きっと2023年度は素晴らしい1年になるはずですが、我々外部監事は一步引いた立場として、皆様がこのひこねに新しい景色を見せてくれることを大きく期待申し上げます。簡単ではございますが監事講評とさせていただきます。

1. 閉会宣言・点鐘

事務局長候補者 上田 一八 君

理事長予定者 橋本 一幾 君

理事長予定者 橋本 一幾



監事 木田 乃輔



監事 宮川 佳典



公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第1回理事会1号議案

議案名：2023年度理事候補者会議における決議事項承認
 提案者：公益社団法人彦根青年会議所2023年度理事長予定者
 作成者：夏原 大輝
 上程月日：2023年 1月 5日

目次	上程スケジュール		
事業計画書 (1) ページ ~ (2) ページ	第12回 執行部会	2022年12月 9日	協議
添付資料 (3) ページ	第13回 執行部会	2022年12月15日	協議
最終ページ (3) ページ	第14回 執行部会	2022年12月20日	審議
	第1回 理事会	2023年 1月 5日	審議

1. [事業計画提案名]

2023年度理事候補者会議における決議事項承認の件

2. [運動指針該当項目]

なし

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

公益社団法人彦根青年会議所の各会議の運営にあたり、2022年度中に執り行われた第1回、第2回、第3回理事候補者会議の決議事項に関して、本事業年度が始まる2023年1月5日までに、決議された全ての事項を正式に承認いただきたい。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) なし
- ② (実施場所・会場) なし
- ③ (予算総額) なし
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (参加者動員計画) なし
- ⑥ (宣伝・推進方法) なし
- ⑦ (事業概要)

第1回理事候補者会議	2022年11月 9日 (水)	18時00分~26時05分
第2回理事候補者会議	2022年11月18日 (金)	20時00分~21時05分
第2回理事候補者会議	2022年12月 7日 (水)	19時00分~22時00分

6. [前年度よりの引継事項]

なし

7. [本年度の工夫と期待される効果]

なし

8. [執行部会での意見]

なし

9. [添付資料の種類]

・参考資料 第1回、第2回、第3回理事候補者会議決議事項一覧

10. [その他]

なし

第1回理事候補者会議決議事項

・審議事項

1号議案	2023年度理事候補者会議及び理事会開催の件	<u>全会一致をもって承認</u>
2号議案	2023年度事業計画(案)承認の件	<u>全会一致をもって承認</u>
3号議案	2023年度職務分掌(案)承認の件	<u>全会一致をもって承認</u>
4号議案	2023年度収支予算書(案)承認の件	<u>全会一致をもって承認</u>
5号議案	2023年度LOMスローガン承認及び掲出物作製の件	<u>全会一致をもって承認</u>
6号議案	会員拡大～拡大王に俺はなる!!～開催の件	<u>全会一致をもって承認</u>
7号議案	創立70周年ロゴマーク承認の件	<u>全会一致をもって承認</u>
8号議案	彦根青年会議所公式WEBサイト開設・運営及びSNS運営の件	<u>全会一致をもって承認</u>
9号議案	月報配信の件	<u>全会一致をもって承認</u>
10号議案	1月度(新年交流)例会～初志貫徹!新たな時代の魁に!～開催の件	<u>取り下げ</u>
11号議案	70周年合同部会開催の件	<u>全会一致をもって承認</u>
12号議案	仮入会会員承認の件	<u>全会一致をもって承認</u>

・報告事項

- 公益社団法人彦根青年会議所議事法動議リストについて
- 公益社団法人彦根青年会議所理事会における申し合わせ事項一覧
- 勘定科目一覧について
- 公益社団法人彦根青年会議所2023年度出向者について

第2回理事候補者会議

・審議事項

1号議案	1月度(新年交流)例会～初志貫徹!新たな時代の魁に!～開催の件	<u>全会一致をもって承認</u>
------	---------------------------------	-------------------

第3回理事候補者会議

・審議事項

1号議案	2023年度会員会費徴収の件	<u>取り下げ</u>
2号議案	2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催の件	<u>全会一致をもって承認</u>
3号議案	2月通常総会開催の件	<u>全会一致をもって承認</u>
4号議案	1号議案ハンドブックの作成の件	<u>全会一致をもって承認</u>
5号議案	会員研修～人間力溢れる人財へ～開催の件	<u>全会一致をもって承認</u>

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第1回理事会2号議案

議案名：公益社団法人彦根青年会議所2023年度理事長（代表理事）選定提案者：公益社団法人彦根青年会議所2023年度理事長予定者作成者：橋本 一幾上程月日：2023年 1月 5日

目次		上程スケジュール		
事業計画書	(1) ページ ~ (2) ページ	第12回 執行部会	2022年12月 9日	協議
最終ページ	(2) ページ	第13回 執行部会	2022年12月15日	協議
		第14回 執行部会	2022年12月20日	審議
		第1回 理事会	2023年 1月 5日	審議

1. [事業計画提案名]

公益社団法人彦根青年会議所2023年度理事長（代表理事）選定の件

2. [運動指針該当項目]

なし

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第90条並びに公益社団法人彦根青年会議所定款第4章第31条及び第32条の規定に基づき、公益社団法人彦根青年会議所役員選任の方法に関する規則に従い選出された2023年度理事長予定者を、2023年度理事長（代表理事）として選定し承認をいただくために本議案を提案いたします。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) なし
- ② (実施場所・会場) なし
- ③ (予算総額) なし
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (参加者動員計画) なし
- ⑥ (宣伝・推進方法) なし
- ⑦ (事業概要)

公益社団法人彦根青年会議所2023年度理事長（代表理事）として下記の者を選定する。

滋賀県彦根市芹川町1212-508

理事長（代表理事） 橋本 一幾 君

6. [前年度よりの引継事項]

なし

7. [本年度の工夫と期待される効果]

なし

8. [執行部会での意見]

なし

9. [添付資料の種類]

なし

10. [その他]

なし

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第1回理事会3号議案

議案名：公益社団法人彦根青年会議所2023年度副理事長・専務理事選定

提案者：公益社団法人彦根青年会議所2023年度理事長予定者

作成者：橋本 一幾

上程月日：2023年 1月 5日

目次	上程スケジュール		
事業計画書 (1) ページ ~ (2) ページ	第12回 執行部会	2022年12月 9日	協議
最終ページ (2) ページ	第13回 執行部会	2022年12月15日	協議
	第14回 執行部会	2022年12月20日	審議
	第1回 理事会	2023年 1月 5日	審議

1. [事業計画提案名]

公益社団法人彦根青年会議所2023年度副理事長・専務理事選定の件

2. [運動指針該当項目]

なし

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

公益社団法人彦根青年会議所定款第4章第31条及び第32条の規定に基づき、公益社団法人彦根青年会議所役員選任の方法に関する規則に従い指名された2023年度副理事長・専務理事候補者を、2023年度副理事長・専務理事として選定し承認をいただくために本議案を提案いたします。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) なし
- ② (実施場所・会場) なし
- ③ (予算総額) なし
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (参加者動員計画) なし
- ⑥ (宣伝・推進方法) なし
- ⑦ (事業概要)

公益社団法人彦根青年会議所2023年度副理事長として下記の者を選定する。

副理事長 大野 勝輝 君

副理事長 澤井 雄一 君

副理事長 飛松 龍 君

副理事長 西川 隼世 君

公益社団法人彦根青年会議所2023年度専務理事として下記の者を選定する。

専務理事 夏原 大輝 君

6. [前年度よりの引継事項]
なし
7. [本年度の工夫と期待される効果]
なし
8. [執行部会での意見]
なし
9. [添付資料の種類]
なし
10. [その他]
なし

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第1回理事会4号議案

議案名：公益社団法人彦根青年会議所2023年度委員長・特別委員長・会計任命提案者：公益社団法人彦根青年会議所2023年度理事長予定者作成者：橋本 一幾上程月日：2023年 1月 5日

目次		上程スケジュール		
事業計画書	(1) ページ ~ (2) ページ	第12回 執行部会	2022年12月 9日	協議
最終ページ	(2) ページ	第13回 執行部会	2022年12月15日	協議
		第14回 執行部会	2022年12月20日	審議
		第1回 理事会	2023年 1月 5日	審議

1. [事業計画提案名]

公益社団法人彦根青年会議所2023年度委員長・特別委員長・会計任命の件

2. [運動指針該当項目]

なし

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

公益社団法人彦根青年会議所定款第6章第53条及び第8章第64条の規定に基づき、公益社団法人彦根青年会議所役員選任の方法に関する規則に従い委嘱された2023年度委員長・特別委員長・会計候補者を、2023年度委員長・特別委員長・会計として任命し承認をいただくために本議案を提案いたします。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) なし
- ② (実施場所・会場) なし
- ③ (予算総額) なし
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (参加者動員計画) なし
- ⑥ (宣伝・推進方法) なし
- ⑦ (事業概要)

公益社団法人彦根青年会議所2023年度委員長として下記の者を任命する。

総務広報委員長	澤田 晃仁 君
組織の輪確立委員長	丸山 義樹 君
地域共創委員長	西村 直人 君

公益社団法人彦根青年会議所2023年度特別委員長として下記の者を任命する。

財政規則特別委員長	藤井 肇 君
70周年実行特別委員長	澤井 雄一 君

公益社団法人彦根青年会議所2023年度会計として下記の者を任命する。

会 計

西村 健太郎 君

6. [前年度よりの引継事項]

なし

7. [本年度の工夫と期待される効果]

なし

8. [執行部会での意見]

なし

9. [添付資料の種類]

なし

10. [その他]

なし

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度事業計画書

第1回理事会5号議案

議案名：公益社団法人彦根青年会議所2023年度事務局長・事務局次長・事務局員任命

提案者：公益社団法人彦根青年会議所2023年度理事長予定者

作成者：橋本 一幾

上程月日：2023年 1月 5日

目次	上程スケジュール
事業計画書 (1) ページ ~ (2) ページ	第12回 執行部会 2022年12月 9日 協議
最終ページ (2) ページ	第13回 執行部会 2022年12月15日 協議
	第14回 執行部会 2022年12月20日 審議
	第1回 理事会 2023年 1月 5日 審議

1. [事業計画提案名]

公益社団法人彦根青年会議所2023年度事務局長・事務局次長・事務局員任命の件

2. [運動指針該当項目]

なし

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

公益社団法人彦根青年会議所定款第8章第64条の規定に基づき、2023年度事務局長及び事務局員を任命し承認をいただくために本議案を提案いたします。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) なし
- ② (実施場所・会場) なし
- ③ (予算総額) なし
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (参加者動員計画) なし
- ⑥ (宣伝・推進方法) なし
- ⑦ (事業概要)

公益社団法人彦根青年会議所2023年度事務局長・事務局次長・事務局員として下記の者を任命する。

事務局長	上田 一八 君
事務局次長	中西 雄也 君
事務局次長	夏原 慶 君
事務局員 (会計)	西村 健太郎 君
事務局員 (セクレタリー)	北川 凌 君
事務局員 (セクレタリー)	清水 翔太 君
事務局員	岡田 君江 氏

6. [前年度よりの引継事項]

なし

7. [本年度の工夫と期待される効果]

なし

8. [執行部会での意見]

なし

9. [添付資料の種類]

なし

10. [その他]

なし

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第1回理事会6号議案

議案名：公益社団法人彦根青年会議所2023年度副委員長及び委員任命提案者：公益社団法人彦根青年会議所2023年度理事長予定者作成者：橋本 一幾上程月日：2023年 1月 5日

目次		上程スケジュール		
事業計画書	(1) ページ ~ (2) ページ	第12回 執行部会	2022年12月 9日	協議
添付資料	(3) ページ	第13回 執行部会	2022年12月15日	協議
最終ページ	(3) ページ	第14回 執行部会	2022年12月20日	審議
		第1回 理事会	2023年 1月 5日	審議

1. [事業計画提案名]

公益社団法人彦根青年会議所2023年度副委員長及び委員任命の件

2. [運動指針該当項目]

なし

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

公益社団法人彦根青年会議所定款第6章第53条の規定に基づき、2023年度副委員長及び各委員会所属委員を任命し承認をいただくために本議案を提案いたします。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) なし
- ② (実施場所・会場) なし
- ③ (予算総額) なし
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (参加者動員計画) なし
- ⑥ (宣伝・推進方法) なし
- ⑦ (事業概要)

公益社団法人彦根青年会議所2023年度副委員長及び各委員会所属委員として、別紙公益社団法人彦根青年会議所2023年度組織図のとおり任命する。

6. [前年度よりの引継事項]

なし

7. [本年度の工夫と期待される効果]

なし

8. [執行部会での意見]

なし

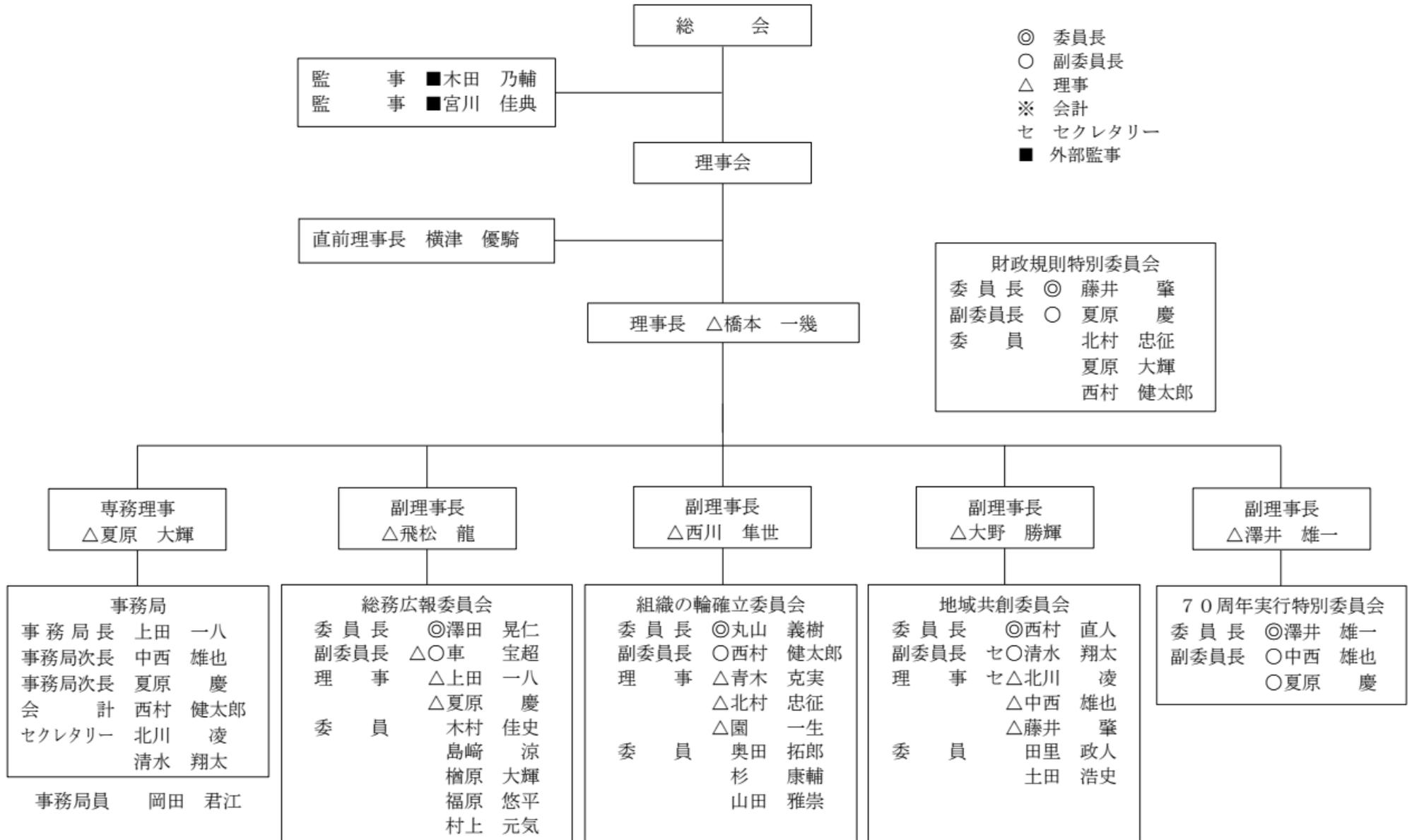
9. [添付資料の種類]

審議資料 公益社団法人彦根青年会議所 2023年度組織図

10. [その他]

なし

公益社団法人 彦根青年会議所 2023年度組織図 (案)



公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第1回理事会7号議案

議案名：2023年度会員会費徴収提案者：会計作成者：西村 健太郎上程月日：2023年 1月 5日

目次	上程スケジュール			
事業計画書 (1) ページ～ (3) ページ	第 8回 執行部会	2022年	11月12日	協議
行動計画書 (3) ページ	第10回 執行部会	2022年	11月18日	協議
最終ページ (3) ページ	第11回 執行部会	2022年	11月30日	審議
	第 3回 理事候補者会議	2022年	12月 7日	審議
	<u>第12回 執行部会</u>	<u>2022年</u>	<u>12月 7日</u>	<u>審議</u>
	<u>第 1回 理事会</u>	<u>2023年</u>	<u>1月 5日</u>	<u>審議</u>

1. [事業計画提案名]

2023年度会員会費徴収の件

2. [運動指針該当項目]

なし

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

公益社団法人彦根青年会議所定款第2章第14条、運営規則第5章第26条及び会員資格規則第2章第7条の規則に基づき、2023年度会員会費徴収を行う。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) i. 正会員 2023年 1月31日 (火) 及び 2月28日 (火)
 (仮入会会員 2023年 1月31日 (火) 以降随時)
 (妊娠及び出産を理由とする休会中の会員 2023年 1月31日 (火))
 ii. 特別会員 2023年 2月28日 (火)
 iii. 賛助会員 2023年 2月28日 (火)
- ② (実施場所・会場) なし
 ③ (予算総額) なし
 ④ (外部協力者) なし
 ⑤ (参加者動員計画) なし
 ⑥ (宣伝・推進方法) 事業概要参照

⑦ (事業概要)

i- 1. 正会員

徴収方法・金融機関の調査票を配布。徴収方法は1回全納、2回分納のいずれかとし、現金による納付、または滋賀中央信用金庫、滋賀銀行のどちらかの預金口座より自動振替にて徴収する。

2023年 1月16日(月)までに連絡がなければ、2022年度と同様とする。自動振替の1週間前にその旨を連絡する。

※徴収日及び金額	1回全納	1月31日(火)	130,000円
	2回分納	1月31日(火)	65,000円
		2月28日(火)	65,000円

i- 2. 仮入会会員

徴収方法・金融機関の調査票を配布。徴収方法は現金による納付、または滋賀中央信用金庫、滋賀銀行のどちらかの預金口座より自動振替にて徴収する。自動振替の1週間前にその旨を連絡する。

※徴収日及び金額	【前期入会】			
	仮入会会員会費	1月31日(火)	65,000円	※1
	入会金		25,000円	※2
	会費		65,000円	※2
	合計		155,000円	
	【後期入会】			
	仮入会会員会費	7月31日(月)	65,000円	※3
	入会金		25,000円	※2
	合計		90,000円	

※1 但し1月付の仮入会会員に限る。以降については理事会承認後随時徴収

※2 入会金及び会費については理事会にて正式入会承認後随時徴収

※3 但し7月付の仮入会会員に限る。以降については理事会承認後随時徴収

i- 3. 妊娠及び出産を理由とする休会中の会員

徴収方法・金融機関の調査票を配布。徴収方法は現金による納付、または滋賀中央信用金庫、滋賀銀行のどちらかの預金口座より自動振替にて徴収する。自動振替の1週間前にその旨を連絡する。

※徴収日及び金額 1回全納 1月31日(火) 25,000円

※ 但し休会が承認された翌年度から適用とする。

ii. 特別会員

2月通常総会資料発送時に特別会員会費納入を依頼し、2022年度正会員会費同様の徴収方法により徴収する。自動振替の方については1週間前にその旨を連絡する。

※徴収日及び金額 1回全納 2月28日(火) 65,000円

iii. 賛助会員

書面にて賛助会員会費納入を依頼し、指定の口座に入金いただく。

※徴収日及び金額 1回全納 2月28日(火) 10,000円

6. [前年度よりの引継事項]

なし

7. [本年度の工夫と期待される効果]

なし

8. [執行部会での意見]

なし

9. [添付資料の種類]

なし

10. [その他]

・2023年度第3回理事候補者会議にて上程予定でありましたが、提案者の欠席により一旦取り下げとし、2023年度第1回理事会にて再上程とさせていただきます。上程時期が変更になること条件として、前年度から事業概要内の金額に変更がないことを前提とし再上程とさせていただきます。

[様式：計-3]

行 動 計 画 書

事業名		2023年度会員会費徴収	
期間		企画開始 2022年10月27日 ~ 企画終了 2023年 9月29日	
行動計画	月 日	内 容	確認印
	2022年 10月27日	前年度会計と徴収方法及び納入方法を引き継ぎ 徴収方法及び徴収日について検討	済
	11月12日	執行部会にて協議	済
	11月18日	執行部会にて協議	済
	11月30日	執行部会にて審議	済
	12月 7日	理事候補者会議にて事業計画書上程	済
	<u>12月 9日</u>	<u>執行部会にて審議</u>	<u>済</u>
	<u>2023年</u> <u>1月 5日</u>	<u>第1回理事会にて上程</u>	
	<u>1月 6日</u>	<u>調査票配布開始</u>	
	<u>1月13日</u>	<u>調査票締め切り</u>	
	1月24日	金融機関に会費引き落とし書類の提出及び1月31日会費引き落とし対象者に連絡	
	1月31日	会費引き落とし	
	2月 上旬	特別会員及び賛助会員に納付依頼	
	2月21日	金融機関に会費引き落とし書類の提出及び2月28日会費引き落とし対象者に連絡	
	2月28日	引き落とし 以降、理事会において仮入会会員及び正会員承認後、随時会費徴収	
	9月29日	後期新入会会員会費引き落とし	

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第1回理事会8号議案

議案名：創立70周年記念式典開催日決定提案者：70周年実行特別委員会作成者：澤井 雄一上程月日：2023年 1月 5日

目次

上程スケジュール

事業計画書	(1) ページ～ (2) ページ	第12回 執行部会	2022年 12月 9日	協議
行動計画書	(2) ページ	第13回 執行部会	2022年 12月15日	協議
最終ページ	(2) ページ	第14回 執行部会	2022年 12月20日	審議
		第1回 理事会	2023年 1月 5日	審議

1. [事業計画提案名]

創立70周年記念式典開催日決定の件

2. [運動指針該当項目]

- ・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
 - 「まち」のチカラ・・・“ひこねオリジナル”の提唱による活気溢れる地域の創造
 - 「ひと」のチカラ・・・使命感と行動力を持った“ひこねびと”の伝承～
 - 「こころ」のチカラ・・・“ひこねスピリット”が漲る活力ある地域社会の継承
 - 「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像
 - 「夢」のチカラ・・・希望溢れるひこね愛の高揚と伝播～

3. [事業の目的と意義：対外]

創立70周年記念式典を開催するにあたり、開催日を決定したいと考えます。早期に決定することで、効果的なPRが出来るとともに、より多くの参加者が募れる取り組みが可能になると考えます。

4. [事業の目的と意義：対内]

創立70周年記念式典を開催するにあたり、開催日を決定したいと考えます。早期に決定することで、メンバーの意識の共有を図るとともに、式典開催へ向けての気概を高める一助になると考えます。

6. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) 2023年7月8日(土) ※時間未定
- ② (実施場所・会場) なし
- ③ (予算総額) なし
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (参加者動員計画) なし
- ⑥ (宣伝・推進方法) 2023年度1月度例会にてPR、以後各会にて随時PR
ホームページ、SNS、月報にて随時PR
- ⑦ (事業概要)
2023年7月8日(土) 創立70周年記念式典開催
ただし、事業名の名称については、変更があり得ます。

7. [前年度よりの引継事項]

なし

8. [本年度の工夫と期待される効果]

- ・創立70周年記念式典開催日を早期に決定することで、メンバーの意識の共有を図るとともに、式典開催へ向けての気概を高める一助になると考えます。
- ・設立記念日である7月4日以降でより近い土曜日に開催する事により、一人でも多くの先輩・御来賓の皆さまにお越しいただけると考えます。

9. [執行部会での意見]

なし

10. [添付資料の種類]

なし

11. [その他]

なし

行動計画書

[様式：計-3]

事業名	創立70周年記念式典開催日決定		
期間	企画開始 2022年 5月11日 ~ 企画終了 2023年 1月 5日		
	月 日	内 容	確認印
行動計画	2022年 5月11日	70周年準備特別委員会にて日程について検討	済
	6月15日	70周年準備特別委員会にて日程について検討	済
	6月29日	70周年準備特別委員会にて日程について検討	済
	7月 6日	7月度例会で開催日(案)発表	済
	9月15日	委員会にて日程について検討	済
	10月 3日	委員会にて日程について検討	済
	11月12日	執行部会にて、日程について検討	済
	12月 9日	執行部会にて、日程について検討	済
	12月15日	執行部会にて、日程について検討	済
	12月20日	執行部会にて、日程について審議	済
	2023年 1月 5日	第1回理事会に上程	